

(様式第10)

京大病サ企第60号

令和 6年 10月 4日

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人京都大学  
学長 湊 長博

京都大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和5年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒606-8501 京都府京都市左京区吉田本町
氏名	国立大学法人 京都大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

京都大学医学部附属病院
-------------

3 所在の場所

〒606-8507 京都府京都市左京区聖護院川原町54番地
電話( 075 ) 751 - 3111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有						
内科と組み合わせた診療科名等							
	1呼吸器内科		2消化器内科	<input checked="" type="radio"/>	3循環器内科		4腎臓内科
	5神経内科		6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科				11リウマチ科
診療実績							
呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、血液内科、内分泌内科、代謝内科、感染症内科、アレルギー疾患内科またはアレルギー科、リウマチ科の内容は内科で診療している。 神経内科の診療内容は脳神経内科にて提供している。							

- (注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科				有			
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科		2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科		8小児外科
診療実績							
消化器外科、乳腺外科、内分泌外科、小児外科の内容は外科で診療している。							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科		7産婦人科	○	8産科
○	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科				無			
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科	○	2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	脳神経内科	2	形成外科	3	リハビリテーション科	4	病理診断科	5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
60	0	5	0	1066	1131

(単位:床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数	
医師	560	480	720.3	看護補助者	43	診療エックス線技師	0	
歯科医師	11	10	18.1	理学療法士	29	臨床検査 臨床検査技師	89	
薬剤師	95	6	99.3	作業療法士	10		衛生検査技師	0
保健師	0	0	0.0	視能訓練士	9		その他	0
助産師	60	0	60.0	義肢装具士	0	あん摩マッサージ指圧師	0	
看護師	1267	50	1302.5	臨床工学士	34	医療社会事業従事者	14	
准看護師	0	0	0.0	栄養士	0	その他の技術員	77	
歯科衛生士	7	1	7.7	歯科技工士	3	事務職員	449	
管理栄養士	18	7	23.0	診療放射線技師	71	その他の職員	245	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	83	眼科専門医	15
外科専門医	44	耳鼻咽喉科専門医	19
精神科専門医	14	放射線科専門医	8
小児科専門医	23	脳神経外科専門医	5
皮膚科専門医	12	整形外科専門医	17
泌尿器科専門医	3	麻酔科専門医	16
産婦人科専門医	7	救急科専門医	13
		合計	279

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 高折 晃史 ) 任命年月日 令和 5 年 4 月 1 日

平成26年12月から平成31年3月まで医療安全管理委員会の委員として医療に係る安全管理の業務に従事した。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	694.0 人	10.3 人	704.3 人
1日当たり平均外来患者数	1617.2 人	65.4 人	1682.6 人

1日当たり平均調剤数	1049	剤
必要医師数	168	人
必要歯科医師数	6	人
必要薬剤師数	24	人
必要(准)看護師数	410	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。  
5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條

#### 10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要		
集中治療室	1590.47 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	病床数 人工呼吸装置 その他の救急蘇生装置	79床 有 有	心電計 心細動除去装置 ペースメーカー 有 有 有
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 [移動式の場合] 台数		2383.75 m <sup>2</sup> 台	病床数	140床
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 [共用室の場合] 共用する室名			73.12	m <sup>2</sup>
化学検査室	766.00 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	全自動生化学・免疫分析装置、全自動血球計算装置	
細菌検査室	199.00 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	全自動微生物培養検出装置、全自動細菌培養感受性装置	
病理検査室	349.20 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	密閉式自動固定包埋装置、全自動H&E染色装置、自動免疫染色装置	
病理解剖室	57.00 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	解剖台、写真撮影装置	
研究室	39751.39 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	電子顕微鏡、遠心分離機	
講義室	496.00 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	2 室	収容定員 329 人
図書室	785 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	7 室	蔵書数 219,542 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。  
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

#### 11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	95.8	%	逆紹介率	118.7	%
算出根拠	A: 紹介患者の数		13,899 人		
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		22,039 人		
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		5,981 人		
	D: 初診の患者の数		22,141 人		

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
笠井 正俊	京都大学副学長(法務・ コンプライアンス担当)		総長が指名する副学長	有	3
平野 哲郎	立命館大学 法科大学 院 教授		法律に関する専門的知識を有する者	無	1
中村 猛	京都府立医科大学 医療安全推進部 部長		医療に係る安全管理に関する専門的知識を有する者	無	1
伊藤 英樹	広島大学病院 医療安全管理部 部長		医療に係る安全管理に関する専門的知識を有する者	無	1
山口 育子	認定NPO法人 ささえあい医療人権センター COML 理事長	○	医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
  2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
  3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
京都大学ホームページに掲載。	

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数 (人)
タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養	76人
子宮内膜受容能検査1	5人
子宮内細菌叢検査1	5人
二段階胚移植術	4人
ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	1人
先進医療の種類合計数	5
取扱い患者数の合計(人)	91人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
全身性エリテマトーデスに対する初回副腎皮質ホルモン治療におけるクロピドグレル硫酸塩、ピタバスタチンカルシウム及びトコフェロール酢酸エステル併用投与の大腿骨頭壊死発症抑制療法 全身性エリテマトーデス(初回の副腎皮質ホルモン治療を行っている者に係るものに限る。)	0人
テモゾロミド用量強化療法 膠芽腫(初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る。)	0人
アスピリン経口投与療法 家族性大腸腺腫症	1人
ネシツムマブ静脈内投与療法 切除が不可能なEGFR遺伝子増幅陽性固形がん(食道がん、胃がん、小腸がん、尿路上皮がん又は乳がんに限る。)	3人
術前のゲムシタピン静脈内投与及びナブパクリタキセル静脈内投与の併用療法 切除が可能な膵臓がん(七十歳以上八十歳未満の患者に係るものに限る。)	2人
生体肝移植術 切除が不可能な肝門部胆管がん	0人
生体肝移植術 切除が不可能な転移性肝がん(大腸がんから転移したものであって、大腸切除後の患者に係るものに限る。)	0人
先進医療の種類合計数	7
取扱い患者数の合計(人)	6人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 3 その他の高度の医療

医療技術名	キメラ抗原受容体T細胞療法(CAR-T療法)	取扱患者数	43人
当該医療技術の概要 再発・難治性のB細胞腫瘍(急性白血病, 悪性リンパ腫)や多発性骨髄腫の治療として、患者自身から採取したT細胞に、CD19に対するキメラ抗原受容体を遺伝子導入し、増殖させた後、患者に投与する。			
医療技術名	血液がん遺伝子パネル検査	取扱患者数	856人
当該医療技術の概要 造血器腫瘍の遺伝子変異をターゲットシーケンスにより同定する。			
医療技術名	膵β細胞イメージング	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 インスリンノーマ・高インスリン血症性低血糖症に対して、GLP-1受容体標的PETイメージングでの責任病変の質的・局在診断を行う。			
医療技術名	難治性甲状腺眼症に対する集学的治療	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 甲状腺眼症はしばしば既存治療を行っても再発し、難治性となる。放射線療法や眼窩減圧術を含めて治療している。またテプロツムマブの第3相臨床試験(HZN-001)も行っている。			
医療技術名	悪性機能性神経内分泌腫瘍、褐色細胞腫/パラングリオーマに対する集学的治療	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 化学療法、放射線療法(PRRT、内照射)、支持療法、手術の組み合わせによる最適化治療を実施。			
医療技術名	TSH不適切分泌症候群(SITSH)の鑑別診断	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 検査異常除外のためPEG処理下測定や2stepアッセイ法による測定を行っている。さらにTHRB遺伝子変異の有無をサンガーシーケンスで行い、甲状腺ホルモン不応症の診断に繋げている。			
医療技術名	内視鏡的乳頭切除術	取扱患者数	34人
当該医療技術の概要 十二指腸乳頭部腫瘍(腺腫、上皮内癌)に対して十二指腸鏡下にスネアを用いて内視鏡的に切除する。非常に侵襲度の高い外科的な膵頭十二指腸乳頭切除術の代替治療として、低侵襲の治療が提供可能となる。			
医療技術名	超音波内視鏡下胆管胃吻合術	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 超音波内視鏡を用いて胃から肝臓左葉の肝内胆管を穿刺し、胆管ステントを留置することで胆管と胃に瘻孔を作成する。従来の十二指腸鏡を用いた胆管ドレナージ法が施行できない患者に対しても胆管ドレナージを行うことが可能となる。			
医療技術名	超音波内視鏡下膵管ドレナージ術	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 超音波内視鏡を用いて胃から膵管を穿刺し、膵管ステントを留置することで膵管と胃に瘻孔を作成する。従来の十二指腸鏡を用いた膵管ドレナージ法が施行できない患者に対しても膵管ドレナージを行うことが可能となる。			
医療技術名	治験:内服抗てんかん発作薬Brivaracetam	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 二次性全般化発作を含む部分発作を有するてんかん患者を対象としたBrivaracetamを用いた非盲検試験(EP0085、UCB Biopharma SRL /UCB Japan Co. Ltd.)			
医療技術名	ヌシネルセンの髄腔内投与	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 脊髄性筋萎縮症の治療として、SMN2遺伝子の転写産物に対するアンチセンス核酸(ヌシネルセン)の髄腔内投与を行っている。			

医療技術名	脳磁図	取扱患者数	52人
当該医療技術の概要			
脳磁図はてんかんの患者に対する手術部位の診断や手術方法の選択を含めた治療方針の決定のために欠かせない非侵襲的な脳機能検査法であり、原発性及び続発性てんかん、中枢神経疾患に伴う感覚障害及び運動障害の鑑別診断としても行われる。脳波に比べ優れた空間解像度と、MRI/PETより優れた時間解像度を併せ持つ。てんかん診療支援センターの関連科・部署である脳機能センター、脳神経内科、脳神経外科、小児科、てんかん・運動異常生理学講座が協力して提供している。			
医療技術名	多系統萎縮症に対するTAK341	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要			
多系統萎縮症に対する疾患修飾治療として、TAK341 (抗 $\alpha$ シヌクレイン抗体)を投与する第2相治験 (企業主導治験)			
医療技術名	体重10kg以下の小児体外循環	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要			
極めて体重の軽い小児の体外循環を安全に行える施設は少ない。当院では、急性肝不全などの症例の移植前に体外循環を行っている。			
医療技術名	遺伝子パネル検査による遺伝子プロファイリングに基づく複数の分子標的治療に関する患者申出療養	取扱患者数	23人
当該医療技術の概要			
がん遺伝子パネル検査で見つかった適用外の候補治療薬を患者申出療養で実施。			
医療技術名	膵癌に対する化学放射線療法＋ニボルマブ	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要			
切除可能境界・局所進行膵癌に対する化学放射線療法＋ニボルマブの有用性を検証する第III相臨床試験 (医師主導治験)。			
医療技術名	光線力学的療法	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要			
食道がんに対する化学放射線療法後の遺残再発に対する根治的救済治療。			
医療技術名	NOBEL-ioPDT	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
切除不能進行再発食道がん及び胃がんに対する免疫チェックポイント阻害剤(ICI)と光線力学的療法(PDT)の併用療法の有効性と安全性を評価する多施設共同第II相医師主導治験			
医療技術名	PIK3CAH1047R変異を有する進行乳癌患者及びその他の癌患者を対象とした LOXO-783の単剤投与及び抗癌剤との併用投与試験	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要			
PIK3CAH1047R変異の進行乳癌患者及びその他の固形癌患者におけるLOXO-783の単剤投与及び他の抗癌剤との併用投与のMTD/RP2Dを明らかにする。			
医療技術名	進行固形癌:特定の進行性固形癌を対象とした ABBV-400 の第 I 相試験	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要			
進行固形癌の被験者に ABBV-400 を単剤投与したときの安全性、忍容性及び PK を評価し、ABBV-400 の第II相推奨用量を決定する。			
医療技術名	進行固形癌:単剤療法およびベバシズマブとの併用療法としての ABBV-400-国際共同 first-in-human 試験	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要			
ABBV-400 の安全性、忍容性、及び薬物動態を評価し、ABBV-400 を単剤投与又はベバシズマブと併用したときの第 II 相試験の推奨用量を決定する。			

医療技術名	進行固形がんの成人患者を対象とした ABBV-706 単独投与及び budigalimab (ABBV-181),カルボプラチン又はシスプラチン併用投与の安全性,薬物動態及び有効性を評価する第 I 相ヒト初回投与試験	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
ABBV-706を単剤投与及びbudigalimab、カルボプラチン又はシスプラチンと併用投与したときの安全性、忍容性、薬物動態及び予備の有効性を評価することである。			
医療技術名	進行性 PSMA 陽性転移性去勢抵抗性前立腺がん(mCRPC)を有する患者を対象に 177Lu-PSMA-617 を投与する前向き,非盲検,多施設共同,単群,国内第 2 相試験	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
Gallium (68Ga) gozetotide又はpiflufolastat (18F) を用いたPSMA-PETで1～5個の転移病変が検出され、従来画像診断法(CI)でM1病変のないPSMA陽性OMPCの成人患者を対象に、去勢又は再発までの期間延長におけるAAA617の有効性を、体幹部定位放射線治療(SBRT)後の経過観察と比較して評価する。			
医療技術名	健康成人および術後疼痛患者に対するEBDOPIN単回投与による安全性及び血漿中薬物濃度を検討する第 I / II 相試験	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要			
健康成人男性に対するENDOPIN単回投与による安全性及び血漿中薬物濃度を検討する。さらに、胸腔鏡下肺葉・区域切除後の術後疼痛に対するENDOPIN単回投与による安全性の検討および有効性の探索的な検討を行う。			
医療技術名	減量・代謝改善手術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
減量もしくは代謝改善のための腹腔鏡下袖状胃切除術を行うもの。			
医療技術名	生体肝移植術	取扱患者数	51人
当該医療技術の概要			
生体ドナーから肝臓を提供いただき非代償性肝硬変、肝不全レシピエントに移植手術を行う。			
医療技術名	脳死肝移植術	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要			
脳死ドナーから肝臓を提供いただき非代償性肝硬変、肝不全レシピエントに移植手術を行う。			
医療技術名	脳死小腸移植術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
脳死ドナーから小腸を提供いただき小腸不全レシピエントに移植手術を行う。また、肺小腸同時移植も行なっている。			
医療技術名	脳死膵臓移植術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
脳死ドナーから膵臓を提供いただき膵臓分離再生医療として、1型糖尿病レシピエントに移植手術を行う。			
医療技術名	脳死膵臓移植術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
脳死ドナーから膵臓を提供いただき1型糖尿病レシピエントに移植手術を行う。			
医療技術名	難治緑内障に対するチューブシャント手術	取扱患者数	40人
当該医療技術の概要			
従来の緑内障手術や点眼加療では十分な眼圧下降が得られない難治性緑内障にたいして、バルベルト®緑内障インプラントやアーメド緑内障バルブを用いた治療を行い、良好な治療成績が得られている。			
医療技術名	難治性視神経炎の診断と治療	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要			
視神経炎はステロイド点滴治療のみで改善し予後良好と考えられてきたが、ステロイド抵抗性や依存性の視神経炎も存在するため造影MRIや光干渉断層計を用いた評価、および症例に応じて血漿交換・免疫抑制剤を併用した治療を行っている。			

医療技術名	次世代シーケンサーを用いた網膜色素変性の遺伝子変異診断	取扱患者数	100人
当該医療技術の概要 網膜色素変性を含む遺伝性網膜変性疾患に対し、次世代シーケンサーを用いた網羅的な遺伝子解析を行い、約半数の症例で原因となる遺伝子変異を同定した。			
医療技術名	増殖糖尿病網膜症に対する小切開硝子体手術	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要 難治性の網膜疾患である増殖糖尿病網膜症に対して、低侵襲な小切開硝子体手術を行い、合併症が少なく、良好な治療成績を得ている。			
医療技術名	糖尿病黄斑浮腫に対する抗VEGF療法	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 難治性の慢性疾患である糖尿病黄斑浮腫への新規治療である抗VEGF療法を行った。			
医療技術名	仮面症候群及び急性網膜壊死に対する硝子体手術	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 仮面症候群は悪性腫瘍に伴うブドウ膜炎で、予後不良の疾患である。また、急性網膜壊死はヘルペスウイルスによる視力障害が重篤な疾患である。これらに対して、診断目的もしくは視機能改善を目指した硝子体手術を施行した。			
医療技術名	滲出型加齢黄斑変性に対する抗VEGF療法	取扱患者数	400人
当該医療技術の概要 滲出型加齢黄斑変性に対して、プロルシズマブ、アフリベルセプト、ラニビズマブ、ファリシマブ硝子体注射を行った。			
医療技術名	萎縮型加齢黄斑変性及びその前駆病変の眼底イメージングによる評価法の確立	取扱患者数	200人
当該医療技術の概要 萎縮型加齢黄斑変性およびその前駆病変(ドルーゼン)の患者に対して、カラー眼底写真、蛍光眼底造影、光干渉断層計、光干渉断層計血管造影、眼底自発蛍光などの眼底イメージングによる評価を行った。			
医療技術名	フォン・ヒッペル・リンドウ病における網膜血管腫の眼底イメージングによる評価法の確立	取扱患者数	40人
当該医療技術の概要 フォン・ヒッペル・リンドウ病患者およびその血縁者に対して、広角カラー眼底写真、広角蛍光眼底造影、光干渉断層計、光干渉断層計血管造影などの眼底イメージングによる評価を行った。			
医療技術名	治験 PIK3CA阻害薬(CYH33)	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 再発／持続性の卵巣癌、卵管癌又は原発性腹膜明細胞癌の患者を対象として選択的PI3K $\alpha$ 阻害剤CYH33の有効性及び安全性を検討する第II相非盲検多施設共同試験			
医療技術名	治験 デュルバルマブ、オラパリブ	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 子宮体癌を対象としたデュルバルマブ＋カルボプラチン/パクリタキセル併用投与及びその後のデュルバルマブ±オラパリブ投与：DUO-E/GOG-3041/ENGOT-EN10第III相試験			
医療技術名	治験 デュルバルマブ、オラパリブ、ベバシズマブ	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 新たに診断された進行卵巣癌患者を対象として、デュルバルマブと化学療法及びベバシズマブとの併用投与後にデュルバルマブ、ベバシズマブ及びオラパリブを維持療法として投与する無作為化二重盲検プラセボ対照多施設共同第III相試験			
医療技術名	再生医療 PBMC (自己末梢血リンパ球)	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 着床不全を原因とする難治性不妊症患者に対する自己末梢血リンパ球を用いた免疫療法			

医療技術名	若年女性のがん、免疫疾患、および早発卵巣機能不全患者における妊孕能温存のための卵子凍結保存	取扱患者数	17人
当該医療技術の概要 小児・若年がん患者等に対してがん治療開始前に、体外受精と同様の方法で、未受精卵子を採卵し、凍結保存する方法。パートナーがいる場合には受精卵凍結を行うこともある。			
医療技術名	小児・若年女性のがん患者における妊孕能温存のための卵巣組織凍結保存	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 小児・若年がん患者に対してがん治療開始前に、卵巣組織を腹腔鏡にて摘出し、保存する方法。			
医療技術名	小児カテーテル治療	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要 心臓血管内手術をカテーテルにより経皮的に行う。			
医療技術名	胎児心エコー診断	取扱患者数	60人
当該医療技術の概要 胎児期に心臓エコーで先天性心疾患を診断。			
医療技術名	在宅肺高血圧治療薬持続点滴	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 重症肺高血圧治療の一環として在宅点滴医療。			
医療技術名	小児経皮的心房中隔欠損閉鎖術	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 カテーテルを用いた、心房中隔欠損孔の経皮的閉鎖術。			
医療技術名	小児経皮的動脈管閉鎖術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 カテーテルを用いた、動脈管の経皮的閉鎖術。			
医療技術名	経皮的肺動脈弁置換術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 カテーテルを用いた肺動脈弁の経皮的置換術。			
医療技術名	キメラ抗原受容体T細胞療法(CAR-T療法)	取扱患者数	47人
当該医療技術の概要 再発・難治性のB細胞腫瘍(急性白血病, 悪性リンパ腫)等の治療として、患者自身から採取したT細胞に、腫瘍に特異性の高い抗原(CD19等)に対するキメラ抗原受容体を遺伝子導入し、増殖させた後、患者に投与する。			
医療技術名	原発性免疫不全症患者を対象としたシロリムスの臨床試験	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 原発性免疫不全症患者を対象としたシロリムスの有効性および安全性を検討する第Ⅱ相臨床試験			
医療技術名	T1b以上の腎細胞癌に対するロボット支援下腎部分切除術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 cT1b(4cm以上)の腎細胞癌に対してロボット支援下腎部分切除術を行う(一般的な適応はcT1a(4cm以下)まで)。			

医療技術名	がんパネル検査結果に基づく、CDK12変異陽性去勢抵抗性前立腺癌症例に対するオプジーボの自費投与	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
現在本邦では免疫チェックポイント阻害剤は多くの癌腫で保険承認されているが、遺伝学的不安定性を誘発しネオ抗原の増加が予想されるCDK12変異症例という範疇での適応はない。がんパネル検査でCDK12異常が同定されエキスパートパネルでオプジーボを推奨されたので保険適応外で自費診療としてオプジーボを投与した。			
医療技術名	Level 2 以上IVC塞栓を伴う腎癌に対する腎摘除術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
肝内IVCのレベルまで進展した腫瘍塞栓を伴う腎癌に対する腎摘除術を安全・確実に行う。			
医療技術名	全身化学療法後の精巣腫瘍に対する後腹膜リンパ節郭清	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
全身化学療法後に強固に癒着した後腹膜リンパ節組織を安全・確実に郭清する。			
医療技術名	術後尿管狭窄に対するロボット支援下尿路再建術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
婦人科がんや消化器がんの治療に伴う尿管狭窄に対して手術支援ロボットを用いて正確な手術手技にて確実な尿路再建を行う。			
医療技術名	広範頭蓋底腫瘍切除・再建術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
頭蓋底腫瘍(悪性腫瘍含む)に対する摘出手術及び切除後再建手術を、外切開手術・内視鏡手術単独あるいは開頭手術と組み合わせた術式で行う。			
医療技術名	経鼻内視鏡下前頭蓋底悪性腫瘍手術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
前頭蓋底悪性腫瘍に対する摘出術、再建術を内視鏡単独で行う。			
医療技術名	早期肺癌および肝癌に対する動体追尾定位放射線治療	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要			
肺がんや肝がんの呼吸性移動に合わせて放射線治療ビームの方向を追従させ、がんに限局した照射を行う放射線治療である。従来法と比較して、がん病巣への線量を損なうことなく、正常肺、肝臓の線量を約20%低減することが可能となった。			
医療技術名	前立腺癌に対する寡分割画像誘導強度変調放射線治療	取扱患者数	44人
当該医療技術の概要			
前立腺癌に対して寡分割画像誘導強度変調放射線治療を適用することにより治療期間を約3週間と従来の半分以下に短縮することが可能となり、患者負担を軽減する治療である。			
医療技術名	前立腺癌に対する腫瘍内ブースト併用寡分割画像誘導強度変調放射線治療	取扱患者数	38人
当該医療技術の概要			
前立腺癌への寡分割画像誘導強度変調放射線治療において、前立腺内の画像上指摘しうる病変へ同時ブースト法を用いて線量増加を行うことで、安全に病変部位の線量増加が可能となった。			
医療技術名	骨盤リンパ節転移を伴う前立腺癌への標的体積内同時ブースト併用全骨盤強度変調放射線治療	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
骨盤リンパ節転移を伴う前立腺癌に対し標的体積内同時ブースト併用全骨盤強度変調放射線治療を適応することにより、腸管などの正常臓器への線量を抑え、病変へ必要な線量を安全に投与することが可能になった。			

医療技術名	傍大動脈リンパ節転移を伴う前立腺癌への標的体積内同時ブースト併用全骨盤強度変調放射線治療	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 傍大動脈リンパ節転移を伴う前立腺癌に対し標的体積内同時ブースト併用強度変調放射線治療を適応することにより、腸管などの正常臓器への線量を抑え、傍大動脈から骨盤領域へ必要な線量を安全に投与することが可能になった。			
医療技術名	食道癌に対する強度変調放射線治療	取扱患者数	38人
当該医療技術の概要 食道癌に対して強度変調放射線治療を利用することで、従来は実現不能だった脊髄への線量を抑え、癌病巣に必要な線量を投与することが可能となった。			
医療技術名	肛門管癌に対する強度変調放射線治療	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 肛門管癌に対して強度変調放射線治療を利用することで、外陰部、膀胱、小腸への不要な高線量被曝を抑え、癌病巣へ必要な線量を投与することが可能となった。			
医療技術名	永久脱毛予防のVMAT併用全脳全脊髄照射	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 頭蓋内腫瘍に対して強度変調放射線治療を併用した全脳照射を用いることで、病巣への必要な線量を投与し、頭皮への不要な高線量被曝を抑え、従来の治療法と比べ頭髪の永久脱毛を予防することが可能となった。			
医療技術名	Dynamic WaveArc照射法	取扱患者数	44人
当該医療技術の概要 Vero4DRTではその構造上の特徴から、患者を動かすことなく非同一平面からの照射を用いた回転式の強度変調放射線治療を行うことが可能となり、病巣の周囲の正常臓器への線量を通常の回転式強度変調放射線治療よりも低減することが可能となった。			
医療技術名	下部直腸癌に対する強度変調放射線治療	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 下部直腸癌に対して強度変調放射線治療を利用することで、小腸、大腸への不要な高線量被曝を軽減し、原発巣と所属リンパ領域へ適切な線量を投与可能となった。			
医療技術名	多発脳転移に対するsingle isocenter volumetric-modulated arc radiosurgery	取扱患者数	34人
当該医療技術の概要 多発脳転移に対して強度変調放射線治療と定位放射線治療を併用することにより、短い治療時間で病巣に必要な線量を投与することが可能となった。			
医療技術名	コーンビームCT画像を用いた即時適応放射線治療	取扱患者数	32人
当該医療技術の概要 照射前のコーンビームCT画像とAIを用いて、日々変化する患者の解剖学的特徴、腫瘍の位置や形状変化に合わせ、放射線治療計画を最適化し、再治療計画を行う即時適応放射線治療を行うことにより、標的に確実に線量を投与し、正常臓器への照射も低減させることが可能になった。			
医療技術名	<sup>68</sup> Ga-DOTATOC-PET/CT検査	取扱患者数	53人
当該医療技術の概要 自家合成したPET製剤( <sup>68</sup> Ga-DOTATOC)を投与してPET/CTを撮像し、神経内分泌腫瘍の病巣検索やルタテラによる内照射治療の適否を決めるためのソマトスタチン受容体イメージングを行うものである。従来のオクトレオスキャンより診断精度が高く、ソマトスタチン受容体イメージングとしては欧米では本検査が主流であるが、本邦では当施設のみ施行している。			

医療技術名	68Ga-PSMA11-PET/CT(MRI)検査	取扱患者数	65人
当該医療技術の概要			
自家合成したPET製剤(68Ga-PSMA11)を投与後にPET/CTまたはPET/MRIを撮像し、前立腺癌の病巣検索を行うものである。これまで行われてきた画像診断(CT、骨シンチグラフィ)では得られない病変が明瞭に描出され、本検査は欧米では必須の検査と位置づけられているが、本邦では施行できる施設が限られている。			
医療技術名	10歳以下の小児もやもや病の治療	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要			
厳密な呼吸管理の元、10歳以下のもやもや病に対するカテーテル検査、バイパス手術を行う。			
医療技術名	小児てんかん手術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
3歳以下のてんかんの診断、てんかんの外科手術を行う。			
医療技術名	propofolを用いたWADA test	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
頰動脈よりプロポフォールを投与し、優位半球となる言語、記憶機能半球を同定する。			
医療技術名	3歳以下の小児脳腫瘍に対する治療	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
3歳以下の脳腫瘍に対する診断、外科手術、化学療法を小児科と共同で行う。			
医療技術名	開頭経鼻内視鏡同時手術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要			
頭蓋内外に進展する巨大頭蓋底腫瘍にたいして、開頭術と経鼻内視鏡手術を同時におこなう。単独手術と比較し、より安全な摘出と、より強固な頭蓋底再建が可能となる。			
医療技術名	凍結保存同種組織(ホモグラフト)を用いたRoss手術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
拳児希望の若年女性・重症大動脈弁閉鎖不全症に対する、Ross手術(自己肺動脈弁を大動脈弁位に、ホモグラフトを肺動脈弁位に移植する)。			
医療技術名	脳死肺移植	取扱患者数	21人
当該医療技術の概要			
重症呼吸不全患者に対する脳死ドナーからの両肺および片肺移植を行っている。			
医療技術名	生体肺移植	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
脳死肺移植が待機できない重症例に対して生体肺移植を行っている。世界初の生体肺肝同時移植も実施した。			
医療技術名	自家肺移植	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
中枢型肺癌に対して、いったん体外に片肺を取り出し、癌を体外で切除したのちに、癌のない肺葉を自家肺移植した。			
医療技術名	薬理遺伝学的検査	取扱患者数	584人
当該医療技術の概要			
医薬品の薬効や副作用の個人差の要因となる遺伝子多型を評価する薬理遺伝学的(ファーマコゲノミクス:PGx)検査			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

高度の医療の提供の実績等

(様式第2)

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	6	56	ベーチェット病	114
2	筋萎縮性側索硬化症	58	57	特発性拡張型心筋症	69
3	脊髄性筋萎縮症	12	58	肥大型心筋症	20
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	23	60	再生不良性貧血	36
6	パーキンソン病	410	61	自己免疫性溶血性貧血	1
7	大脳皮質基底核変性症	5	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	6
8	ハンチントン病	3	63	特発性血小板減少性紫斑病	30
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トウス病	2	65	原発性免疫不全症候群	34
11	重症筋無力症	132	66	IgA 腎症	52
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	39
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	78	68	黄色靱帯骨化症	3
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	16	69	後縦靱帯骨化症	53
15	封入体筋炎	4	70	広範脊柱管狭窄症	4
16	クロー・深瀬症候群	2	71	特発性大腿骨頭壊死症	75
17	多系統萎縮症	51	72	下垂体性ADH分泌異常症	0
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	56	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライソゾーム病	5	74	下垂体性PRL分泌亢進症	0
20	副腎白質ジストロフィー	3	75	クッシング病	11
21	ミトコンドリア病	11	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	160	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	28
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	132
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	2	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	49	83	アジソン病	2
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	103
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	207
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	97
32	自己食空洞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	1
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	37
34	神経線維腫症	44	89	リンパ管筋腫症	33
35	天疱瘡	22	90	網膜色素変性症	109
36	表皮水疱症	6	91	バッド・キアリ症候群	12
37	膿疱性乾癬(汎発型)	9	92	特発性門脈圧亢進症	3
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	2	93	原発性胆汁性肝硬変	81
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	31
40	高安動脈炎	82	95	自己免疫性肝炎	17
41	巨細胞性動脈炎	16	96	クローン病	182
42	結節性多発動脈炎	28	97	潰瘍性大腸炎	338
43	顕微鏡的多発血管炎	45	98	好酸球性消化管疾患	2
44	多発血管炎性肉芽腫症	16	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	2
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	39	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	44	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	バージャー病	6	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	10	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	560	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	271	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	216	106	クリオピリン関連周期熱症候群	9
52	混合性結合組織病	66	107	若年性特発性関節炎	11
53	シェーグレン症候群	127	108	TNF受容体関連周期性症候群	1
54	成人スチル病	26	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	29	110	ブラウ症候群	0
	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	10

高度の医療の提供の実績等

(様式第2)

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
113	筋ジストロフィー	17	163	特発性後天性全身性無汗症	13
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	1	164	眼皮皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	1	165	肥厚性皮膚骨膜症	6
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	5
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	24
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	4
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	1	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	4
122	脳表ヘモジデリン沈着症	1	172	低ホスファターゼ症	1
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質	0	173	VATER症候群	0
124	皮膚下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳	0	174	那須・ハコラ病	1
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん	0	175	ウィーバー症候群	0
126	性白質脳症	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	ペリー症候群	0	177	ジュベール症候群関連疾患	0
128	前頭側頭葉変性症	2	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	ピッカースタッフ脳幹脳炎	1	179	ウィリアムズ症候群	0
130	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	180	ATR-X症候群	0
131	先天性無痛無汗症	0	181	クルーゾン症候群	0
132	アレキサンダー病	1	182	アペール症候群	0
133	先天性核上性球麻痺	0	183	ファイファー症候群	0
134	メビウス症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	アイカルディ症候群	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	片側巨脳症	0	187	歌舞伎症候群	0
138	限局性皮質異形成	1	188	多脾症候群	0
139	神経細胞移動異常症	1	189	無脾症候群	0
140	先天性大脳白質形成不全症	0	190	無耳腎症候群	0
141	ドラベ症候群	0	191	ウェルナー症候群	0
142	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	4	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー欠伸てんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	2
144	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	194	ソトス症候群	0
145	レノックス・ガストー症候群	1	195	ヌーナン症候群	0
146	ウエスト症候群	1	196	ヤング・シンブソン症候群	0
147	大田原症候群	0	197	1p36欠失症候群	0
148	早期ミオクロニー脳症	0	198	4p欠失症候群	0
149	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	199	5p欠失症候群	0
150	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	環状20番染色体症候群	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	ラスムッセン脳炎	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	PCDH19関連症候群	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	2	204	エマヌエル症候群	0
155	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	ランドウ・クレフナー症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	レット症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	スタージ・ウェーバー症候群	0	208	修正大血管転位症	1
159	結節性硬化症	4	209	完全大血管転位症	0
160	色素性乾皮症	1	210	単心室症	1
160	先天性魚鱗癬	1	210		
	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ	0
212	三尖弁閉鎖症	1	260	欠損症	
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	シトステロール血症	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	2	262	タンジール病	0
215	ファロー四徴症	2	263	原発性高カイロミクロン血症	0
216	両大血管右室起始症	1	264	脳腫黄色腫症	0
217	エプスタイン病	0	265	無βリポタンパク血症	0
218	アルポート症候群	4	266	脂肪萎縮症	1
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	家族性地中海熱	9
220	急速進行性糸球体腎炎	2	268	高IgD症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	中條・西村症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	34	270	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症	0
				候群	
				慢性再発性多発性骨髄炎	6

## 高度の医療の提供の実績等

(様式第2)

### 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	3	271	強直性脊椎炎	37
224	紫斑病性腎炎	4	272	進行性骨化性線維異形成症	5
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	1
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	3	274	骨形成不全症	1
227	オスラー病	4	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	10	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	1
230	肺胞低換気症候群	1	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	$\alpha$ 1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	1
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	1	283	後天性赤芽球癆	1
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	1
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	4	286	遺伝性鉄芽球性貧血	2
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クローンカイト・カナダ症候群	5
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸型)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	1	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	61
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	2
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膝炎	0
251	尿素サイクル異常症	4	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	29
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュヤー症候群	1
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	2	305	遅発性内リンパ水腫	1
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	37
	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
308	進行性白質脳症	0	322	$\beta$ -ケトチオラーゼ欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	1	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
310	先天異常症候群	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	1
312	先天性僧帽弁狭窄症	1	326	大理石骨病	0
313	先天性肺静脈狭窄症	1	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	1
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	328	前眼部形成異常	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B関連腎症	0	329	無虹彩症	0
316	カルニチン回路異常症	0	330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	0
317	三頭酵素欠損症	0	331	特発性多中心性キャッスルマン病	21
318	シトリン欠損症	1	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0	334	脳クレアチン欠乏症候群	0
			335	ネフロン癆	0
			336	家族性低 $\beta$ リポタンパク血症1(ホモ接合体)	0
			337	ホモシスチン尿症	0
			338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	1

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	155
合計患者数(人)	5,165

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・情報通信機器を用いた診療	・感染対策向上加算1
・抗菌薬適正使用体制加算	・患者サポート体制充実加算
・医療DX推進体制整備加算	・重症患者初期支援充実加算
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・歯科外来診療環境体制加算2	・ハイリスク妊娠管理加算
・歯科診療特別対応連携加算	・ハイリスク分娩管理加算
・特定機能病院入院基本料(一般病棟)7対1入院基本料	・精神科救急搬送患者地域連携紹介加算
・特定機能病院入院基本料(結核病棟)7対1入院基本料	・術後疼痛管理チーム加算
・救急医療管理加算	・後発医薬品使用体制加算2
・超急性期脳卒中加算	・病棟薬剤業務実施加算1
・診療録管理体制加算1	・病棟薬剤業務実施加算2
・医師事務作業補助体制加算2(20対1)	・データ提出加算2イ・4イ
・急性期看護補助体制加算 (25対1 看護補助者5割以上、夜間100対1、看護補助体制充実加算 )	・入退院支援加算1
・看護職員夜間配置加算(12対1配置加算1 イ1)	・精神科入退院支援加算
・看護補助加算1	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・療養環境加算	・精神疾患診療体制加算
・重症者等療養環境特別加算	・精神科急性期医師配置加算2のロ
・無菌治療室管理加算1	・地域医療体制確保加算
・無菌治療室管理加算2	・救命救急入院料3
・放射線治療病室治療管理加算(治療用放射性同位元素による場合)	・特定集中治療室管理料2
・緩和ケア診療加算	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・小児緩和ケア診療加算	・新生児特定集中治療室管理料1
・精神科応急入院施設管理加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・精神科身体合併症管理加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・精神科リエゾンチーム加算	・小児入院医療管理料2
・摂食障害入院医療管理加算	・精神科急性期治療病棟入院料1
・栄養サポートチーム加算	・短期滞在手術等基本料1
・医療安全対策加算1	・看護職員処遇改善評価料

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・外来腫瘍化学療法診療料1
・外来栄養食事指導料の注2	・がん薬物療法体制充実加算
・外来栄養食事指導料の注3	・連携充実加算
・糖尿病合併症管理料	・ニコチン依存症管理料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談支援加算
・がん患者指導管理料イ	・がん治療連携計画策定料
・がん患者指導管理料ロ	・ハイリスク妊産婦連携指導料1
・がん患者指導管理料ハ	・ハイリスク妊産婦連携指導料2
・がん患者指導管理料ニ	・肝炎インターフェロン治療計画料
・外来緩和ケア管理料	・こころの連携指導料(Ⅱ)
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・薬剤管理指導料
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・医療機器安全管理料1
・糖尿病透析予防指導管理料	・医療機器安全管理料2
・小児運動器疾患指導管理料	・精神科退院時共同指導料2
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
・婦人科特定疾患治療管理料	・救急患者連携搬送料
・腎代替療法指導管理料	・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算
・一般不妊治療管理料	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・生殖補助医療管理料1	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
・二次性骨折予防継続管理料1	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・二次性骨折予防継続管理料3	・遺伝学的検査
・下肢創傷処置管理料	・染色体検査の注2
・慢性腎臓病透析予防指導管理料	・骨髄微小残存病変量測定
・院内トリアージ実施料	・BRCA1/2遺伝子検査
・夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算	・がんゲノムプロファイリング検査
・外来放射線照射診療料	・先天性代謝異常症検査

施設基準の種類	施設基準の種類
・抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体	・CT透視下気管支鏡検査加算
・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	・経気管支凍結生検法
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・精密触覚機能検査
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出	・画像診断管理加算3
・検体検査管理加算(I)	・ポジトロン断層撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く)
・検体検査管理加算(IV)	・ポジトロン断層撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る)
・国際標準検査管理加算	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く)
・遺伝カウンセリング加算	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る)
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く)
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る)
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・乳房用ポジトロン断層撮影
・胎児心エコー法	・CT撮影及びMRI撮影
・ヘッドアップティルト試験	・冠動脈CT撮影加算
・長期継続頭蓋内脳波検査	・血流予備量比コンピューター断層撮影
・長期脳波ビデオ同時記録検査1	・外傷全身CT加算
・脳磁図(自発活動を測定するもの)	・心臓MRI撮影加算
・脳磁図(その他のもの)	・乳房MRI撮影加算
・脳波検査判断料1	・小児鎮静下MRI撮影加算
・神経学的検査	・頭部MRI撮影加算
・補聴器適合検査	・全身MRI撮影加算
・全視野精密網膜電図	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・ロービジョン検査判断料	・外来化学療法加算1
・コンタクトレンズ検査料1	・無菌製剤処理料
・小児食物アレルギー負荷検査	・心大血管疾患リハビリテーション料(I)
・内服・点滴誘発試験	・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
・前立腺針生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)	・運動器リハビリテーション料(I)

施設基準の種類	施設基準の種類
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・皮膚移植術(死体)
・摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下機能回復体制加算1	・自家脂肪注入
・がん患者リハビリテーション料	・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・歯科口腔リハビリテーション料2	・四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算
・療養生活継続支援加算	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。)))
・救急患者精神科継続支援料	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・認知療法・認知行動療法1	・人工股関節置換術(手術支援装置を用いるもの)
・依存症集団療法2(ギャンブル依存症の場合)	・後縦靱帯骨化症手術(前方進入によるもの)
・精神科作業療法	・椎間板内酵素注入療法
・精神科ショート・ケア「小規模なもの」	・腫瘍脊椎骨全摘術
・精神科デイ・ケア「小規模なもの」	・脳腫瘍覚醒下マッピング加算
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算
・医療保護入院等診療料	・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術
・人工腎臓	・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術
・導入期加算3及び腎代替療法実績加算	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・頭蓋内電極植込術(脳深部電極によるもの(7本以上の電極による場合)に限る。)
・難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス治療	・舌下神経電気刺激装置植込術
・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	・角結膜悪性腫瘍切除手術
・ストーマ合併症加算	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・歯科技工士連携加算1及び光学印象歯科技工士連携加算	・緑内障手術(緑内障手術(流出路再建術(眼内法))及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・歯科技工士連携加算2	・緑内障手術(濾過胞再建術(needling法))
・CAD/CAM冠及びCAD/CAM冠インレー	・毛様体光凝固術(眼内内視鏡を用いるものに限る。)
・歯科技工加算1及び2	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・処置の休日加算1、時間外加算1及び深夜加算1(医科)	・網膜再建術
・静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)	・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
・皮膚悪性腫瘍切除術(センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・人工中耳植込術

施設基準の種類	施設基準の種類
・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)、鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)	・胸腔鏡下弁形成術
・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	・胸腔鏡下弁置換術
・喉頭形成手術(甲状軟骨固定器具を用いたもの)	・経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的動脈弁置換術)
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)	・経カテーテル弁置換術(経皮的肺動脈弁置換術)
・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術	・経皮的僧帽弁クリップ術
・内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術	・不整脈手術 左心耳閉鎖術(経カテーテル的の手術によるもの)
・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法	・経皮的中隔心筋焼灼術
・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	・両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
・乳腺悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法	・植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)
・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術
・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
・胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び切除術又は1肺葉を超えるものに限る)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)	・補助人工心臓
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・経皮的下肢動脈形成術
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)
・同種死体肺移植術	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
・生体部分肺移植術	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・内視鏡的逆流防止粘膜切除術

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)、腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術)(内視鏡手術用支援機器を用いる)及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術)(内視鏡手術用支援機器を用いる)	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術)(内視鏡手術用支援機器を用いる)及び腹腔鏡下噴門測胃切除術(悪性腫瘍手術)(内視鏡手術用支援機器を用いる)	・同種死体腎移植術
・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術)(内視鏡手術用支援機器を用いる)及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術)(内視鏡手術用支援機器を用いる)	・生体腎移植術
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・膀胱水圧拡張術、ハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道的)
・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下肝切除術	・尿道狭窄グラフト再建術
・移植用部分肝採取術(生体)(腹腔鏡によるもの)	・人工尿道括約筋植込・置換術
・生体部分肝移植術	・精巣温存手術
・同種死体肝移植術	・女子性器悪性腫瘍手術センチネルリンパ節生検加算
・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	・膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術、陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・精巣内精子採取術
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下仙骨腔固定術
・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術	・腹腔鏡下仙骨腔固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・同種死体膵島移植術	・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・生体部分小腸移植術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・同種死体小腸移植術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・内視鏡的小腸ポリープ切除術	・腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・胎児輸血術及び臍帯穿刺
・腹腔鏡下副腎摘出手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下副腎髓質腫瘍摘出手術(褐色細胞腫)(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・体外式膜型人工肺管理料
・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	・手術の休日加算1、時間外加算1及び深夜加算1(医科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術(胃瘻造設術)	・病理診断管理加算2
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・輸血管理料 I	・歯科矯正診断料
・コーディネート体制充実加算	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・同種クリオプレシピテート作製術	・外来・在宅ベースアップ評価料(I)
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・歯科外来・在宅ベースアップ評価料(I)
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・入院ベースアップ評価料
・凍結保存同種組織加算	
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	
・麻酔管理料(I)	
・麻酔管理料(II)	
・周術期薬剤管理加算	
・放射線治療専任加算	
・外来放射線治療加算	
・高エネルギー放射線治療	
・1回線量増加加算	
・強度変調放射線治療(IMRT)	
・画像誘導放射線治療(IGRT)	
・体外照射呼吸性移動対策加算	
・定位放射線治療	
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	
・画像誘導密封小線源治療加算	
・保険医療機関間の連携による病理診断	
・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製	
・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診	

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・ LDLアフェレシス療法	・
・ MRI撮影及び超音波検査融合画像に基づく前立腺針生検法	・
・ 流産検体を用いた染色体検査	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注)2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

### 8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	15 件	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	16 例
	剖検率(%)	3.0%

注)1 「臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況」欄については、選択肢の1・2どちらかを選択する(○で囲む等)こと。

(注)2 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
マルチタスク深層学習を用いた脳MRI解析技術の精神・神経疾患への応用	大石 直也	精神科神経科(精神医学)	910,000	補	文部科学省
拡散MRIによる新たな乳がん予後予測因子としてのイメージングバイオマーカーの構築	飯間 麻美	先端医療研究開発機構 医療開発部	780,000	補	文部科学省
高齢下肢リンパ浮腫患者における圧迫療法のアドヒアランス促進プログラムの開発	井沢 知子	看護部管理室	1,040,000	補	文部科学省
睡眠時無呼吸重症度と糖尿病遺伝リスクを統合した糖尿病発症・増悪の予測モデルの構築	村瀬 公彦	地域医療システム学講座(寄附)	2,265,640	補	文部科学省
変異p53誘導性上皮間葉転換に伴う肺癌悪性化進展シグナルの解明及び新規治療法開発	毛受 暁史	呼吸器外科	1,690,000	補	文部科学省
皮膚における多様な免疫応答の誘導機序と他臓器との免疫学的連関の解明	梶島 健治	皮膚科	38,090,000	補	文部科学省
超高磁場MRIを用いた視床下部機能的結合解析の新規開発と気分障害への応用	村井 俊哉	精神科神経科(精神医学)	3,640,000	補	文部科学省
全てのサブグループを網羅した神経芽腫患者由来PDXライブラリーの構築	梅田 雄嗣	小児科	5,850,000	補	文部科学省
ハイブリッド療法による大腸がん治療抵抗性メカニズムの克服	中西 祐貴	地域医療システム学講座(寄附)	4,420,000	補	文部科学省
力学的負荷改善による変形性関節症進行抑制に寄与する因子の解明及び新規治療法の探索	松田 秀一	整形外科	4,290,000	補	文部科学省

卵巣がんのがん・宿主多様性の解明による新たな診断・治療戦略の開発	万代 昌紀	産科婦人科	4,160,000	補	文部科学省
統合失調症と自閉スペクトラム症への社会認知トレーニングの効果増強:神経基盤の解明	大塚 貞男	精神科神経科(精神医学)	4,290,000	補	文部科学省
RNF213関連血管障害に対するIL-1 $\beta$ の役割解明と前臨床モデルの創出	宮本 享	脳卒中療養支援センター	5,330,000	補	文部科学省
老化変容レジレンスの修復による老化新健康概念の創出	近藤 祥司	PFMセンター	7,800,000	補	文部科学省
未病を在宅で検知するーデジタルバイオマーカーによる「身体の天気予報」	坂野 晴彦	先端医療研究開発機構 医療開発部	7,800,000	補	文部科学省
老化レジリエンス変容に必須な代謝特性の解明と加齢性疾患への応用	近藤 祥司	PFMセンター	7,930,000	補	文部科学省
喉頭癌・下咽頭癌の放射線治療における喉頭機能温存予測モデルの開発	鈴木 綾(中嶋綾)	放射線治療科	1,040,000	補	文部科学省
福山型筋ジストロフィーの拡張型心筋症発症・進行機序の解明	馬場 志郎	総合周産期母子医療センター	2,340,000	補	文部科学省
iPS細胞由来サブタイプ特異的心筋細胞を用いた家族性洞不全症候群の病態解明	牧山 武	地域医療システム学講座(寄附)	1,820,000	補	文部科学省
アトピー性皮膚炎における角質細胞間脂質と皮膚常在細菌叢のクロストークの解明	中島 沙恵子	炎症性皮膚疾患創薬講座(産学共同)	1,040,000	補	文部科学省
サルコイドーシスの肉芽腫形成におけるエネルギー代謝経路の同定	中溝 聡	先端医療基盤共同研究講座	1,170,000	補	文部科学省

がん患者のヘルスリテラシーと補完代替医療の関連性、および意思決定支援技法の開発	大沢 恭子	緩和医療科	1,170,000	補	文部科学省
新生児蘇生のための遠隔講習および遠隔支援と人材育成のためのデジタルポートフォリオ	岩永 甲午郎	小児科	4,030,000	補	文部科学省
NASHの成因にブドウ糖・果糖の代謝物である短鎖アルデヒドが果たす役割の解明	池田 香織	先端医療研究開発機構 臨床研究支援部	260,000	補	文部科学省
人を対象とする非医学系研究に対する質の高い研究倫理支援サービスの枠組みの構築	渡邊 卓也	倫理支援部	390,000	補	文部科学省
一酸化炭素持続放出分子を用いた新規認知症治療薬の開発	安田 謙	脳神経内科	1,300,000	補	文部科学省
非ヒト霊長類モデルによるパーキンソン病の認知機能障害の解析	澤村 正典	脳神経内科	2,210,000	補	文部科学省
パーキンソン病における神経活動抑制療法の有効性	上田 潤	脳神経内科	2,340,000	補	文部科学省
線条体区画構造を標的とした疾患モデル開発による神経疾患の病態解明	奥宮 太郎	先端医療研究開発機構 医療開発部	2,210,000	補	文部科学省
注意欠如多動症の多動を標的とした機械学習による動画解析	上月 遥	精神科神経科(精神医学)	1,300,000	補	文部科学省
活性化T細胞のPET分子イメージングによる免疫チェックポイント阻害薬の治療効果予測	野橋 智美	放射線診断科	1,560,000	補	文部科学省
深層学習と異常検知による子宮筋腫と子宮肉腫の鑑別モデル作成のための多施設共同研究	倉田 靖桐	放射線診断科	2,340,000	補	文部科学省

前立腺癌放射線治療後局所再発に対する革新的な救済局所再照射アプローチの開発	相澤 理人	放射線治療科	1,430,000	補	文部科学省
機能心肺温存体幹部定位放射線治療の治療計画手法の確立	岸 徳子	放射線治療科	1,170,000	補	文部科学省
心臓線維芽細胞由来NLRP3インフラソームの機能解析に基づく心不全急性期の病態解明	棚田 洋平	循環器内科	1,820,000	補	文部科学省
患者由来肺癌細胞株を用いた腫瘍内不均一性の性質に関する因子探索研究	船造 智子	呼吸器内科	1,820,000	補	文部科学省
iPS細胞由来間葉細胞と肺前駆細胞のクロストークによる再生医療の開発	玉井 浩二	呼吸器内科	2,860,000	補	文部科学省
糸球体内皮細胞におけるGC-Aとp38 MAPKのクロストークの解明	加藤 有希子	腎臓内科	2,860,000	補	文部科学省
ポドサイト障害におけるp38 MAPKの意義の解明	山田 博之	初期診療・救急医学	2,340,000	補	文部科学省
冬眠によるエネルギー代謝機構の変化と腎保護メカニズムの解明	山本 伸也	腎臓内科	2,860,000	補	文部科学省
炎症性皮膚疾患を形作るリンパ球の体細胞変異	石田 雄大	皮膚科	2,210,000	補	文部科学省
皮膚局所のリンパネットワークとしてのiSALTについての検討	小亀 敏明	総合臨床教育・研修センター	2,600,000	補	文部科学省
Development of tumor-immunoprofiling to predict therapy response against acute lymphoblastic leukemia	石山 賢一	血液内科	2,730,000	補	文部科学省

B細胞リンパ腫がB細胞受容体シグナル依存性から脱却するメカニズムとその治療応用	有馬 浩史	血液内科	1,690,000	補	文部科学省
全身性エリテマトーデスにおける自己免疫獲得とRGS13分子の関連	北郡 宏次	免疫・膠原病内科	1,690,000	補	文部科学省
骨伸長の調節機構解明による新規低身長治療法の探索	植田 洋平	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,430,000	補	文部科学省
新規臓器保存液と新規携帯型臓器酸素化機械が部分肝移植に及ぼす影響	政野 裕紀	臓器移植医療部	1,820,000	補	文部科学省
慢性膵炎における細胞外マトリックスの変化に着目した新規膵島分離法の開発	山根 佳	肝胆膵・移植外科	2,730,000	補	文部科学省
腫瘍特異的抗体と蛍光の接合化合物を用いた新たな蛍光ガイド手術の確立	西野 裕人	肝胆膵・移植外科	1,430,000	補	文部科学省
オピオイドの精神依存形成に関与する分子生物学的変化の検討	白木 敦子	集中治療部	1,430,000	補	文部科学省
敗血症発症早期の骨格筋電気刺激療法がICU-AWに及ぼす影響の検討	松川 志乃	麻酔科	1,950,000	補	文部科学省
ヒト下垂体幹細胞の分離・分化誘導による自家移植治療の開発	佐野 徳隆	脳神経外科	2,210,000	補	文部科学省
椎体形成術データベースの構築:隣接椎体骨折リスクと治療効果の推定方法確立にむけて	土方 保和	地域医療システム学講座(寄附)	1,950,000	補	文部科学省
腎細胞癌の前臨床モデルを用いたカボザンチニブ耐性獲得機序の解明	住吉 崇幸	泌尿器科	1,430,000	補	文部科学省

子宮癌肉腫における上皮間葉転換による免疫多様性の解明	滝 真奈	産科婦人科	2,340,000	補	文部科学省
卵巣明細胞癌の遺伝子増幅を標的とした診断・治療開発	北村 幸子	総合周産期母子医療センター	2,080,000	補	文部科学省
ステアリン酸が卵巣癌増殖抑制を来すメカニズムの解明	山ノ井 康二	産科婦人科	2,340,000	補	文部科学省
子宮体がん免疫療法の効果に関連する腫瘍微小環境の解析	高松 士朗	産科婦人科	1,560,000	補	文部科学省
放射線照射後声帯の網羅的解析	河合 良隆	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,690,000	補	文部科学省
タイトジャンクション修復による糖尿病における血管透過性亢進の治療開発	石原 健司	眼科	2,340,000	補	文部科学省
創傷専用A・G・B群溶連菌迅速診断キットの開発による劇症型壊死性筋膜炎の早期診断	津下 到	形成外科	3,640,000	補	文部科学省
非構造的臨床データにおける特徴量重要度の算出手法の開発と臨床研究への応用	日高 優	先端医療研究開発機構 クリニカルトリアールサイエンス部	1,820,000	補	文部科学省
血液透析患者におけるQT延長の発生・要因・予後への影響の解明	佐々木 彰	総合臨床教育・研修センター	2,860,000	補	文部科学省
入院中の造血管器疾患患者に生じる骨格筋変性の臨床的特徴と、関連因子の解明	村尾 昌信	リハビリテーション部	2,860,000	補	文部科学省
覚醒下脳腫瘍摘出術における術中運動モニタリングの開発と臨床応用	馬場 千夏	リハビリテーション部	1,950,000	補	文部科学省

睡眠障害要因の在宅モニタリングのためのセンサー一体型靴下と状態推定技術の開発	江口 佳那	リアルワールドデータ研究開発講座(産学共同)	3,250,000	補	文部科学省
ベネトクラスの薬物動態に影響を及ぼす因子の探索と個別化投与設計に関する研究	山際 岳朗	薬剤部	470,000	補	文部科学省
不眠症を伴う糖尿病の病勢コントロールにおける睡眠薬選択基準とその科学的根拠の創出	圓東 寛基	薬剤部	480,000	補	文部科学省
体外循環装置使用下での重症敗血症に対する抗菌薬の最適投与設計法の構築	小島 悠輔	薬剤部	450,000	補	文部科学省
抗てんかん薬の脳中濃度における個体間変動要因の解明	植田 優花	薬剤部	460,000	補	文部科学省
薬物動態・薬理遺伝学に基づくバルガンシクロピルの個別化投与設計法の確立	片田 佳希	薬剤部	450,000	補	文部科学省
薬物動態モデルを用いたプロポフォール脳中濃度の個体間変動因子の探索	川田 将義	薬剤部	480,000	補	文部科学省
静脈血栓塞栓症併発がん患者におけるリバーロキサパンの多機関共同安全性評価研究	有福 萌波	薬剤部	480,000	補	文部科学省
神経膠腫患者における術後生活の介助量を予測可能な非侵襲術中モニタリングの開発	堀川 陽一郎	リハビリテーション部	350,000	補	文部科学省
肺移植前後におけるフレイル・サルコペニアの有病率とその臨床的意義の検証	大島 洋平	リハビリテーション部	420,000	補	文部科学省
光刺激人工内耳が加速させる細胞移植と分化転換からの蝸牛神経再生による新規難聴治療	西村 幸司	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	3,770,000	補	文部科学省

発生部位による遺伝子変異の違いに着目した胆道癌発癌メカニズムの解明	西川 義浩	消化器内科	2,340,000	補	文部科学省
免疫微小環境モデリングに着目した尿路上皮癌新規複合免疫療法の開発	齊藤 亮一	泌尿器科	1,170,000	補	文部科学省
AT/RTにおけるRAD21遺伝子の機能解析と治療標的としての可能性	寺田 行範	脳神経外科	1,916,285	補	文部科学省
プロテオーム解析による原発性免疫不全症候群の新生児マススクリーニング法の開発	柴田 洋史	小児科	650,000	補	文部科学省
神経発達症群と腫瘍形成におけるクロストークの解明と新規創薬の開発	滝田 順子	小児科	3,900,000	補	文部科学省
エネルギー代謝可視化と霊長類胎児腎解析で迫るネフロン数決定機構の解明	柳田 素子	腎臓内科	3,900,000	補	文部科学省
タンパク質分解系を利用した神経変性疾患の病態解明と治療法の探索	山門 穂高	脳神経内科	3,640,000	補	文部科学省
乳癌抗癌剤治療における心血管関連合併症予測と早期診断の検討	加藤 恵理(戸田恵理)	検査部	780,000	補	文部科学省
月経関連の情動、認知機能変化の包括的理解目指した縦断的脳画像研究	植野 司	精神科神経科(精神医学)	364,000	補	文部科学省
初代ヒト肺上皮細胞を用いたモデルによる特発性間質性肺炎の新規治療法開発	今井 晶(松島晶)	先制医療・生活習慣病研究センター	650,000	補	文部科学省
ファーマコゲノミクス検査の臨床普及を目指した臨床ゲノム薬理学的研究	寺田 智祐	薬剤部	1,560,000	補	文部科学省

薬剤性腎障害の実態解明とそれに基づく発症機序の探索	中川 俊作	薬剤部	1,430,000	補	文部科学省
Tuft細胞性に着目した胸部がんの特性解明と新規治療法の提唱	山田 洋介	病理診断科	1,300,000	補	文部科学省
マウスモデルと臨床材料を用いた大腸がん幹細胞の転移機構の解析	柿崎 文彦	先端医療研究開発機構 医療開発部	390,000	補	文部科学省
ヒト疾患iPS細胞を利用した膵・腸管異常症の解明と再生医療への応用	藤倉 純二	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,300,000	補	文部科学省
大腸癌肝転移における腫瘍微小環境での好中球の機能・動態解明	板谷 喜朗	消化管外科	1,300,000	補	文部科学省
膵癌放射線治療における腫瘍内低酸素領域の動態と低酸素誘導因子との関係の検討	吉村 通央	放射線治療科	910,000	補	文部科学省
乾燥ろ紙血プロテオミクス解析を用いた原発性免疫不全症の新生児スクリーニング法開発	八角 高裕	小児科	1,300,000	補	文部科学省
早産児の慢性肺疾患の重症度予測モデル構築のための多施設共同前方視的コホート研究	河井 昌彦	小児科	780,000	補	文部科学省
ディープラーニングを用いた非造影CTからの臓器抽出最適化手法の確立	静田 聡	循環器内科	130,000	補	文部科学省
網羅的なHLA及び臨床情報の機械学習による同種移植の国際標準予後予測アルゴリズム	諫田 淳也	血液内科	1,430,000	補	文部科学省
新規エピゲノム修飾薬のB細胞リンパ腫に対する奏効予測モデルの確立とその治療応用	錦織 桃子	血液内科	1,430,000	補	文部科学省

非定型3q26転座型骨髄性腫瘍のEVI1エピジェネティック制御機構解明と治療応用	蝶名林 和久	血液内科	1,430,000	補	文部科学省
自己免疫疾患におけるホスホリパーゼD4の臨床応用の探索	秋月 修治	免疫・膠原病内科	1,170,000	補	文部科学省
単一遺伝子異常による糖尿病の新規発症原因遺伝子同定	田中 大祐	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,430,000	補	文部科学省
ヒトにおける細胞外マトリックスの代謝への影響の検討	井上 真由美	先制医療・生活習慣病研究センター	780,000	補	文部科学省
細胞外小胞の脂質組成に注目した乳癌免疫療法の新規バイオマーカーの探索	川島 雅央	乳腺外科	1,170,000	補	文部科学省
脈管可視化技術を用いた次世代手術ナビゲーションシステムの開発	波多野 悦朗	肝胆膵・移植外科	1,170,000	補	文部科学省
吸入麻酔薬が敗血症における筋萎縮に及ぼす予防効果の検討	甲斐 慎一	麻酔科	1,300,000	補	文部科学省
SARS-CoV-2によるヒト血小板機能活性化メカニズムの解明と治療法の探索	川本 修司	麻酔科	1,300,000	補	文部科学省
低代謝療法の基盤となる脳から末梢組織への休眠シグナルの解明	大鶴 繁	初期診療・救急医学	260,000	補	文部科学省
炎症性関節炎におけるKDM1Aを介した細胞間ネットワークの解析	村田 浩一	リウマチ性疾患先進医療学講座	780,000	補	文部科学省
低侵襲で高精度な関節軟骨硬度計測システムの新構築	栗山 新一	整形外科	910,000	補	文部科学省

ヒト胚着床における末梢血単核球の促進的作用メカニ ズムの解明	堀江 昭史	産科婦人科	780,000	補	文部科学省
小児と成人の卵胞発育の差異に適応させたヒト卵胞 培養系の開発	奥宮 明日香	産科婦人科	1,170,000	補	文部科学省
子宮内膜症と卵巣癌における脂質代謝によるフェロ トランスの役割	山口 建	産科婦人科	1,300,000	補	文部科学省
自然免疫からみた羊膜の維持・修復機構:前期破水 の予防・治療をめざして	最上 晴太	産科婦人科	650,000	補	文部科学省
婦人科がんに対するB細胞免疫の解明と新たな診断・ 治療戦略の開発	濱西 潤三	産科婦人科	780,000	補	文部科学省
内耳蝸牛三次元構造形成メカニズムの解明と蝸牛型 オルガノイド作製への応用	大西 弘恵	耳鼻咽喉科・頭頸部 外科	1,170,000	補	文部科学省
三次元電子顕微鏡観察法を用いた内耳・喉頭組織の 細胞の微視的解析	勝野 達也	耳鼻咽喉科・頭頸部 外科	1,690,000	補	文部科学省
補償光学光干渉断層計を用いた滲出型加齢黄斑変 性の病態解明と新規治療に関する研究	宮田 学	眼科	1,300,000	補	文部科学省
ムコ多糖症患者に生じるガーゴイル様顔貌の発症メカ ニズムの解明と新規治療法の開発	中尾 一祐	歯科口腔外科	1,560,000	補	文部科学省
手指動作を定量化するための動作解析装置の開発	池口 良輔	整形外科	910,000	補	文部科学省
微細加工技術を用いた血管ネットワーク付人工骨の 開発	河井 利之	整形外科	1,560,000	補	文部科学省

ロボット支援術中臓器への加圧程度を手術映像のみから判断するAIシステム開発と実装	増井 仁彦	泌尿器科	650,000	補	文部科学省
細胞老化の誘導する非細胞自律的な代謝・炎症制御機構の解明	三河 拓己	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,300,000	補	文部科学省
動的に変化する上丘の方位・方向選択性マップの神経基盤および機能解明	笠井 昌俊	神経生物学	1,690,000	補	文部科学省
CRISPRスクリーンを用いたHIV-1潜伏感染分子メカニズムの解析	白川 康太郎	血液内科	1,300,000	補	文部科学省
大腸前がん病変におけるSpheroid増殖能の意義とメカニズムの解明	山田 敦	腫瘍内科(腫瘍薬物治療学)	1,560,000	補	文部科学省
大腸上皮の分化指標に基づく大腸がん予後予測新規因子の解明	三好 弘之	先端医療研究開発機構 医療開発部	1,300,000	補	文部科学省
最新多角的オミックス解析を用いた慢性活動性EBV感染症の病態解析研究	加藤 格	小児科	1,300,000	補	文部科学省
αシヌクレインと鉄代謝異常に着目した多系統萎縮症の分子病態解明	大野 美樹	脳神経内科	1,430,000	補	文部科学省
臨床検体からの抗原直接検出による薬剤耐性菌の迅速検査法の開発と臨床評価	松村 康史	検査部	1,820,000	補	文部科学省
側頭葉における漢字処理の機能解剖連関の解明	下竹 昭寛	脳神経内科	1,430,000	補	文部科学省
PETイメージングを用いた慢性脳虚血がアルツハイマー病理発現におよぼす影響の解明	山内 浩	精神科神経科(精神医学)	780,000	補	文部科学省

乳癌縮小手術・非手術治療を可能とする高精度マルチパラメトリックイメージングの開発	片岡 正子	放射線診断科	1,040,000	補	文部科学省
細胞療法の治療効果予測のためのCell Tracking PET 診断用薬剤の開発	志水 陽一	放射線診断科	1,170,000	補	文部科学省
小児脳MRIにおけるMR Fingerprintingの応用	伏見 育崇	放射線診断科	780,000	補	文部科学省
原因不明の炎症性疾患におけるI型IFN応答遺伝の発現解析と新規炎症病態の解明	井澤 和司	小児科(総合周産期母子医療センター)	1,300,000	補	文部科学省
正常妊娠維持および不育症におけるスフィンゴ脂質代謝の役割の解明	水岸 貴代美	血液内科	1,430,000	補	文部科学省
トリフルリジンとWee1阻害による食道扁平上皮癌に対する新たな治療戦略の確立	大橋 真也	腫瘍内科(腫瘍薬物治療学)	1,300,000	補	文部科学省
炎症性肝発癌過程におけるDNA脱メチル化酵素の機能的役割と分子機序の解明	高井 淳	消化器内科	1,300,000	補	文部科学省
CDKN3阻害剤による大腸癌の抗薬治療耐性機序の克服と新規治療法開発	松原 淳一	腫瘍内科(腫瘍薬物治療学)	1,300,000	補	文部科学省
胆膵癌のインテグリン $\alpha V\beta 6$ を標的とした光免疫療法を用いた新規がん免疫療法の確立	宇座 徳光	消化器内科	1,560,000	補	文部科学省
心不全におけるBNP、ANP前駆体の分泌調節不全の機序解明と新規治療法の開発	中川 靖章	循環器内科	1,300,000	補	文部科学省
In vitro変異体スクリーニングによる遺伝的要因の検討法の確立	中島 康弘	循環器内科	1,690,000	補	文部科学省

CXCR7の動脈硬化における機能解明とPETによる臨床応用に向けて	馬場 理	先制医療・生活習慣病研究センター	1,300,000	補	文部科学省
肺動脈性肺高血圧症におけるTRPC6, CNP経路の研究	木下 秀之	循環器内科 心血管内分泌代謝研究室	1,430,000	補	文部科学省
冠動脈プラークのOCT画像をAIで解析を行い長期臨床成績を予測する研究	山地 杏平	循環器内科	650,000	補	文部科学省
免疫学的恒常性の破綻と肺気腫フェノタイプの形成機序の解明	田辺 直也	呼吸器内科	1,430,000	補	文部科学省
進行性線維化を伴う間質性肺疾患における新規臨床指標の開発と治療標的の探索	谷澤 公伸	呼吸器内科	1,690,000	補	文部科学省
翻訳後修飾に着目した肉芽腫性炎症の制御機構解明	神戸 直智	皮膚科	780,000	補	文部科学省
T細胞を抗原特異的に皮膚へ遊走させるメカニズムの解明	江川 形平	皮膚科	1,300,000	補	文部科学省
抗MDA5抗体陽性皮膚筋炎合併間質性肺炎モデルマウスの構築と病態機序の探究	中嶋 蘭(笹井蘭)	免疫・膠原病内科	1,430,000	補	文部科学省
ヒトES/IPS細胞を用いた副腎皮質・血管分化機構の解明および内分泌学的解析	田浦 大輔	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,690,000	補	文部科学省
電位依存性Ca <sup>2+</sup> チャネル $\alpha$ 2 $\delta$ サブユニットを介したGLP-1分泌制御機構の解明	山根 俊介	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,300,000	補	文部科学省
腸管に発現する脂肪酸受容体の機能解析	原田 範雄	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,690,000	補	文部科学省

門脈結紮による肝再生過程における線維芽細胞の役割解明～肝切除適応の拡大を目指して	小山 幸法	肝胆膵・移植外科	1,430,000	補	文部科学省
肝移植後の抗体関連拒絶制御に向けた新規バイオマーカー探索	伊藤 孝司	肝胆膵・移植外科	1,430,000	補	文部科学省
胆道癌の腫瘍内不均一性を基盤とした新規治療標的の開発	長井 和之	肝胆膵・移植外科	1,170,000	補	文部科学省
ヒトiPS細胞由来人工心臓組織における成熟化プロセスの理解と制御法の確立	長田 裕明	心臓血管外科	1,430,000	補	文部科学省
ドナー肺の好中球細胞外トラップを標的とした新規移植前治療法の開発	大角 明宏	呼吸器外科	1,300,000	補	文部科学省
術後の血管内皮グリコカリックス障害予防を目指した周術期血糖管理方法の開発	江木 盛時	麻酔科	1,300,000	補	文部科学省
ポリ乳酸ポリマー製フローダイバーター吸収過程におけるステント内膜と動脈瘤閉塞評価	石井 暁	脳神経外科	1,690,000	補	文部科学省
幹細胞と抗菌薬の局所投与で難治性インプラント感染を制御するための基礎研究	黒田 隆	整形外科	1,170,000	補	文部科学省
患者由来ゼノグラフトを用いたCDK12変異前立腺癌のPARP阻害薬不応性の克服	後藤 崇之	泌尿器科	1,560,000	補	文部科学省
炎症性膀胱疾患における慢性炎症と尿路上皮ギャップ結合蛋白の関与の解明	河野 仁	泌尿器科	1,300,000	補	文部科学省
難治性卵巣癌に対する、抗VEGF抗体とB7H3を標的とした併用療法の開発	村上 隆介	産科婦人科	1,040,000	補	文部科学省

母体血流によるシェアストレスが絨毛間腔において妊娠初期絨毛に与える影響の解明	千草 義継	産科婦人科	1,300,000	補	文部科学省
網膜変性疾患における腸内細菌、自己免疫の関与の解明	池田 華子	眼科	1,430,000	補	文部科学省
視神経症の時空間周波数特性の解析	須田 謙史	眼科	910,000	補	文部科学省
真皮micrograft移植による自家培養表皮の生着率向上	坂本 道治	形成外科	1,690,000	補	文部科学省
線維性結合組織の非線形粘弾性の解明－三次元ダイナミックイメージングによる定量解析	齊藤 晋	形成外科	1,820,000	補	文部科学省
咀嚼能力と死亡率の関連とその原因となるメカニズムの網羅的探索	浅井 啓太	歯科口腔外科	910,000	補	文部科学省
NDB・多施設レジストリー・単施設コホートの融合による関節リウマチの合併症の解明	大西 輝	リウマチ性疾患先進医療学講座	1,430,000	補	文部科学省
喫煙による肺の気腫性変化を早期に検出する画像指標とバイオマーカーの探索	今井 誠一郎	先制医療・生活習慣病研究センター	1,170,000	補	文部科学省
重症呼吸不全患者における肺移植術後の予後改善に関する研究	佐藤 晋	呼吸管理睡眠制御学講座	1,040,000	補	文部科学省
耐糖能異常(IGT)段階で早期に診断を行うための指標の探索	辰巳 真貴子	先制医療・生活習慣病研究センター	1,300,000	補	文部科学省
癌領域の医薬品、診断薬、再生医療の開発早期に必要な臨床データに関する研究	永井 純正	先端医療研究開発機構 医療開発部	1,040,000	補	文部科学省

超初期段階から引き返す膀胱がん予防戦略の探求	妹尾 浩	消化器内科	2,600,000	補	文部科学省
マウス肺移植・慢性期移植肺機能不全モデルの開発と免疫応答機構の解明	田中 里奈	呼吸器外科	3,250,000	補	文部科学省
希少疾患画像研究のための多施設症例共有ネットワーク及びプラットフォームの構築	樋本 祐紀	放射線診断科	780,000	補	文部科学省
乳癌臨床検体を用いたホルモン治療耐性メカニズムの解明	川口 展子	腫瘍内科(腫瘍薬物治療学)	130,000	補	文部科学省
心停止肝移植におけるグラフト機能改善を目指した新規臓器保存法の開発	奥村 晋也	肝胆膵・移植外科	1,170,000	補	文部科学省
新規腎機能評価方法論による小児移植患者のバルガンシクロビル適正投与設計の構築	勝部 友理恵	薬剤部	910,000	補	文部科学省
転移性脳腫瘍に対する過分割多段階照射の最適な線量投与方法の開発と臨床評価	丹羽 恵(宇藤恵)	放射線治療科	520,000	補	文部科学省
統合失調症の触覚時空間情報処理における大脳皮質の層特異的活動	張 志林	精神科神経科(精神医学)	1,560,000	補	文部科学省
敗血症時の脊髄炎症の病態とその治療可能性について	廣津 聡子	麻酔科	1,690,000	補	文部科学省
乳房深吸気息止め照射における体表面位置予測システムの確立	小野 幸果	放射線治療科	1,430,000	補	文部科学省
強度変調回転照射プランの複雑さを軽減する最適化システムの確立	小野 智博	放射線治療科	1,040,000	補	文部科学省

PETとMRIを活用した神経膠腫の分子生物学的プロファイルに迫る術前診断法の確立	坂田 昭彦	放射線診断科	1,430,000	補	文部科学省
てんかん性脳症の新規原因遺伝子NSFの分子病態解析	横山 淳史	小児科	1,820,000	補	文部科学省
異なる経路での腸腫瘍発生におけるクロマチンリモデリング因子の機能的役割の解明	林 由紀子(平松由紀子)	消化器内科	1,430,000	補	文部科学省
培養細胞を用いた胃粘膜発癌メカニズムと遺伝子変異・ピロリ菌感染相互作用の解明	竹内 康英	クリニカルバイオリソースセンター	1,430,000	補	文部科学省
肝内胆管癌の形成におけるHes1の機能解析および肝内胆管癌の新規治療法の開発	松森 友昭	消化器内科	1,430,000	補	文部科学省
静脈血栓塞栓症患者の診療実態と予後を検討する多施設共同観察研究	山下 侑吾	循環器内科	650,000	補	文部科学省
リンパ形質細胞性リンパ腫モデルマウスの作製による病態解析と新規治療薬シーズの探索	城 友泰	検査部	1,300,000	補	文部科学省
全身性エリテマトーデスの抗DNA抗体とHLAクラスIIの関連性についての研究	辻 英輝	免疫・膠原病内科	910,000	補	文部科学省
個別化治療に向けた大腸癌StageIV根治術症例のctDNAバイオマーカーの探索	岡村 亮輔	消化管外科	1,300,000	補	文部科学省
PDOXモデルを用いたWarburg効果を標的とする肝内胆管癌外科治療戦略の開発	楊 知明	肝胆膵・移植外科	1,430,000	補	文部科学省
出血発症もやもや病の術後10年予後解明を目指した多施設コホート研究	舟木 健史	脳神経外科	780,000	補	文部科学省

最適な濃度の抗菌イオンを徐放し、優れた骨形成促進作用を有するインプラントの開発	奥津 弥一郎	整形外科	1,170,000	補	文部科学省
蝸牛有毛細胞における極性形成のメカニズム	十名 洋介	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	520,000	補	文部科学省
加齢黄斑変性におけるreticular pseudodrusenの特徴	上田 奈央子	眼科	910,000	補	文部科学省
脱細胞化血管を用いた集合リンパ管の再生研究	山中 浩気	形成外科	1,560,000	補	文部科学省
ヒト顔面骨格の子宮内における成長様式の解明	勝部 元紀	形成外科	1,300,000	補	文部科学省
糖鎖によるケロイド形成メカニズムの解明	片山 泰博	形成外科	1,690,000	補	文部科学省
マインドフルネスの感情調節効果と痩せ:神経性痩せ症の介入開発に向けた基盤的研究	野田 智美	精神科神経科(精神医学)	1,690,000	補	文部科学省
IMP3を軸とした多重免疫染色を用いた血管内大細胞型B細胞リンパ腫の病理診断	藤本 正教	病理診断科	1,820,000	補	文部科学省
ミトコンドリア置換技術を用いた、がん細胞におけるmtDNAの影響の解明	澤田 武志	次世代医療・iPS細胞治療研究センター	1,170,000	補	文部科学省
大腸癌患者由来癌細胞ライブラリーを用いた癌幹細胞性の可塑性に関する研究	前川 久継	消化管外科	910,000	補	文部科学省
乳がん患者における腫瘍流入領域リンパ節の免疫微小環境解析を用いた新規治療戦略開発	山口 絢音	麻酔科(手術部)	1,430,000	補	文部科学省

ネクロトーシスの制御による新たなパーキンソン病治療の可能性	中西 悦郎	脳神経内科	1,430,000	補	文部科学省
パーキンソン病における新たな免疫治療の開発	田口 智之	脳神経内科	2,340,000	補	文部科学省
要介護リスクに寄与するQOLの構成及び変化パターンの解明	紙谷 司	総合臨床教育・研修センター	1,690,000	補	文部科学省
広帯域皮質脳波の定量化によるてんかん焦点のバイオマーカーの開発	小林 勝哉	脳神経内科	1,170,000	補	文部科学省
ギャンブル障害の臨床経過に関わる神経基盤について	鶴身 孝介	精神科神経科(精神医学)	1,170,000	補	文部科学省
神経性やせ症の反社会的行動における非侵襲的脳刺激法の効果	磯部 昌憲	精神科神経科(精神医学)	2,470,000	補	文部科学省
即時適応放射線治療を目指した深層学習活用CBCT再構成法の開発	平島 英明	放射線治療科	910,000	補	文部科学省
放射線治療開始までの時間短縮が可能かつ体内状況に適応する次世代放射線治療法の開発	伊良皆 拓	放射線治療科	1,560,000	補	文部科学省
PET/CT画像を用いた免疫チェックポイント阻害薬の高精度な治療予測モデルの開発	中本 隆介	放射線診断科	910,000	補	文部科学省
放射線治療による好中球細胞外トラップを介した遠隔転移のメカニズム解明と予防法開発	中島 良太	放射線部	1,560,000	補	文部科学省
網羅的遺伝子スクリーニング技術を用いた甲状腺癌内用療法に対する抵抗性因子の探索	子安 翔	放射線診断科	1,690,000	補	文部科学省

小児期発症の潰瘍性大腸炎における特異的自己抗体・自己抗原の同定と病態解明	日衛嶋 栄太郎	小児科	2,340,000	補	文部科学省
ADA2欠損症の血管炎病態の分子メカニズム解析	仁平 寛士	小児科	2,340,000	補	文部科学省
全ゲノムシーケンスを軸としたオミックス解析による多段階肝発癌メカニズムの解明	竹田 治彦	消化器内科	2,470,000	補	文部科学省
未分化型胃癌の腫瘍内heterogeneityを考慮した遺伝子解析研究	二階堂 光洋	消化器内科	1,430,000	補	文部科学省
慢性冠症候群患者に対するアスピリンの有効性および制酸剤の消化管出血予防効果の検討	山本 絵里香	循環器内科	390,000	補	文部科学省
抗IL-5受容体抗体による好塩基球を介した獲得免疫系への影響の解明	砂留 広伸	呼吸管理睡眠制御学講座	1,430,000	補	文部科学省
閉塞性睡眠時無呼吸で惹起されるミトコンドリア機能異常のメカニズムとその影響の検討	濱田 哲	呼吸不全先進医療講座(病院 先端センター内)	1,560,000	補	文部科学省
特発性肺線維症における単球・マクロファージの疾患特異的サブタイプの検討	池添 浩平	呼吸器内科	2,600,000	補	文部科学省
大規模データの機械学習解析による造血細胞移植治療の最適化	新井 康之	検査部	1,820,000	補	文部科学省
核内受容体NR4Aの低分子アゴニストによる自己免疫疾患の治療効果についての研究	日和 良介	免疫・膠原病内科	1,430,000	補	文部科学省
マルチオミックス解析と機械学習による関節リウマチ治療効果予測	藤井 貴之	リウマチ性疾患先進医療学講座	2,340,000	補	文部科学省

ヨード輸送体ペンドリンは甲状腺機能亢進症の治療標的となるか	山内 一郎	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,820,000	補	文部科学省
小胞体ストレス応答を介した成体膵β細胞増殖分子機構の解明	村上 隆亮	糖尿病・内分泌・栄養内科	2,210,000	補	文部科学省
肝移植後NASH発症に関わるドナーならびにレシピエントの遺伝子多型	上林 エレーナ幸江	肝胆膵・移植外科	2,080,000	補	文部科学省
食道腺癌の発癌促進作用がある菌の同定とその発癌促進機構の解明	奥村 慎太郎	消化管外科	1,365,000	補	文部科学省
リアルワールドデータを用いたICU入室高齢患者の退室後の要介護度についての研究	武田 親宗	麻酔科(手術部)	780,000	補	文部科学省
脳動脈瘤と頸動脈狭窄症でのvessel wall imagingの分子機序の解明	安部倉 友	脳神経外科	2,080,000	補	文部科学省
インプラント表面処理と骨形成薬による骨粗鬆症椎体における骨結合促進効果の検討	清水 孝彬	整形外科	1,430,000	補	文部科学省
膀胱癌同種移植マウスモデルを用いた化学療法感受性を規定する腫瘍免疫微小環境の解明	北 悠希	泌尿器科	2,080,000	補	文部科学省
蝸牛有毛細胞再生機構におけるエンドセリン受容体Bの機能解明	松永 麻美	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,820,000	補	文部科学省
フォン・ヒッペル・リンドウ病における網膜血管芽腫の臨床病態解明・評価系の確立	高橋 綾子	眼科	780,000	補	文部科学省
CNPを用いた投薬による低侵襲な顎変形症の新規治療法の確立	山中 茂樹	歯科口腔外科	1,430,000	補	文部科学省

非回復性睡眠が生活習慣病等の発症に影響を及ぼすメカニズムの解明	高橋 順美	呼吸管理睡眠制御学講座	1,300,000	補	文部科学省
メタボリックシンドロームの予防を目指した胎児期の低酸素への適応過程の解明	友滝 清一	小児科	520,000	補	文部科学省
老化に伴いII型肺胞上皮細胞に発現するCideaの機能解析	三河 隆太	呼吸器内科	2,470,000	補	文部科学省
没入型バーチャルリアリティを利用した高次脳機能障害のリハビリテーション	LIU CHANG	医療情報企画部	2,470,000	補	文部科学省
パーキンソン病の $\alpha$ シヌクレイン伝播におけるカルシウムダイナミクス的重要性	上田 潤	脳神経内科	1,430,000	補	文部科学省
全身性エリテマトーデスにおける胸腺-腸管-迷走神経-脾臓ネットワークの解明	白柏 魅怜	免疫・膠原病内科	1,430,000	補	文部科学省
転移性去勢感受性前立腺癌の分子生物学的解析に基づくプレシジョン医療の実現	住吉 崇幸	泌尿器科	1,430,000	補	文部科学省
アミノ酸制限食の皮膚と紫外線皮膚障害に与える影響の解明	川上 聡経	皮膚科	1,430,000	補	文部科学省
局所進行非小細胞肺癌における放射線性肺臓炎リスクを極小化する放射線治療手法の確立	岸 徳子	放射線治療科	1,300,000	補	文部科学省
心臓線維芽細胞のNLRP3インフラマソームが心臓の炎症を惹起する機序の解明	棚田 洋平	循環器内科	1,430,000	補	文部科学省
鉄動態異常の是正効果に基づくHinokitiolの炎症性腸疾患への治療応用の試み	北本 博規	消化器内科	1,430,000	補	文部科学省

診療報酬明細書を用いた大腸がんの進行度別の医療費の検討	内海 貴裕	消化器内科	1,430,000	補	文部科学省
アンサンブル学習及び公開データベースを用いた造血幹細胞移植予後予測モデルの開発	岩崎 惇	血液内科	1,430,000	補	文部科学省
脳卒中後急性期の筋量および筋質変化が長期的アウトカムに与える影響の解明	田中 浩基	リハビリテーション部	1,430,000	補	文部科学省
喉頭の発声機構に基づく声質の解明および音声治療への応用	児嶋 剛	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,170,000	補	文部科学省
パーキンソン病関連疾患のモデル作製と治療薬開発	山門 穂高	脳神経内科	4,290,000	補	文部科学省
肝臓外科領域における食事療法の有効性および腸内環境の変動解析	内田 洋一郎	肝胆膵・移植外科	2,730,000	補	文部科学省
自己免疫性膵炎の抗原同定	塩川 雅広	消化器内科	5,590,000	補	文部科学省
ヒト未分化細胞から誘導した肺上皮細胞のメッシュ上培養を用いた感染症研究への展開	伊藤 功朗	呼吸器内科	4,550,000	補	文部科学省
皮下血管誘導反応の機構解明に基づく細胞移植用免疫寛容空間構築技術の開発	穴澤 貴行	臓器移植医療部	4,030,000	補	文部科学省
ビッグデータによる近視の総合的病態解明	辻川 明孝	眼科	4,030,000	補	文部科学省
高静水圧処理を応用した皮膚、骨、神経の再生~自家腫瘍組織の再生医療への応用	森本 尚樹	形成外科	5,070,000	補	文部科学省

前駆期パーキンソン病をターゲットとした病態解明と疾患修飾療法の開発	高橋 良輔	脳神経内科	8,190,000	補	文部科学省
タウ・アミロイドPETおよび7テスラMRI/MRSによる中高年期精神疾患の層別化	久保田 学	精神科神経科(精神医学)	3,510,000	補	文部科学省
非転移性超高リスク前立腺癌に対する革新的放射線治療アプローチの開発	溝脇 尚志	放射線診断科	5,590,000	補	文部科学省
iPS細胞を用いた難治性気管支拡張症の新規診断法の確立と治療法の開発	後藤 慎平	呼吸器内科	5,590,000	補	文部科学省
正常脳組織のゲノム解析によるIDH変異型グリオーマ発生基盤の解明と先制医療開発	荒川 芳輝	脳神経外科学	4,160,000	補	文部科学省
遺伝子改変尿路上皮オルガノイドによる膀胱発癌メカニズムの解明と免疫治療のモデル化	小林 恭	泌尿器科	4,160,000	補	文部科学省
臨床能力を育む医療教育システムの実現に向けた患者仮想化技術の創出	山本 豪志朗	医療情報企画部	3,770,000	補	文部科学省
更年期の鉄欠乏とメンタル不調の関連:女性ホルモンの衰退に抗わない予防医学の開拓	江川 美保	産科婦人科	3,900,000	補	文部科学省
乳がんの精密診断のための包括的PET画像診断法の確立	中本 裕士	放射線診断科	9,750,000	補	文部科学省
大腸がん幹細胞の可塑性を制御する時空間的メカニズムの解析	妹尾 浩	消化器内科	4,940,000	補	文部科学省
大動脈瘤の病態解明と、その進行抑制及び退縮を促す新規治療薬の開発	尾野 亘	循環器内科	7,020,000	補	文部科学省

霊長類腎臓病学:霊長類モデルとヒト組織を用いた霊長類特異的腎障害修復機構の解明	柳田 素子	腎臓内科	7,020,000	補	文部科学省
肺移植前に行う体外肺還流中の抗IL-6受容体モノクローナル抗体による肺障害修復	伊達 洋至	呼吸器外科	9,100,000	補	文部科学省
腸内細菌による n-6系不飽和脂肪酸代謝産物の腸管炎症における病態生理学的役割の解明	岡部 誠	消化器内科	1,560,000	補	文部科学省
使用用途別のインターネット嗜癖・リテラシーに関する神経画像研究	藤原 広臨	精神科神経科(精神医学)	2,210,000	補	文部科学省
医用画像QAエージェント	藤本 晃司	高度医用画像学講座(産学共同)	3,510,000	補	文部科学省
SR-PETによる各種腫瘍のSSTR発現評価とPRRT適応可能性の検証	河井 可奈江(三宅可奈江)	放射線診断科	650,000	補	文部科学省
マルチオミックス解析を軸とした胃癌浸潤能獲得メカニズムの解明	清水 孝洋	内視鏡部	1,560,000	補	文部科学省
冠動脈3枝疾患の治療法選択における3次元血管造影定量解析による機能的虚血評価の意義	塩見 紘樹	循環器内科	2,340,000	補	文部科学省
肺癌転移性肝腫瘍における肝転移生体内観察モデルを用いた新規治療戦略の開発	吉田 博徳	呼吸器内科	1,690,000	補	文部科学省
肺傷害後の再生における幹細胞の活性化と肺胞再構築メカニズムの検討	佐藤 篤靖	呼吸器内科	1,820,000	補	文部科学省
メンデルランダム化解析による特発性肺線維症の治療ターゲットの探索	半田 知宏	呼吸不全先進医療講座(産学共同)	1,560,000	補	文部科学省

ポドサイト障害による糸球体糸絡内の血栓形成機序解析とPAI-1の役割解明	横井 秀基	腎臓内科	2,210,000	補	文部科学省
自然免疫に着目した、川崎病の病態解明および新規治療法の開発	山下 浩平	血液内科	1,560,000	補	文部科学省
全身性エリテマトーデス患者B細胞で高発現するTYMSのB細胞における機能的役割の解明	吉藤 元	免疫・膠原病内科	1,300,000	補	文部科学省
非コードRNAによる褐色脂肪細胞・ベージュ脂肪細胞の活性化機構の解明	堀江 貴裕	循環器内科	1,560,000	補	文部科学省
HO-1遺伝子多型性に基づいた常温機械灌流装置を用いた個別化治療の開発	影山 詔一	肝胆膵・移植外科	1,560,000	補	文部科学省
iRGDによる胃癌免疫チェックポイント阻害剤併用化学療法の選択的増強効果の可能性	久森 重夫	消化管外科	2,470,000	補	文部科学省
心臓血管外科領域におけるiPS細胞技術を用いた新規遺伝子治療ベクターの開発	池田 義	心臓血管外科	1,560,000	補	文部科学省
ドラッグデリバリーシステムを応用した抗菌性ステントグラフトの開発	川東 正英	心臓血管外科	1,560,000	補	文部科学省
中枢気道修復を目的とした新規ポリグリコール酸素材の開発	豊 洋次郎	呼吸器外科	1,430,000	補	文部科学省
ラット肺移植における体外肺灌流保存中の炎症性サイトカイン制御	中島 大輔	呼吸器外科	1,950,000	補	文部科学省
尿中酸素分圧に着目した腎血流低下および急性腎障害の早期検出に関する研究	溝田 敏幸	手術部	2,210,000	補	文部科学省

高位脛骨骨切り術の術前後のキネマティクスおよび応力の解析	中村 伸一郎	運動器機能再建学講座(寄附)	1,560,000	補	文部科学省
GWASとシングルセル解析から転写性エンハンサーに着目する変形性関節症の病態解明	西谷 江平	運動器機能再建学講座(寄附)	2,210,000	補	文部科学省
マクロファージ動態制御による声帯線維化予防技術開発	岸本 曜	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,300,000	補	文部科学省
ヒトiPS細胞由来気道上皮シート鼻腔移植モデルの作製	北田 有史	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,690,000	補	文部科学省
鶏蝸牛有毛細胞再生過程における支持細胞reprogramming機構の解明	中川 隆之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,560,000	補	文部科学省
Mixed Realityデバイスを用いた音声治療支援機器開発基礎技術の研究	藤村 真太郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,950,000	補	文部科学省
糖尿病網膜症における細胞外小胞による神経血管ユニット障害を標的とした新規治療開発	村上 智昭	眼科	1,560,000	補	文部科学省
クリスタリン網膜症治療薬の最適化検討	井上 由美	眼科	1,560,000	補	文部科学省
キメラ抗原受容体T細胞療法に対するリハビリテーション戦略構築に向けた挑戦	濱田 涼太	リハビリテーション部	3,380,000	補	文部科学省
食道発がんメカニズムの解明:食道ヨード染色時に認めるmicro dotsの包括的解析	三谷 洋介	腫瘍内科(腫瘍薬物治療学)	1,300,000	補	文部科学省
KRAS増幅胃癌におけるSprouty経路の機序解明と分子標的療法の開発	菊池 理	腫瘍内科(腫瘍薬物治療学)	1,560,000	補	文部科学省

高齢者における内耳非依存的な中枢性聴覚神経機能評価 高齢人工内耳装用者の新展開	山崎 博司	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,990,000	補	文部科学省
免疫チェックポイント阻害薬の新規効果予測因子としての腸内微生物叢の包括的解析	米倉 慧	皮膚科	1,950,000	補	文部科学省
歯科ユニット給水系における微生物汚染の評価と細菌増殖抑制効果に関する研究	三島 清香	歯科口腔外科	390,000	補	文部科学省
拡大保因者検査がもたらす生殖観・胎児観の変化～出生前・着床前診断との比較	小川 昌宣	倫理支援部	780,000	補	文部科学省
気の利く手術室実現に向けた空間に偏在する複数人の知的活動の情報の顕在化	山本 豪志朗	医療情報企画部	3,250,000	補	文部科学省
マウスに対するB型肝炎ウイルス感染成立に不可欠な宿主因子の網羅的探索	犬塚 義	消化器内科	1,430,000	補	文部科学省
薬理学的研究と臨床研究に基づくステロイドによる不眠の治療アルゴリズム構築	重面 雄紀	薬剤部	1,430,000	補	文部科学省
レジリエンスを評価するのに役立つエピジェネティックマーカーとその神経基盤の探索	稲葉 啓通	精神科神経科(精神医学)	1,430,000	補	文部科学省
皮膚シュワン細胞のサブタイプ分類の解析	入江 浩之	皮膚科	1,430,000	補	文部科学省
糞便中の大腸菌クローンの網羅的かつ定量的な新規メタゲノム解析手法の開発	津田 裕介	検査部	1,430,000	補	文部科学省
腎癌における細胞外小胞を介したチロシンキナーゼ阻害剤抵抗性獲得メカニズムの解明	高森 一	泌尿器科	1,430,000	補	文部科学省

炎症性肝発癌過程におけるミスマッチ修復遺伝子 MSH2の役割の解明	中野 重治	消化器内科	1,430,000	補	文部科学省
子宮体部漿液性癌におけるDNA損傷修復異常を標的とした新規治療開発	河原 俊介	産科婦人科	1,430,000	補	文部科学省
前立腺癌転移モデル及びオルガノイドを用いた前立腺癌転移機序の解明と新規治療探索	砂田 拓郎	泌尿器科	1,430,000	補	文部科学省
胃腺管のエピゲノム解析による発癌高リスクの化生の同定	寺村 茉利	消化器内科	1,430,000	補	文部科学省
PSTPIP1関連自己炎症性疾患におけるインフラマソーム制御機構解明	前田 由可子	小児科	1,430,000	補	文部科学省
肝細胞癌の発生におけるTERT遺伝子の役割を解明する	三嶋 真紗子	先制医療・生活習慣病研究センター	1,430,000	補	文部科学省
抗インテグリン $\alpha v \beta 6$ 抗体を用いた小児IBD患者における新たな診断法と治療戦略の確立	村本 雄哉	消化器内科	1,430,000	補	文部科学省
ロングリードシーケンスによる新規SVAレトロトランスポゾンの特性と疾患関連性の解明	矢野 直子	小児科	1,430,000	補	文部科学省
ヒトiPS細胞モデルを用いた細胞内pH変化によるQT短縮症候群の病態解明	相澤 卓範	循環器内科	1,430,000	補	文部科学省
TLR4経路制御を介した肺虚血再灌流障害に対する新規治療法の確立	高橋 守	呼吸器外科	1,170,000	補	文部科学省
HLAエピトープに基づく臓器移植後免疫抑制療法の最適化戦略開発	平田 真章	肝胆膵・移植外科	1,430,000	補	文部科学省

IL18経路抑制による肝移植などに伴う肝虚血再灌流障害の阻止とその機構の解析	門野 賢太郎	肝胆膵・移植外科	1,430,000	補	文部科学省
光干渉断層計画像における脈絡膜の正常所見の解明	森 雄貴	眼科	1,430,000	補	文部科学省
口腔疾患が全身疾患の性差に寄与するメカニズムの網羅的探索	福原 紫津子	歯科口腔外科	1,430,000	補	文部科学省
顎顔面領域の軟骨におけるCNP/GC-Bシステムの生理的意義について	柏木 まりな	歯科口腔外科	1,040,000	補	文部科学省
リアルワールドデータを用いた消化管癌に対するロボット支援手術の有効性に関する研究	木下 裕光	消化管外科	1,430,000	補	文部科学省
交替制勤務者のサーカディアンリズムが代謝に及ぼす影響の検討	近藤 亜樹	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,430,000	補	文部科学省
手術応用に向けた「ながら」操作を実現する入力インタフェースの開発	御手洗 彰	医療情報企画部	1,430,000	補	文部科学省
運動機能を強化する情動に関する神経ネットワークの解明	澤田 真寛	脳神経外科	12,740,000	補	文部科学省
臨床疫学に活用可能なNDB等データセットの作成に関する研究	森 由希子	医療情報企画部	17,500,000	補	厚生労働省
回復期以降の循環器病に対する多職種連携による患者支援体制の充実・普及に資する研究	宮本 享	脳神経外科	5,000,000	補	厚生労働省
もやもや病(ウイリス動脈輪閉塞症)における難病医療体制の整備や患者のQOL向上に資する研究	宮本 享	脳神経外科	9,000,000	補	厚生労働省

難治性呼吸器疾患・肺高血圧症に関する調査研究	平井 豊博	呼吸器内科	15,080,000	補	厚生労働省
フォン・ヒッペル・リンドウ病における実態調査・診療体制構築とQOL向上のための総合的研究	辻川 明孝	眼科	3,445,000	補	厚生労働省
地域で安心して暮らせる精神保健医療福祉体制における入院医療による支援のための研究	村井 俊哉	精神科神経科(精神医学)	2,880,000	補	厚生労働省
病院薬剤師へのタスク・シフト/シェア普及に対する阻害要因の把握とその解決に向けた調査研究	寺田 智祐	薬剤部	6,188,000	補	厚生労働省
Universal Health Coverage (UHC)の推進のための世界の保健医療情報システム革新の効果検証に資する研究	黒田 知宏	医療情報企画部	1,091,449	補	厚生労働省
リアルワールドデータの二次利用加速にむけた多施設データ処理方式の導入の試行研究	黒田 知宏	医療情報企画部	6,240,000	補	厚生労働省
((公財)糖尿病財団からの受託研究【10%】) 2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験(J-DOIT3)【10%】	原田 範雄	糖尿病・内分泌・栄養内科	200,000	委	公益財団法人 日本糖尿病財団 理事長
(HIV感染者等保健福祉相談事業) HIV感染者等保健福祉相談事業	高折 晃史	血液内科	675,000	委	公益財団法人エイズ予防財団 理事長
(国立がん研究センターからの受託研究) ALK遺伝子異常を有する希少がんに対するアレクチニブの医師主導治験 金井→松本	松本 繁巳	リアルワールドデータ研究開発講座	400,000	委	国立がん研究センター 理事長
「世界モデルとなる自律成長型人材・技術を育む総合健康産業都市拠点」に関する京都大学による研究開発及びプロジェクト推進/研究成果展開事業 共創の場形成支援(共創の場形成支援プログラム)/高橋良輔/国立循環器病研究センターCOI-NEXT	高橋 良輔	脳神経内科	32,999,200	委	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
【症例タイプ】パーキンソン病発症予防のための運動症状発症前biomarkerの特定のための研究(The Japan Parkinson's Progression Markers Initiative(通称:J-PPMI))	高橋 良輔	脳神経内科	260,000	委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 理事長

10523734 国循&加藤貴雄 10%	加藤 貴雄	先端医療研究開発機構	350,000	委	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター 理事長
AI技術を活用した統合失調症の早期診断医療機器プログラムの開発/分担研究開発課題名:統合失調症の早期診断のエビデンスの創出/AMED/宮田淳/代表:国立精神・神経医療研究センター・橋本班	宮田 淳	精神科神経科	1,300,000	委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 理事長
AI技術を使用した未破裂脳動脈瘤増大破裂予測システムの構築と実用化を目指した多施設共同研究/AMED/池堂 太一/代表:国立循環器病研究センター・片山班	石井 暁	脳神経外科	2,080,000	委	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター 理事長
BRAF融合遺伝子陽性の進行・再発の低悪性度神経膠腫または腺癌に対するビニメチニブの第II相医師主導治験/国立がん研究センター/吉岡 正博	金井 雅史	腫瘍内科	495,000	委	国立研究開発法人 国立がん研究センター 理事長
Cellm-001による初発膠芽腫治療効果無作為比較対照試験に関する医師主導治験/荒川芳輝/代表:神戸大学・村垣班/2022年9月1日から東京女子医科大(150220700049)→神戸大	荒川 芳輝	脳神経外科	500,000	委	神戸大学医学部附属病院 病院長
D-1 医療機関・ベンダー・システムの垣根を超えた医療データ基盤構築による組織横断的な医療情報収集の実現/国立大学法人東京大学(国立国際医療研究センター再委託)/黒田 知宏/SIP事業、代表:河添班	黒田 知宏	医療情報企画部	30,349,000	委	国立大学法人東京大学
DAT-SPECT、神経学的診察、認知機能等の心理評価、MRIデータの収集、解析	高橋 良輔	脳神経内科	250,640	委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 理事長
High volume転移を認める前立腺癌患者に対する局所放射線治療を併用する標準治療の確立と治療効果予測マーカーの開発/AMED/溝脇尚志/代表:宮崎大学・賀本班	溝脇 尚志	放射線治療科	728,000	委	国立大学法人宮崎大学 契約担当役員 理事
HLAエピトープ多型に基づく臓器移植のテーラーメイド医療開発に資する研究/AMED/伊藤 孝司/代表:広島大学・進藤班	伊藤 孝司	肝胆膵・移植外科	864,500	委	国立大学法人広島大学 学長
HLAエピトープ多型に基づく臓器移植のテーラーメイド医療開発に資する研究/AMED/進藤 岳郎	進藤 岳郎	血液・腫瘍内科	1,799,834	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職員 理事長
KUMADAIマグネシウムを用いた生体吸収性フローダイバーターに関する研究/AMED/千原 英夫(R6年度から石井暁先生より変更)	石井 暁	脳神経外科	39,416,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職員 理事長

Ramucirumab抵抗性進行胃癌に対するramucirumab+Irinotecan 併用療法のインターグループランダム化第III相試験(RINDBeRG試験)／特定非営利活動法人臨床試験推進機構／松原 淳一	松原 淳一	臨床システム腫瘍学講座	110,000	委	特定非営利活動法人臨床試験推進機構 代表理事 古河 洋
アグレッシブNK 細胞白血病(ANKL)患者を対象にPPMX-T003反復持続静脈内投与時の忍容性、安全性、有効性及び薬物動態を評価する多施設共同、非盲検、用量漸増第I/II相試験／広島大学／諫田 淳也	諫田 淳也	血液・腫瘍内科	2,200,000	委	国立大学法人広島大学 学長
アディクションの病態・症候・治療に関する包括的研究／精神・神経疾患研究開発費(代表:精神保健研究所・松本俊彦)／村井俊哉	村井 俊哉	精神医学	1,000,000	委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 理事長
アンチセンス核酸を用いたカルモジュリン遺伝子変異による重症遺伝性不整脈に対する治療薬の開発／AMED／牧山 武	牧山 武	地域医療システム学講座	26,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
がん細胞の熱エネルギー代謝－熱代謝治療法の開発－	川島 雅央	乳腺外科	10,328,500	委	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
クリスタリン網膜症の新規治療法開発／AMED／池田 華子	池田 華子	眼科	27,170,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
ゲノム医療実現推進のためのバイオバンク・ネットワーク構築とバイオバンク活用促進に関する研究開発／AMED／武藤 学／代表:東北大学・萩島班	武藤 学	腫瘍内科	3,900,000	委	国立大学法人東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 機構長
シングルセル統合ゲノム解析が解き明かす強皮症の病態基盤の開発／AMED再委託・理化学研究所・寺尾／吉藤元	吉藤 元	免疫・膠原病内科	2,600,000	委	国立研究開発法人理化学研究所 契約担当役 外部資金室長
ダチョウ頸動脈由来脱細胞化小口径人工血管の臨床評価準備／山中 浩気／AMED	山中 浩気	形成外科	19,500,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
チタンブリッジ手術を用いた癱瘓性発声障害に対する国際的新規治療戦略の開発／大森 孝一／AMED再委託(名古屋市立大学・讃岐徹治 代表)	大森 孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	390,000	委	公立大学法人名古屋国立大学 理事長
ネフローゼ型膜性腎症に対するリツキシマブ(遺伝子組換え)の有効性及び安全性を検証する多施設共同プラセボ対照無作為化二重盲検並行群間比較試験(PRIME study)／坂井 薫／国立大学法人東海国立大学機構	坂井 薫	腎臓内科	500,000	委	国立大学法人 東海国立大学機構

ネフローゼ型膜性腎症に対するリツキシマブの検証的 医師主導治験の実施/AMED/柳田素子/代表: 名古屋大学・丸山班	柳田 素子	腎臓内科	1,690,000	委	国立大学法 人東海国立 大学機構 機 構長
パーキンソン病前駆期モデル動物を活用した臓器間 ネットワークの解明とヒトへのトランスレーションによるリ スク予見法の創出/ムーンショット型研究開発事業/ 山門 穂高	山門 穂高	脳神経内科	109,200,000	委	国立研究開 発法人科学 技術振興機 構 分任研究 契約担当者 契約部長
パーキンソン病発症前から発症後に連続する神経回 路病態の解明とトランスレータブル指標の開発/AM ED/高橋 良輔	高橋 良輔	脳神経内科	185,640,000	委	国立研究開 発法人 日本 医療研究開 発機構 契約 担当職 理事 長
バイオリソースアライアンスを用いた医療研究開発の 可能性探索/日本システム開発株式会社/武藤 学	武藤 学	腫瘍内科	650,000	委	日本システム 開発株式会 社
パンデミックに対してレジリエントな社会・技術基盤の 構築/分担課題名:感染症の流行に強い高齢者福 祉・医療の構築に関する基盤研究/JST/長尾美紀	長尾 美紀	検査部	845,000	委	国立研究開 発法人科学 技術振興機 構 分任研究 契約担当者 契約部長
ヒト脂肪細胞を用いた人工乳腺組織に関する基礎研 究/ 国立大学法人大阪大学、TOPPANホールデー ングス株式会社/森本 尚樹	森本 尚樹	形成外科	650,000	委	国立大学法 人大阪大学 大学院工学 研究科長
ヒト腎臓病における3次リンパ組織の役割の解明と治 療介入対象としての蓋然性の検討/AMED/柳田 素子	柳田 素子	腎臓内科	10,400,000	委	国立研究開 発法人 日本 医療研究開 発機構 契約 担当職 理事 長
プライバシー強化型の移動・社会相互作用分析によるハ イパーローカル危機監視とパンデミック対策/戦略的 国際共同研究プログラム(SICORP)/黒田知宏	黒田 知宏	医療情報企画部	8,723,000	委	国立研究開 発法人科学 技術振興機 構 分任研究 契約担当者 契約部長
ヘルスケアで用いるうつ、不安と月経前症候群のPRO 指標のエビデンスの整理と開発/AMED/江川美保 /代表:国立大学法人千葉大学・沼田法子	江川 美保	産科婦人科	2,600,000	委	国立大学法 人千葉大学 契約担当役 事務局長
マイクロRNAと心血管疾患に関する基礎的・臨床的 研究/国立病院機構京都医療センター/尾野亘	尾野 亘	循環器内科	2,000,000	委	独立行政法 人国立病院 機構京都医 療センター 院長
マトリセルラー蛋白を標的としたがん脆弱性誘導の試 み/JST/創発的研究支援事業/中西 祐貴	中西 祐貴	地域医療システム学 講座	9,100,000	委	国立研究開 発法人科学 技術振興機 構 分任研究 契約担当者 契約部長

もやもや病の出血性脳卒中予防と長期予後改善を目指す多施設共同研究/AMED/宮本 享	宮本 享	脳神経外科	13,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
リンパ節免疫微小環境を標的とした新規乳癌治療戦略の開発/AMED/河口 浩介	河口 浩介	乳腺外科	9,100,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
レーザーによる皮膚疾患の美容的改善に関する研究/医療法人社団 恵心会 京都武田病院/森本 尚樹	森本 尚樹	形成外科	10,000,000	委	医療法人社団 恵心会 京都武田病院 院長
レム睡眠からアプローチする精神・神経疾患の理解とその克服/東京大学からの再委託/江川 斉宏	江川 斉宏	脳神経内科	5,590,000	委	国立大学法人 東京大学 総長
ロボット介護機器の海外展開等に向けた臨床評価ガイドランス等の研究開発/AMED/清水公治	清水 公治	先端医療機器開発・臨床研究センター	650,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
わが国の小児がんサバイバーの健康・社会生活状況の実態解明に関する大規模調査研究/特定非営利法人日本小児がん研究グループ/滝田 順子	滝田 順子	小児科	500,000	委	特定非営利活動法人 日本小児がん研究グループ
遺伝子タイプによらない新たな筋ジストロフィー治療薬の開発/AMED/23ym0126074h0002/尾野 亘	尾野 亘	循環器内科	12,900,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
遺伝性拡張型心筋症に対する新規抗体医薬品開発/AMED/牧山 武/代表:国立循環器病研究センター・新谷泰範	牧山 武	地域医療システム学講座	1,300,000	委	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター 理事長
医療機器開発におけるカダバースタディーに関するガイドランス策定/分担課題名:日本外科学会CST推進委員会との調整/波多野 悦朗/代表:北海道大学・七戸班 ※令和5年度課題番号誤り:・23he0822002s0101	波多野 悦朗	肝胆膵・移植外科	260,000	委	国立大学法人 北海道大学 大学院医学研究院 院長
炎症誘発細胞除去による100歳を目指した健康寿命延伸医療の実現/分担研究開発課題名:高齢腎の微小環境と炎症誘発細胞を標的とした治療薬の開発/柳田素子/東京大学・中西班/ムーンショット	柳田 素子	腎臓内科	74,100,000	委	国立大学法人 東京大学 総長 代理人 医科学研究所 事務部長
拡散 MRI を用いた新規がんトランススケールイメージング法の開発/飯間 麻美/AMED	飯間 麻美	先端医療研究開発機構	13,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長

核酸医薬を用いた、心筋症の予後を改善する新規抗不整脈治療法の開発/AMED/木下 秀之/代表: 東京大学・稲住班	中川 靖章	循環器内科	2,600,000	委	国立大学法人東京大学
核内受容体NR4Aを標的とした全身性エリテマトーデスの治療開発/AMED/日和 良介	日和 良介	免疫・膠原病内科	6,500,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
乾燥ろ紙血プロテオーム解析を用いた原発性免疫不全症診断の効率化研究/AMED/八角高裕	八角 高裕	小児科	13,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
完全切除されたリンパ節転移陰性の非小細胞肺癌(> 2cm)患者に対する、UFTを用いた術後補助化学療法におけるEGFR遺伝子変異の影響・CSPOR-LC03試験副次解析としての多施設共同後ろ向き観察研究/パブリックヘルスリサーチセンター/伊達 洋至	伊達 洋至	外科系専攻器官外科学講座呼吸器外科学	490,600	委	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター理事長
患者生体試料リソースプラットフォームの構築と運用/ムーンショット型研究開発事業/妹尾 浩	妹尾 浩	消化器内科	73,000,200	委	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
患者由来がん幹細胞培養を基盤とした革新的個別化医療開発/AMED/小濱 和貴	小濱 和貴	消化管外科	79,929,790	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
肝外胆道がん、胆嚢がんの自然史に沿った網羅的解析と治療標的の検討/AMED/妹尾 浩	妹尾 浩	消化器内科	13,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
間質リッチ大腸がんに対する“微小環境改変免疫療法”の研究開発/AMED/中西 祐貴	中西 祐貴	地域医療システム学講座	13,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
希少がんに対する遺伝子プロファイリングと標的治療に関する前向きレジストリ臨床研究(MASTERKEY Project)	武藤 学	腫瘍内科	11,155,000	委	国立研究開発法人国立がん研究センター 理事長
希少造血器腫瘍に対する遺伝子プロファイリングと標的治療に関する前向きレジストリ臨床研究(MASTERKEY Project:NCCH-1812) 諫田 淳也	諫田 淳也	血液・腫瘍内科	2,240,000	委	国立研究開発法人国立がん研究センター 理事長
吸入薬の有効性・安全性・同等性評価のための非侵襲的肺内送達量推定に関する研究開発/AMED/平 大樹	平 大樹	薬剤部	5,200,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長

急性期脳梗塞における自動トリアージに向けた革新的診断技術の開発/AMED/石井 暁	石井 暁	脳神経外科	13,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
血栓吸引カテーテルを用いた機械的血栓回収療法の効果と安全性に関する多施設共同登録研究/単価契約/石井 暁	石井 暁	脳神経外科	308,000	委	地方独立行政法人神戸市民病院機構 神戸市立医療センター中央市民病院 院長
健常人を対象とした生活習慣病予防のための早期診断研究プロジェクト「健康管理システムの構築と先制医療の実現に向けたDWH(Data Warehouse)の構築、運用、情報解析手法の開発」/山本 豪志朗	南部 雅幸	先制医療・生活習慣病研究センター	32,050,000	委	医療法人社団ミッドタウンクリニック 理事長
健常人を対象とした生活習慣病予防のための早期診断研究プロジェクト「生活習慣と合併症の発症・進展要因と予防戦略構築に関する研究」	井上 真由美	先制医療・生活習慣病研究センター	118,343,000	委	医療法人社団ミッドタウンクリニック 理事長
健常人を対象とした生活習慣病予防のための早期診断研究プロジェクト「放射線画像診断データを用いた早期発見・早期治療に向けた疾患メカニズムの解明および早期診断法の開発の研究」	磯田 裕義	先制医療・生活習慣病研究センター	96,849,000	委	医療法人社団ミッドタウンクリニック 理事長
検定学習が心理・脳機能に及ぼす効果の検証研究/公益財団法人 日本漢字能力検定協会/村井 俊哉	村井 俊哉	精神医学	7,800,000	委	公益財団法人 日本漢字能力検定協会
原発性免疫異常症患者を対象としたシロリムスの有効性及び安全性を検討する医師主導治験/AMED/井澤和司/R4からAMEDとの直接契約	八角 高裕	小児科	4,550,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
原発性免疫不全症の診断率向上に向けたCD45陽性細胞を用いたマルチオミックス解析の開発/AMED再委託(広島大学・岡田班)/八角高裕	八角 高裕	小児科	780,000	委	国立大学法人広島大学 学長
固形癌に対するGPC-1 CAR-T療法の実用化に向けた ex vivo 安全性/有効性評価法の確立/AMED/澤田 武志	澤田 武志	次世代医療・iPS細胞治療研究センター	8,060,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
抗インテグリン $\alpha V \beta 6$ 自己抗体測定による潰瘍性大腸炎の診断・病勢評価のエビデンス創出研究/AMED/塩川 雅広	塩川 雅広	消化器内科	12,955,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
高安動脈炎における血管合併症バイオマーカーの開発に向けたエビデンス創出研究/AMED再委託/吉藤元/代表:国立循環器病研究センター・中岡良和	吉藤 元	免疫・膠原病内科	260,000	委	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター 理事長

高機能シス型アスタキサンチンエステル製剤の実用化研究／研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム／井上正宏	井上 正宏	クリニカルバイオリソース研究開発講座	1,274,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
高品質のIRB審査の基盤となるIRBクラブの設立およびIRB運用ハンドブックの作成と普及に関する研究／国立大学法人大阪大学・山本洋一班／渡邊 卓也	渡邊 卓也	倫理支援部	650,000	委	国立大学法人大阪大学医学部附属病院 病院長
高齢者初発膠芽腫に対する分子分類に応じたテモゾロミド併用寡分割放射線治療の最適化に関する研究開発／AMED／荒川 芳輝	荒川 芳輝	脳神経外科	19,497,400	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
高齢発症関節リウマチ患者の健康寿命延伸を目指した治療戦略の確立／AMED再委託・国立長寿医療研究センター・小嶋／森信 暁雄	森信 暁雄	免疫・膠原病内科	650,000	委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 理事長 荒井 秀典
骨頭圧潰前の特発性大腿骨頭壊死症を対象としたbFGFゼラチン製剤の医師主導第Ⅲ相試験／AMED／黒田 隆／国立大学法人東海国立大学機構(岐阜大学)・秋山 治彦班	黒田 隆	整形外科	4,507,100	委	国立大学法人東海国立大学機構 機構長
差分プライバシーによる匿名加工後の医療情報の有用性の検証／戦略的創造研究推進事業 チーム型研究(CREST)／森由希子	森 由希子	医療情報企画部	13,000,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
再発／治療抵抗性二次性中枢神経系リンパ腫に対するチラブルチニブ単剤療法の有効性と安全性を評価する第Ⅱ相医師主導試験(治験実施計画書番号:NCCH2201/MK013)／国立研究開発法人国立がん研究センター／錦織 桃子→有馬 浩史／CRYSTAL試験	有馬 浩史	血液内科	450,000	委	国立研究開発法人国立がん研究センター 理事長
再発・難治性悪性リンパ腫に対するpiggyBac トランスポゾン法によるCD19 キメラ抗原受容体遺伝子改変自己T細胞の安全性及び有効性に関する第1/2相医師主導試験／AMED再委託／新井康之／名古屋大学	新井 康之	検査部	1,300,000	委	国立大学法人東海国立大学機構 機構長
再発または転移性の日本人腎細胞がん患者の予後に影響する背景因子を検討することを目的とした研究／特定非営利活動法人Japan PH Registry／半田 知宏	半田 知宏	呼吸不全先進医療講座	15,000	委	特定非営利活動法人 Japan PH Registry
再発膠芽腫に対するTUG1を標的とした核酸医薬医師主導第Ⅰ相試験／国立大学法人東海国立大学機構(名古屋大学)・株式会社ファイブリングス／荒川 芳輝	荒川 芳輝	脳神経外科	1,000,000	委	国立大学法人 東海国立大学機構
細胞治療及び遺伝子治療を含む広範な再生医療研究の社会実装加速化に資する伴走支援／AMED／波多野悦朗	波多野 悦朗	肝胆膵・移植外科	159,554,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長

視点反応・眼球運動のデジタルフェノタイプを活用した軽度認知機能異常スクリーニングプログラムの研究開発/AMED/三宅 正裕	三宅 正裕	眼科	66,800,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
次世代シーケンス技術を基盤としたC型肝炎ウイルス排除後における肝癌出現機序・病態変化の解明とバイオマーカーの開発/分担研究開発課題名:SVR後発癌症例におけるHCVゲノム解析/AMED/高井 淳/山梨大学・榎本 信幸班	高井 淳	消化器内科	910,000	委	国立大学法人山梨大学
自然免疫異常症に対する包括的iPS細胞バンクの構築/AMED/八角 高裕	八角 高裕	小児科	52,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
疾患特異的iPS細胞を用いた病態機序解析による特発性間質性肺炎の層別化と創薬システムの開発/AMED/平井 豊博	平井 豊博	呼吸器内科	49,400,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
腫瘍の不均一性およびゲノム3次元構造の視点から見た乳児急性リンパ性白血病の理解と治療法に関する研究開発/AMED/加藤 格/東京医科歯科大学・高木班	加藤 格	小児科	975,000	委	国立大学法人東京医科歯科大学 学長
循環器疾患診療実態調査(JROAD)のデータベースによる心臓サルコイドーシスの診療実態調査と二次調査に基づく診断・治療プロトコールの策定に関する研究(MYSTICS)/国立研究開発法人国立循環器病研究センター/加藤 貴雄	加藤 貴雄	先端医療研究開発機構	78,000	委	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター 理事長
初発IDH野生型低悪性度神経膠腫に対するNovoTTF-100Aシステムの多施設共同第II相試験(医師主導治験)/AMED/荒川 芳輝/東京大学・田中 將太班	荒川 芳輝	脳神経外科	910,000	委	国立大学法人東京大学
初発中枢神経原発胚細胞腫瘍に対する化学療法併用放射線治療の低侵襲化に関する研究開発/AMED/荒川 芳輝	荒川 芳輝	脳神経外科	19,497,400	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
小児および若年成人における再発難治CD19陽性B細胞性急性リンパ性白血病に対する同種造血細胞移植後維持療法の確立に関する研究/AMED再委託 国立成育医療研究センター(坂口)/加藤格	加藤 格	小児科	1,820,000	委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター 理事長
小児から成人を対象にする臨床試験による T 細胞性急性リンパ性白血病の小児型治療適用限界年齢の検討と新規バイオマーカー探索に関する研究/分担課題名:小児T-ALLの遺伝子解/AMED/滝田 順子/代表:東京大学・加藤班	滝田 順子	小児科	19,500,000	委	国立大学法人千葉大学 契約担当 事務局長
小児がんの全ゲノム解析等のデータ基盤の充実と診療応用に資する成果の創出/AMED/滝田順子/代表:東京大学・加藤班	滝田 順子	小児科	780,000	委	国立大学法人 東京大学 総長

小児急性骨髄性白血病の標準的治療法の確立のための臨床研究/AMED再委託/平松 英文/代表: 国立成育医療研究センター・富澤大輔	平松 英文	小児科	1,950,000	委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター 理事長
小児血液悪性疾患及び非腫瘍性疾患に対するトレオスルファン併用移植前処置の医師主導治験のプロトコール作成/AMED/梅田 雄嗣	梅田 雄嗣	小児科	3,770,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
小児上衣腫に対する手術摘出度と分子的マーカーを用いた治療層別化による集学的治療の安全性と有効性確立に向けた研究開発/AMED/荒川 芳輝/代表: 東海国立大学機構・斎藤班	荒川 芳輝	脳神経外科	260,000	委	国立大学法人 東海国立大学機構
消化管内視鏡を用いた治療における標準治療確立のための多施設共同研究(2020-J-3)	武藤 学	腫瘍内科	800,000	委	国立研究開発法人 国立がん研究センター 理事長
食事療法の計画・実行支援AIプログラムによりPHR・EHRを糖尿病重症化予防医療に活用する仕組みの研究開発/AMED/稲垣 暢也	稲垣 暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	29,900,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
心臓サルコイドーシス患者における診療の実態調査、および治療不応例・再発例に関する新規予測プログラムの開発と前向きレジストリによる検証/AMED/加藤 貴雄/代表: 国立循環器病研究センター・泉 知里班	加藤 貴雄	先端医療研究開発機構	455,000	委	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター 理事長
心臓核医学検査による特発性心筋症病態層別化指標の確立/AMED再委託・大阪大学(坂田)/加藤 貴雄	加藤 貴雄	先端医療研究開発機構	390,000	委	国立大学法人 大阪大学 大学院医学系研究科 科長
新規吸着カラムの開発/AMED/塩川 雅広	塩川 雅広	消化器内科	78,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
神経グリア血管単位-リンパ管系に着目した血管性認知症および混合型認知症における臓器間ネットワークの解明とヒトへのトランスレーションによるリスク予見法の創出/ムーンショット型研究開発事業	眞木 崇州	脳神経内科	106,600,000	委	国立研究開発法人 科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
神経変性疾患原因タンパク質の効率的な除去方法の探索/AMED/山門 穂高	山門 穂高	脳神経内科	3,993,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長

神経-免疫ネットワーク変容と光センシング機構破綻の修復に資する自然免疫記憶を用いた難治性視覚障害に対する革新的治療の開発/AMED/畑 匡侑	畑 匡侑	眼科	5,666,700	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
神経膠腫に対するロムスチン療法とプロカルバジン、ロムスチン、ビンクリスチン併用療法に関する研究開発/AMED/荒川 芳輝	荒川 芳輝	脳神経外科	63,898,900	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
診断・治療適用のための光超音波3Dイメージングによる革新的画像診断装置の開発/臨床研究(皮弁術前計画及び乳がん診断応用開発)/AMED/齊藤 晋	齊藤 晋	形成外科	47,356,556	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
人工骨単独で固定可能な高精度かつ低侵襲な次世代膝周囲骨切り術 用インプラント開発/AMED橋渡しプログラム/栗山 新一	栗山 新一	整形外科	13,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
腎臓病において組織障害と修復を制御する微小環境の解明と医学応用/AMED/柳田 素子	柳田 素子	腎臓内科	73,798,835	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
成人T細胞白血病/リンパ腫の治療を目指したHTLV-1ウイルス標的樹状細胞ワクチン療法の確立:薬事承認を目的とした第II相医師主導治験/AMED再委託/国立病院機構九州がんセンター・末廣 陽子班/R5.7まで進藤 岳郎→R5.8より阪本貴士)	阪本 貴士	血液内科	3,510,000	委	独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター 院長
成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究(2020-J-3) 分担課題名:放射線治療を含む標準治療確立のための多施設共同研究/国立がん研究センター研究開発費/溝脇 尚志/大江 裕一郎班	溝脇 尚志	放射線治療科	4,132,000	委	国立研究開発法人 国立がん研究センター 理事長
成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究(2020-J-3) 分担研究課題名:肝胆膵がんに対する標準治療確立のための多施設共同研究/国立がん研究センター研究開発費/波多野 悦朗/大江 裕一郎班	波多野 悦朗	肝胆膵・移植外科	700,000	委	国立研究開発法人 国立がん研究センター 理事長
切除不能な肝門部領域胆管癌に対する生体肝移植/AMED/波多野悦朗/代表:熊本大学・日比班	波多野 悦朗	肝胆膵・移植外科	130,000	委	国立大学法人熊本大学
切除不能肝細胞癌におけるアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法、外科的切除を用いた集学的治療の安全性、有効性を検討する多施設共同第 II 相臨床研究 付随研究:治療効果および有害事象予測のバイオマーカーの探索/国立国際医療研究センター/波多野 悦朗	波多野 悦朗	肝胆膵・移植外科	10,000	委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター 理事長
切除不能肝細胞癌におけるアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法、外科的切除を用いた集学的治療の安全性、有効性を検討する多施設共同第II相臨床研究(研究略名: RACB)	波多野 悦朗	肝胆膵・移植外科	220,000	委	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター 理事長

切除不能局所進行食道癌に対する標準治療確立のための研究/AMED再委託(国立がん研究センター・大幸班)/角田 茂	角田 茂	消化管外科	39,000	委	国立研究開発法人 国立がん研究センター 理事長
切除不能進行がんおよび転移・再発固形がん患者に対するElectronic Patient-Reported Outcome (ePRO) モニタリングの有用性を検証する多施設共同非盲検ランダム化比較試験 [研究名略称:PRO-MOTE]	川口 展子	腫瘍内科	33,000	委	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター理事長
摂食障害に対する認知行動療法の有効性の神経科学的エビデンスの創出/AMED/磯部 昌憲/代表:国立精神・神経医療研究センター・関口敦	磯部 昌憲	精神科神経科	1,950,000	委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 理事長
先天的/後天的構造多型に着目した免疫/精神疾患病態解明に関する研究開発 /AMED再委託・理化学研究所/森信 暁雄	森信 暁雄	免疫・膠原病内科	2,600,000	委	国立研究開発法人理化学研究所 契約担当役 外部資金室長
先天的・後天的ゲノム情報と臨床情報を用いた関節リウマチの層別化基盤の構築/AMED/森信 暁雄/代表:理研・寺尾班	森信 暁雄	免疫・膠原病内科	1,300,000	委	国立研究開発法人理化学研究所 契約担当役 外部資金室長
前立腺がん高特異度二次検査マーカーPSA G-In dexに対する前臨床試験/分担研究開発課題名:コホート検体管理提供、診断性能評価/赤松 秀輔→後藤 崇之/公益財団法人がん研究会・植田 幸嗣班	後藤 崇之	泌尿器科	3,900,000	委	公益財団法人がん研究会 理事長
全世代対応型遠隔メンタルヘルスケアシステム(KOKOROBO-J)によるメンタルヘルスプラットフォームの開発・社会実装拠点に関する京都大学による研究開発/JST・研究成果展開事業/磯部 昌憲	磯部 昌憲	精神科神経科	1,040,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
早期関節リウマチの滑膜と末梢血情報による予後予測モデルの構築/AMED/森信 暁雄/代表:国立大学法人東京大学・藤尾班	森信 暁雄	免疫・膠原病内科	130,000	委	国立大学法人東京大学
早期非小細胞肺癌に対する体幹部定位放射線治療線量増加ランダム化比較試験/吉村 通央/AMED再委託(広島大学・村上祐司 代表)	井上 実	放射線治療科	260,000	委	国立大学法人広島大学 学長
臓器連関の包括的理解に基づく認知症関連疾患の克服に向けて/ムーンショット型研究開発事業/高橋 良輔	高橋 良輔	脳神経内科	23,999,300	委	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長

造影病変安全切除可能な初発膠芽腫に対する標準的手術法確立に関する研究/AMED(再委託)/荒川芳輝(代表:山形大学・園田班)	荒川 芳輝	脳神経外科	260,000	委	国立大学法人山形大学 飯田キャンパス長
多系統萎縮症霊長類モデルとミトコンドリア機能イメージングバイオマーカーの開発/AMED/上村 紀仁	上村 紀仁	脳神経内科	6,500,000	委	国立研究開発法人 日本 医療研究開発機構 契約 担当職 理事 長
多細胞間相互作用による皮膚バリアの適応・修復機序の解明/AMED/梶島 健治	梶島 健治	皮膚科	84,500,000	委	国立研究開発法人 日本 医療研究開発機構 契約 担当職 理事 長
代謝経路に着目したサルコイドーシスの新規治療に関する研究開発/AMED/中溝 聡	中溝 聡	皮膚科	6,500,000	委	国立研究開発法人 日本 医療研究開発機構 契約 担当職 理事 長
超低侵襲リアルタイムアダプティ(RA)放射線治療の実現/AMED/溝脇 尚志	溝脇 尚志	放射線治療科	49,920,000	委	国立研究開発法人 日本 医療研究開発機構 契約 担当職 理事 長
転移性尿路上皮がんに対する逐次薬物利用におけるリキッドバイオプシーの有用性を検討する多施設共同前向き観察研究/国立大学法人筑波大学/小林 恭	小林 恭	泌尿器科	100,000	委	筑波大学
電子カルテと連携した薬液バッグの遠隔自動切り換え装置の開発/AMED/金井 雅史	金井 雅史	腫瘍内科	18,720,000	委	国立研究開発法人 日本 医療研究開発機構 契約 担当職 理事 長
糖尿病根治を目指したMYCLによるリプログラミングを介した膵島再生医療の開発/穴澤 貴行/東京大学・山田泰広班	穴澤 貴行	臓器移植医療部	3,250,000	委	国立大学法人東京大学
動体追尾強度変調回転放射線治療技術の開発と実行可能性臨床試験/AMED/溝脇 尚志	溝脇 尚志	放射線治療科	19,500,000	委	国立研究開発法人 日本 医療研究開発機構 契約 担当職 理事 長
特定非営利活動法人 日本脳神経血管内治療学会データベースを用いた観察研究 Pipeline Flex フローダイバーターシステム	石井 暁	脳神経外科	10,000	委	特定非営利活動法人日本 脳神経血管内治療学 会 理事長

特定非営利活動法人 日本脳神経血管内治療学会 データベースを用いた観察研究 - Surpass Streamline フローダイバーターシステム-	石井 暁	脳神経外科	10,000	委	特定非営利活動法人日本脳神経血管内治療学会 理事長
内視鏡外科手術動画等を用いた多施設データベースの構築及び利活用/国立研究開発法人国立がん研究センター/肥田 侯矢	肥田 侯矢	消化管外科	200,000	委	国立研究開発法人国立がん研究センター 理事長
難治性小児がんの時空的多様性の解明と新規創薬の開発/AMED/滝田 順子	滝田 順子	小児科	68,500,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
日米医学協力計画を基軸としたHIV感染症制圧に関する研究/AMED/高折 晃史	高折 晃史	血液内科	4,550,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
日米医学協力計画を基軸にしたアジアの栄養・代謝に関する疫学・介入研究と人材育成/AMED/原田 雅之/代表:岐阜大学 矢部大介	原田 範雄	糖尿病・内分泌・栄養内科	650,000	委	国立大学法人東海国立大学機構 機構長
脳卒中超急性期臨床試験における適切な同意手続きの確立に関する研究/国立研究開発法人国立循環器病研究センター・福田真弓班/渡邊 卓也	渡邊 卓也	倫理支援部	1,300,000	委	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター 理事長
肺癌患者を対象とした臨床試験における有効性及び安全性の評価に関する統計解析的研究	森田 智視	先端医療研究開発機構	330,000	委	宝塚市病院 事業管理者
肺動脈性肺高血圧症に対する治療薬としての TRP C3/6阻害薬L862の有効性についての治験準備/AMED/中川 靖章/代表:信州大学・桑原班	中川 靖章	循環器内科	11,050,000	委	国立大学法人信州大学 分任契約担当役 理事
肥大型心筋症患者における診療の実態調査および突然死/拡張相への移行に関する新規予測プログラムの開発とその検証/木村剛(R3まで)→加藤 貴雄(R4より)/国立循環器病研究センター・泉 知里班	加藤 貴雄	先端医療研究開発機構	650,000	委	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター
標準治療前からのがん遺伝子パネル検査に基づく治療の有効性に関するバスケット試験:FIRST-Tx study/AMED/武藤 学	武藤 学	腫瘍内科	5,200,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
放射線治療に関わるトランスレーショナルリサーチ実施体制構築/試料集積の方法検討、トランスレーショナル実施案検討(2021-A-8)	坂中 克行	放射線治療科	100,000	委	国立研究開発法人 国立がん研究センター 理事長

本邦のシュニッツラー症候群患者の急性期炎症所見に対するカナキヌマブを用いた多施設医師主導治験／AMED／神戸直智	神戸直智	皮膚科	78,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
末梢血循環non-coding RNAを用いた白血病早期診断法・微小病変評価法の開発／AMED／阪本貴士	阪本貴士	血液内科	41,900,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
末梢神経損傷に対する同種臍帯由来間葉系細胞を用いた三次元神経導管移植治療法の開発／AMED／池口良輔	池口良輔	リハビリテーション科	39,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
慢性中心性漿液性脈絡網膜症に対するレーザー照射エネルギー減量光線力学的療法の有効性及び安全性を検証する医師主導治験／AMED／三宅正裕	三宅正裕	眼科	71,305,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
慢性膵炎等に対する膵全摘術に伴う自家膵島移植術の先進医療制度下多施設共同試験／分担研究開発課題名：自家膵島移植の臨床試験の申請承認と実施／穴澤貴行／国立国際医療研究センター・霜田班	穴澤貴行	臓器移植医療部	6,454,500	委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター 理事長
免疫担当細胞eQTL データを用いた免疫介在性疾患ゲノム情報からの層別化および予後予測モデルの構築／AMED再委託・東京大学(藤尾)／森信 暁雄	森信 暁雄	免疫・膠原病内科	390,000	委	国立大学法人東京大学 総長 代理人 医学部附属病院 事務部長
薬剤耐性菌の超高精度網羅的解析とその手法の開発／AMED／津田裕介	津田裕介	検査部	1,560,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
薬物療法により臨床的完全奏効が得られたHER2陽性原発乳癌に対する非切除療法の有効性に関する単群検証的試験／AMED再委託(群馬県立がんセンター・藤澤班)／吉村通央	吉村通央	放射線治療科	1,300,000	委	群馬県立がんセンター 院長 柳田康弘
臨床病期I-IVA(T4を除く)胸部上中部食道扁平上皮癌に対する予防的鎖骨上リンパ節郭清省略に関するランダム化比較試験／AMED再委託(静岡県立静岡がんセンター・坪佐班)／角田茂	角田茂	消化管外科	3,055,000	委	静岡県立静岡がんセンター 局長
膠芽腫の標準治療後病勢を診断する血液バイオマーカーの実用化／臨床検体の提供／AMED／荒川芳輝／代表：金沢大学・中田班	荒川芳輝	脳神経外科	390,000	委	国立大学法人 金沢大学 学長 和田隆志

計 501

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Oshima S, Sinha R, Ohno M et al.	血液内科	Nardilysin determines hematopoietic stem cell fitness by regulating protein synthesis	Biochemical and biophysical research communications・20240122. 2024 Jan; 693:149355	Original Article
2	Aoki K, Hyuga M, Tarumoto Y et al.	血液内科	Canonical BAF complex regulates the oncogenic program in human T-cell acute lymphoblastic leukemia	Blood・20231103. 2024 Feb;143(7):604-618	Original Article
3	Shimazu Y, Kitawaki T, Kondo T et al.	血液内科	Pretreatment blast-to-lymphocyte ratio as a prognostic marker for CD19/CD3-bispecific T cell-engaging antibodies (blinatumomab) treatment against relapsed or refractory B-precursor acute lymphoblastic leukemia	Cancer immunology, immunotherapy : CII・20230807. 2023 Nov;72(11):3861-3865	Original Article
4	Nakanishi-Koakutsu M, Miki K, Naka Y et al.	血液内科	CD151 expression marks atrial- and ventricular- differentiation from human induced pluripotent stem cells	Communications biology・20240228. 2024 Feb;7(1):231	Original Article
5	Watanabe M, Konuma T, Imahashi N et al.	血液内科	Scoring system for optimal cord blood unit selection for single cord blood transplantation	Cytotherapy・20231227. 2024 Mar; 26(3):286-298	Original Article
6	Shimazu Y, Mizumoto C, Chonabayashi K et al.	血液内科	Successful treatment with cyclosporine of pure red cell aplasia induced by obinutuzumab bendamustine therapy	Annals of hematology・20230427. 2023 Aug; 102(8):2291-2292	Original Article
7	Watanabe M, Kanda J, Fukuda T et al.	血液内科	Impact of GVHD on lymphoma progression: Nationwide study from Japanese Society for Transplantation and Cellular Therapy	British journal of haematology・20231101. 2023 Nov;203(3):446-459	Original Article
8	Kamba K, Wan L, Unzai S et al.	血液内科	Direct inhibition of human APOBEC3 deaminases by HIV-1 Vif independent of the proteolysis pathway	Biophysical journal・20231219. 2024 Feb; 123(3):294-306	Original Article
9	Hayashi H, Iwasaki M, Nakasone H et al.	血液内科	Impact of stem cell selection between bone marrow and peripheral blood stem cells for unrelated hematopoietic stem cell transplantation for hematologic malignancies: on behalf of the Donor/Source Working Group of the Japanese Society for Transplantation and Cellular Therapy	Cytotherapy・20231216. 2024 Feb; 26(2):178-184	Original Article
10	Ito R, Kimura A, Hirose Y et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Elucidation of HHEX in pancreatic endoderm differentiation using a human iPSC differentiation model	Scientific reports・20230529. 2023 May; 13(1):8659	Original Article
11	Sakaki K, Murakami T, Fujimoto H et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	(18F)-labeled PEGylated exendin-4 imaging noninvasively differentiates insulinoma from an accessory spleen: the first case report of [18F]FB(ePEG12)12-exendin-4 positron emission tomography/computed tomography for insulinoma	Frontiers in endocrinology・20230831. 2023 Aug;14:1245573	Original Article
12	Yamauchi I, Hakata T, Ueda Y et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	TRIAC disrupts cerebral thyroid hormone action via negative feedback and heterogenous distribution among organs	iScience・20230721. 2023 Jun;26(7):107135	Original Article
13	Yamauchi I, Hakata T, Sugawa T et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Prediction-based prompt levothyroxine replacement to prevent a hypothyroid state after immune-related adverse events involving the thyroid gland	Endocrine journal・20231030. 2023 Oct; 70(10):987-998	Original Article

14	Nakamura T, Fujikura J, Ito R et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Human RFX6 regulates endoderm patterning at the primitive gut tube stage	PNAS nexus•20240101. 2024 Jan; 3(1):pgae001	Original Article
15	Keidai Y, Yoshiji S, Hasebe M et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Stabilization of kidney function and reduction in heart failure events with sodium–glucose co-transporter 2 inhibitors: A meta-analysis and meta-regression analysis	Diabetes, obesity & metabolism•20230522. 2023 Sep;25(9):2505–2513	Original Article
16	Botagarova A, Murakami T, Fujimoto H et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Noninvasive quantitative evaluation of viable islet grafts using (111)In-exendin-4 SPECT/CT	FASEB journal : official publication of the Federation of American Societies for Experimental Biology•20230401. 2023 Apr; 37(4):e22859	Original Article
17	Kato T, Murakami T, Yabe D et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Impact of the angiotensin receptor–neprilysin inhibitor in clinical diabetes management: Potential benefits and pitfalls	Journal of Diabetes Investigation•20230625. 2023 Sep;14(9):1038–1040	Original Article
18	Nishiwaki S, Shizuta S, Tanaka M et al.	循環器内科	Successful cardiac synchronization therapy device upgrade using an active fixation quadripolar pacing lead in a patients with persistent left superior vena cava and absent right superior vena cava	Journal of arrhythmia•20231001. 2023 Jul; 39(5):807–809	Original Article
19	Yamashita Y, Nakayama A, Oi M et al.	循環器内科	Sex Differences in the Japanese Circulation Society Guideline Writing Committee Authorship Between 2008 and 2022	Circulation. Cardiovascular quality and outcomes•20230601. 2023 Jun; 16(6):e010029	Original Article
20	Yamamoto K, Shiomi H, Morimoto T et al.	循環器内科	Target Lesion Revascularization After Intravascular Ultrasound–Guided Percutaneous Coronary Intervention	Circulation. Cardiovascular interventions• 20230501. 2023 May;16(5):e012922	Original Article
21	Obayashi Y, Natsuaki M, Watanabe H et al.	循環器内科	Aspirin-free strategy for percutaneous coronary intervention in acute coronary syndrome based on the subtypes of acute coronary syndrome and high bleeding risk: the STOPDAPT-3 trial	European heart journal. Cardiovascular pharmacotherapy•20240129. 2024 Aug; 10(5):374–390	Original Article
22	Shiomi H, Kozuma K, Morimoto T et al.	循環器内科	Ten-year clinical outcomes from a randomized trial comparing new-generation everolimus-eluting stent versus first-generation Sirolimus-eluting stent: Results from the RESET extended study	Catheter Cardiovasc Interv•20231001. 2023 Oct;102(4):594–607	Original Article
23	Yamamoto K, Shiomi H, Morimoto T et al.	循環器内科	Dual Antiplatelet Therapy Duration After Multivessel Optimal Intravascular Ultrasound–Guided Percutaneous Coronary Intervention	Circulation Journal•20231025. 2023 Oct; 87(11):1661–1671	Original Article
24	Takeji Y, Taniguchi T, Morimoto T et al.	循環器内科	In-hospital outcomes after SAVR or TAVI in patients with severe aortic stenosis	Cardiovascular intervention and therapeutics•20230622. 2024 Jan;39(1):65–73	Original Article
25	Yamashita Y, Yachi S, Takeyama M et al.	循環器内科	Prophylactic Anticoagulation and Thrombosis in Hospitalized Patients with Clinically Stable COVID-19 at Admission: From the Practice-Based Observational Study	Annals of Vascular Diseases•20240325. 2024 Mar;17(1):1–8	Original Article
26	Yamashita Y, Morimoto T, Muraoka N et al.	循環器内科	Edoxaban for 12 Months Versus 3 Months in Patients With Cancer With Isolated Distal Deep Vein Thrombosis (ONCO DVT Study): An Open-Label, Multicenter, Randomized Clinical Trial	Circulation•20230828. 2023 Nov; 148(21):1665–1676	Original Article
27	Kaneda K, Shiomi H, Abe M et al.	循環器内科	Post-contrast Acute Kidney Injury After Emergent and Elective Percutaneous Coronary Intervention (from the CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort 3)	The American journal of cardiology• 20230901. 2023 Sep;202:58–66	Original Article
28	Matsumoto Y, Ikeda S, Kimura T et al.	循環器内科	Coll α 2–Cre-mediated recombination occurs in various cell types due to Cre expression in epiblasts	Scientific reports•20231218. 2023 Dec; 13(1):22483	Original Article

29	Kuwauchi A, Yoshida S, Takeda C et al.	循環器内科	Validity of Using Japanese Administrative Data to Identify Inpatients With Acute Pulmonary Embolism: Referencing the COMMAND VTE Registry	Journal of epidemiology•20230422. 2024 Apr;34(4):155-163	Original Article
30	Nishikawa R, Shiomi H, Morimoto T et al.	循環器内科	Effects of peripheral artery disease on long-term outcomes after percutaneous coronary intervention versus coronary artery bypass grafting in patients with severe coronary artery disease	Journal of cardiology•20231221. 2024 Oct;84(4):279-286	Original Article
31	Yamamoto K, Shiomi H, Morimoto T et al.	循環器内科	Optimal Intravascular Ultrasound-Guided Percutaneous Coronary Intervention in Patients With Multivessel Disease	JACC. Asia•20230401. 2023 Mar;3(2):211-225	Original Article
32	Yamada S, Honzawa Y, Yamamoto S et al.	消化器内科	Single Nucleotide Polymorphisms of the MEFV Gene E148Q Are Highly Associated With Disease Phenotype in Crohn's Disease	Inflammatory bowel diseases•20231110. 2024 Jun;30(6):970-980	Original Article
33	Yanaidani T, Matsumori T, Muramoto Y et al.	消化器内科	Pancreatic stent removal with a novel drill dilator	VideoGIE•20240201. 2024 Feb;9(5):243-246	Original Article
34	Aoyama N, Wada M, Taniguchi Y et al.	消化器内科	A case of neuroendocrine neoplasm of the minor duodenal papilla	Clinical journal of gastroenterology•20230401. 2023 Apr;16(2):171-179	Original Article
35	Yoshida H, Shiokawa M, Kuwada T et al.	消化器内科	Anti-integrin $\alpha v \beta 6$ autoantibodies in patients with primary sclerosing cholangitis	Journal of gastroenterology•20230801. 2023 Aug;58(8):778-789	Original Article
36	Matsuyama S, Fukuda A, Matsumoto A et al.	消化器内科	Sporadic gastric juvenile polyposis with a novel SMAD4 nonsense mutation in a mosaic pattern	Clinical Journal of Gastroenterology•20231111. 2024 Feb;17(1):23-28	Original Article
37	Aoyama N, Inokuma T, Nakanishi Y et al.	消化器内科	Pancreatic metastasis from lung adenocarcinoma	Journal of general and family medicine•20230501. 2023 Mar;24(3):192-193	Original Article
38	Makino K, Ishii T, Takeda H et al.	消化器内科	Integrated analyses of the genetic and clinicopathological features of cholangiolocarcinoma: cholangiolocarcinoma may be characterized by mismatch-repair deficiency	The Journal of pathology•20240216. 2024 May;263(1):32-46	Original Article
39	Ito T, Ishii T, Takeda H et al.	消化器内科	Comprehensive analyses of the clinicopathological features and genomic mutations of combined hepatocellular-cholangiocarcinoma	Hepatology research : the official journal of the Japan Society of Hepatology•20230912. 2024 Jan;54(1):103-115	Original Article
40	Inoue T, Utsumi T, Agatsuma N et al.	消化器内科	A novel endoscopy training system by video-based asynchronous communication	Endoscopy•20231201. 2023 Dec;55(S01):E307-E309	Original Article
41	Masuda T, Fukuda A, Yamakawa G et al.	消化器内科	Pancreatic RECK inactivation promotes cancer formation, epithelial-mesenchymal transition, and metastasis	Journal of Clinical Investigation•20230915. 2023 Sep;133(18):e161847	Original Article
42	Shirata M, Ito I, Jo T et al.	呼吸器内科	Factors Associated With the Development of Bacterial Pneumonia Related to Seasonal Influenza Virus Infection: A Study Using a Large-scale Health Insurance Claim Database	Open Forum Infectious Diseases•20230421. 2023 Apr;10(5):ofad222	Original Article
43	Natori D, Ozasa H, Shima Y et al.	呼吸器内科	Successful treatment of lung cancer coexisting with B-cell lymphoma with pembrolizumab following rituximab-included chemotherapy: A case report	Molecular and Clinical Oncology•20240223. 2024 Feb;20(4):33	Original Article

44	Ogimoto T, Ozasa H, Yoshida H et al.	呼吸器内科	CD47 polymorphism for predicting nivolumab benefit in patients with advanced non-small-cell lung cancer	Oncology Letters•20230710. 2023 Jul; 26(2):364	Original Article
45	Ito I.	呼吸器内科	Have clinical studies on COVID-19 matured?	Respiratory Investigation•20231101. 2023 Nov;61(6):800-801	Original Article
46	Nakatsuka Y, Murase K, Sonomura K et al.	呼吸器内科	Hyperfructosemia in sleep disordered breathing: metabolome analysis of Nagahama study	Scientific reports•20230805. 2023 Aug; 13(1):12735	Original Article
47	Sato R, Handa T, Tanizawa K et al.	呼吸器内科	Variation in information needs of patients with interstitial lung disease and their family caregivers according to long-term oxygen therapy: a descriptive study	BMC Pulmonary Medicine•20231205. 2023 Dec;23(1):486	Original Article
48	Hosokawa M, Mikawa R, Hagiwara A et al.	呼吸器内科	Cryptotanshinone is a candidate therapeutic agent for interstitial lung disease associated with a BRICHOS-domain mutation of SFTPC	iScience•20230801. 2023 Aug;26(10):107731	Original Article
49	Shirata M, Ito I, Oguma T et al.	呼吸器内科	Effect of biologic therapy on the humoral immune response to the BNT162b2 vaccine in patients with asthma	Respiratory Investigation•20231101. 2023 Nov;61(6):733-737	Original Article
50	Matsumoto T, Murase K, Tabara Y et al.	呼吸器内科	Sleep disordered breathing and haemoglobin A1c levels within or over normal range and ageing or sex differences: the Nagahama study	Journal of sleep research•20230601. 2023 Jun;32(3):e13795	Original Article
51	Hosoya K, Ozasa H.	呼吸器内科	Aurora kinase B inhibition in small-cell lung cancer: BCL-2 as a potential therapeutic biomarker and combination target	Translational lung cancer research• 20240329. 2024 Mar; 13(3):689-693	Original Article
52	Mukoyama H, Murakami K, Onizawa H et al.	免疫・膠原病内科	A case of atypical IgG4-related disease presenting hypereosinophilia, polyneuropathy, and liver dysfunction	Modern rheumatology case reports• 20231229. 2023 Dec;8(1):172-177	Original Article
53	Takase Y, Shirakashi M, Nishida Y et al.	免疫・膠原病内科	Enteric Toll-like receptor 7 stimulation causes acute exacerbation in lupus-susceptible mice	Clinical rheumatology•20230401. 2023 Apr; 42(4):1185-1194	Original Article
54	Sasai T, Nakashima R, Tsuji H et al.	免疫・膠原病内科	Long-Term Prognosis of Antimelanoma Differentiation-Associated Gene 5-Positive Dermatomyositis With Interstitial Lung Disease	The Journal of rheumatology•20231101. 2023 Nov;50(11):1454-1461	Original Article
55	Yoshifuji H, Nakaoka Y, Uchida HA et al.	免疫・膠原病内科	Organ Damage and Quality of Life in Takayasu Arteritis - Evidence From a National Registry Analysis	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society•20231219. 2024 Feb;88(3):285-294	Original Article
56	Kitagori K, Oku T, Wakabayashi M et al.	免疫・膠原病内科	Expression of S100A8 protein on B cells is associated with disease activity in patients with systemic lupus erythematosus	Arthritis research & therapy•20230510. 2023 May;25(1):76	Original Article
57	Nakayama Y, Watanabe R, Yamamoto W et al.	免疫・膠原病内科	IL-6 inhibitors and JAK inhibitors as favourable treatment options for patients with anaemia and rheumatoid arthritis: ANSWER cohort study	Rheumatology (Oxford, England)•20230624. 2024 Feb;63(2):349-357	Original Article
58	Nishida Y, Shirakashi M, Hashii N et al.	免疫・膠原病内科	Pathogenicity of IgG-Fc desialylation and its association with Th17 cells in an animal model of systemic lupus erythematosus	Modern rheumatology•20230610. 2024 Mar; 34(3):523-529	Original Article

59	Shirata M, Ito I, Tanaka M et al.	免疫・膠原病内科	Impact of methotrexate on humoral and cellular immune responses to SARS-CoV-2 mRNA vaccine in patients with rheumatoid arthritis	Clinical and experimental medicine•20230816. 2023 Dec;23(8):4707-4720	Original Article
60	Taniguchi T, Hiwa R, Shoji M et al.	免疫・膠原病内科	Avacopan's potential to decrease MPO-ANCA titres concurrent with ameliorated activity in ANCA-associated vasculitis	Modern Rheumatology Case Reports•20240329. 2024 Jul;8(2):314-317	Original Article
61	Naito R, Ohmura K, Higuchi S et al.	免疫・膠原病内科	Positive and negative regulation of the Fc $\gamma$ receptor-stimulating activity of RNA-containing immune complexes by RNase	JCI insight•20230711. 2023 Aug;8(16):e167799	Original Article
62	Nakayama Y, Nakashima R, Handa T et al.	免疫・膠原病内科	Prognosis of patients with systemic sclerosis-related interstitial lung disease on the lung transplant waiting list: a retrospective study	Scientific reports•20230622. 2023 Jun;13(1):10150	Original Article
63	Yamaguchi E, Kadoba K, Watanabe R et al.	免疫・膠原病内科	Response to: 'Biases in Large Vessel Vasculitis' by Mukhtyar	Modern rheumatology•20230401. 2024 Feb;34(2):435-436	Original Article
64	Shirakashi M, Nishida Y, Nakashima R et al.	免疫・膠原病内科	TAFRO syndrome is associated with anti-SSA/Ro60 antibodies, in contrast to idiopathic castleman disease	Scientific reports•20240205. 2024 Feb;14(1):2889	Original Article
65	Ishiguro Y, Kuriyama A.	初期診療・救急科	Patella Alta	New England Journal of Medicine•20230615. 2023 Jun;388(24):e77	Original Article
66	Toyama M, Mori H, Kuriyama A et al.	初期診療・救急科	Challenges of using body bags for COVID-19 deaths from the healthcare provider perspective – a qualitative study	BMJ open quality•20240130. 2024 Jan;13(1):e002548	Original Article
67	Katsura M, Fukuma S, Kuriyama A et al.	初期診療・救急科	Association of Contrast Extravasation Grade With Massive Transfusion in Pediatric Blunt Liver and Spleen Injuries: A Multicenter Retrospective Cohort Study	Journal of pediatric surgery•20231104. 2024 Mar;59(3):500-508	Original Article
68	Ishimura T, Ishii A, Yamada H et al.	初期診療・救急科	Matrix metalloproteinase-10 deficiency has protective effects against peritoneal inflammation and fibrosis via transcription factor NF $\kappa$ B pathway inhibition	Kidney international•20230829. 2023 Nov;104(5):929-942	Original Article
69	Nishio H, Ishii A, Yamada H et al.	初期診療・救急科	Sacubitril/valsartan ameliorates renal tubulointerstitial injury through increasing renal plasma flow in a mouse model of type 2 diabetes with aldosterone excess	Nephrology, dialysis, transplantation : official publication of the European Dialysis and Transplant Association – European Renal Association•20230518. 2023 Oct;38(11):2517-2527	Original Article
70	Kamei J, Kuriyama A, Ohno T et al.	初期診療・救急科	Thoracodorsal Artery Injury After Tube Thoracostomy: A Case Report	The Journal of emergency medicine•20230607. 2023 Oct;65(4):e303-e306	Original Article
71	Ishiguro Y, Iriguchi S, Asano S et al.	初期診療・救急科	Lineage tracing of T cell differentiation from T-iPSC by 2D feeder-free culture and 3D organoid culture	Front Immunol•20231215. 2023 Dec;14:1303713	Original Article
72	Kamei J, Kanamoto M, Igarashi Y et al.	初期診療・救急科	Blood Purification in Patients with Sepsis Associated with Acute Kidney Injury: A Narrative Review	Journal of clinical medicine•20231006. 2023 Oct;12(19):6388	Original Article
73	Sugioka S, Yamada H, Ishii A et al.	初期診療・救急科	Dual deletion of guanylyl cyclase-A and p38 mitogen-activated protein kinase in podocytes with aldosterone administration causes glomerular intra-capillary thrombi	Kidney international•20230623. 2023 Sep;104(3):508-525	Original Article

74	Jiang G, Ayaki T, Maki T et al.	脳神経内科	Evaluation of BCAS1-positive immature oligodendrocytes after cerebral ischemic stroke and SVD	Neuroscience letters•20230720. 2023 Aug; 812:137405	Original Article
75	Ueda S, Kuzuya A, Kawata M et al.	脳神経内科	Acute inhibition of AMPA receptors by perampanel reduces amyloid $\beta$ -protein levels by suppressing $\beta$ -cleavage of APP in Alzheimer's disease models	FASEB journal : official publication of the Federation of American Societies for Experimental Biology•20231101. 2023 Nov; 37(11):e23252	Original Article
76	Kimura K, Nishigori R, Hamatani M et al.	脳神経内科	Resident Memory-like CD8(+) T Cells Are Involved in Chronic Inflammatory and Neurodegenerative Diseases in the CNS	Neurology(R) neuroimmunology & neuroinflammation•20240101. 2023 Nov; 11(1):e200172	Original Article
77	Hirayama M, Ayaki T, Yoshii D et al.	脳神経内科	Utility of Skeletal Muscle CT in Diagnosing Spinal Muscular Atrophy Type 3 in a Patient Who Had Been Undiagnosed for 50 Years	Cureus•20230508. 2023 May; 15(5):e38709	Original Article
78	Tokunaga S, Yamao Y, Maki T et al.	脳神経内科	Vessel wall imaging and carotid artery stenting for recurrent cervical internal carotid artery vasospasm syndrome: illustrative case	Journal of neurosurgery. Case lessons• 20230605. 2023 Jun; 5(23):CASE2341	Original Article
79	Suzuki H, Egawa N, Imamura K et al.	脳神経内科	Mutant $\alpha$ -synuclein causes death of human cortical neurons via ERK1/2 and JNK activation	Molecular brain•20240305. 2024 Mar; 17(1):14	Original Article
80	Sawamura M, Ohira J, Hikawa R et al.	脳神経内科	Single-dose intranasal administration of $\alpha$ -syn PFFs induce lewy neurite-like pathology in olfactory bulbs	Parkinsonism & related disorders•20230520. 2023 Jul; 112:105440	Original Article
81	Ueda J, Uemura N, Ishimoto T et al.	脳神経内科	Ca(2+) -Calmodulin-Calcineurin Signaling Modulates $\alpha$ -Synuclein Transmission	Movement disorders : official journal of the Movement Disorder Society•20230417. 2023 Jun; 38(6):1056-1067	Original Article
82	Sato N, Mori KP, Sakai K et al.	腎臓内科	Exploring the mechanism of BK polyomavirus-associated nephropathy through consensus gene network approach	PloS one•20230615. 2023 Jun; 18(6):e0282534	Original Article
83	Iwashige Y, Yamamoto S, Ohue K et al.	腎臓内科	A Rare Case of Drug Reaction with Eosinophilia and Systemic Symptoms Syndrome Leading to Hemodialysis and Multiple Infections: A Case Report and Literature Review	Internal medicine (Tokyo, Japan)•20230823. 2024 Apr; 63(8):1131-1138	Original Article
84	Kamido H, Yamamoto S, Yokoi H et al.	腎臓内科	A Case of C3 Nephritis With a Rare Variant of the CFHR5 Gene	Cureus•20240227. 2024 Feb; 16(2):e55102	Original Article
85	Maeda R, Seki N, Uwamino Y et al.	腎臓内科	Amino acid catabolite markers for early prognostication of pneumonia in patients with COVID-19	Nature communications•20231220. 2023 Dec; 14(1):8469	Original Article
86	Akagi R, Ishii A, Kaneko K et al.	腎臓内科	A report of three cases of patients with tubulointerstitial nephritis with IgM-positive plasma cells, treatment, and serum-IgM as a sensitive marker for relapse	BMC Nephrol•20230704. 2023 Jul; 24(1):201	Original Article
87	Yamamoto S, Wells K, Morita K et al.	腎臓内科	Severe TAFRO Syndrome Mimicking Hepatorenal Syndrome Successfully Treated with a Multidisciplinary Approach: A Case Report and Literature Review	Internal Medicine•20230915. 2023 Sep; 62(18):2715-2724	Original Article
88	Yanagita M, Muto S, Nishiyama H et al.	腎臓内科	Correction to: Clinical questions and good practice statements of clinical practice guidelines for management of kidney injury during anticancer drug therapy 2022	Clinical and experimental nephrology• 20240201. 2024 Feb; 28(2):123-124	Original Article

89	Yamada H, Makino SI, Okunaga I et al.	腎臓内科	Beyond 2D: A scalable and highly sensitive method for a comprehensive 3D analysis of kidney biopsy tissue	PNAS Nexus•20231221. 2024 Jan; 3(1):pgad433	Original Article
90	Yoshikawa T, Oguchi A, Toriu N et al.	腎臓内科	Tertiary Lymphoid Tissues Are Microenvironments with Intensive Interactions between Immune Cells and Proinflammatory Parenchymal Cells in Aged Kidneys	Journal of the American Society of Nephrology•20230807. 2023 Oct; 34(10):1687–1708	Original Article
91	Yoshikawa T, Lee YH, Sato Y et al.	腎臓内科	Tertiary lymphoid tissues in kidney diseases: a perspective for the pediatric nephrologist	Pediatric nephrology (Berlin, Germany)•20230501. 2023 May;38(5):1399–1409	Original Article
92	Sato Y, Silina K, van den Broek M et al.	腎臓内科	The roles of tertiary lymphoid structures in chronic diseases	Nature reviews. Nephrology•20230412. 2023 Aug;19(8):525–537	Original Article
93	Yanagita M, Muto S, Nishiyama H et al.	腎臓内科	Clinical questions and good practice statements of clinical practice guidelines for management of kidney injury during anticancer drug therapy 2022	Clinical and experimental nephrology•20231025. 2024 Feb;28(2):85–122	Original Article
94	Hayashi A, Mizuno K, Shinkawa K et al.	腎臓内科	Effect of multidisciplinary care on diabetic kidney disease: a retrospective cohort study	BMC nephrology•20240325. 2024 Mar; 25(1):114	Original Article
95	Nguyen Vu TH, Kikuchi O, Ohashi S et al.	腫瘍内科	Combination therapy with WEE1 inhibition and trifluridine/tipiracil against esophageal squamous cell carcinoma	Cancer Science•20231201. 2023 Dec; 114(12):4664–4676	Original Article
96	Kataoka S, Nishikawa Y, Funakoshi T et al.	腫瘍内科	Proteinuria frequency and subsequent renal dysfunction in bevacizumab-treated patients: a single center, retrospective, observational study	International Journal of Clinical Oncology•20240214. 2024 Apr; 29(4):398–406	Original Article
97	Nomura M, Hosokai T, Tamaoki M et al.	腫瘍内科	Timing of the infusion of nivolumab for patients with recurrent or metastatic squamous cell carcinoma of the esophagus influences its efficacy	Esophagus : official journal of the Japan Esophageal Society•20230424. 2023 Oct; 20(4):722–731	Original Article
98	Matsubara J, Mukai K, Kondo T et al.	腫瘍内科	First-Line Genomic Profiling in Previously Untreated Advanced Solid Tumors for Identification of Targeted Therapy Opportunities	JAMA network open•20230703. 2023 Jul; 6(7):e2323336	Original Article
99	Mizuno K, Kishimoto Y, Kawai Y et al.	腫瘍内科	A prospective evaluation of postoperative swallowing function and dysphagia following endoscopic laryngopharyngeal surgery	International journal of clinical oncology•20230401. 2023 Apr;28(4):521–530	Original Article
100	Katada C, Yokoyama T, Mure K et al.	腫瘍内科	Risk factors for the development of second primary esophageal squamous-cell carcinoma after endoscopic resection for esophageal squamous-cell carcinoma according to genetic polymorphisms related to alcohol and nicotine metabolism	Japanese Journal of Clinical Oncology•20230627. 2023 Aug;53(9):774–780	Original Article
101	Uneno Y, Morita T, Watanabe Y et al.	腫瘍内科	Letter to the Editor: Respecting Patient Autonomy, End-of-Life Care Experience, and the Transitional Status	Journal of Palliative Medicine•20230501. 2023 May;26(5):609–610	Original Article
102	Uneno Y, Nomura M, Hosokai T et al.	腫瘍内科	Successful Management of Malignant Pericarditis Using Nivolumab for Metastatic Esophageal Squamous Cell Carcinoma	Internal Medicine•20230719. 2024 Mar; 63(5):677–680	Original Article
103	Inoue T, Katada C, Shimizu T et al.	腫瘍内科	Endoscopic resection combined with gel immersion and curved laryngoscope for superficial hypopharyngeal cancer	Endoscopy•20230622. 2023 Dec;55(S 01):E831–E832	Original Article

104	Nishizaki D, Fujita Y, Sakamoto T et al.	消化管外科	What can surgeons do to prevent job leave soon after cancer diagnosis? A brief report on colorectal cancer survivors in Japan	Supportive care in cancer : official journal of the Multinational Association of Supportive Care in Cancer•20230510. 2023 May; 31(6):331	Original Article
105	Hirata W, Itatani Y, Masui H et al.	消化管外科	Downregulation of osteoprotegerin in colorectal cancer cells promotes liver metastasis via activating tumor-associated macrophage	Scientific reports•20231214. 2023 Dec; 13(1):22217	Original Article
106	Kawada K, Horie A, Itatani Y et al.	消化管外科	Robotic posterior pelvic exenteration for a huge rectal gastrointestinal stromal tumour - A video vignette	Colorectal disease : the official journal of the Association of Coloproctology of Great Britain and Ireland•20230801. 2023 Aug; 25(8):1723-1724	Original Article
107	Hida K, Hirano S, Poudel S et al.	消化管外科	The degree of satisfaction and level of learning in male and female surgical residents: a nationwide questionnaire survey of graduating residents in Japan	Surgery today•20230510. 2023 Nov; 53(11):1275-1285	Original Article
108	Morimoto T, Takemura Y, Miura T et al.	消化管外科	Novel and efficient method for culturing patient-derived gastric cancer stem cells	Cancer science•20230520. 2023 Aug; 114(8):3259-3269	Original Article
109	Okamura R, Itatani Y, Fujita Y et al.	消化管外科	Postoperative recurrence in locally advanced rectal cancer: how does neoadjuvant treatment affect recurrence pattern?	World journal of surgical oncology•20230816. 2023 Aug;21(1):247	Original Article
110	Shimizu S, Kondo J, Onuma K et al.	消化管外科	Inhibition of the bone morphogenetic protein pathway suppresses tumor growth through downregulation of epidermal growth factor receptor in MEK/ERK-dependent colorectal cancer	Cancer science•20230625. 2023 Sep; 114(9):3636-3648	Original Article
111	Gunji D, Narumi R, Muraoka S et al.	消化管外科	Integrative analysis of cancer dependency data and comprehensive phosphoproteomics data revealed the EPHA2-PARD3 axis as a cancer vulnerability in KRAS-mutant colorectal cancer	Molecular Omics•20230925. 2023 Sep; 19(8):624-639	Original Article
112	Aoyama R, Tsunoda S, Okamura R et al.	消化管外科	ASO Author Reflections: Short- and Long-Term Outcomes of Minimally Invasive Surgery for Remnant Gastric Cancer	Annals of surgical oncology•20230601. 2023 Jun;30(6):3615-3616	Original Article
113	Hoshino N, Hida K, Yoshida S et al.	消化管外科	Postoperative complications and prognosis based on type of surgery in ulcerative colitis patients with colorectal cancer: A multicenter observational study of data from the Japanese Society for Cancer of the Colon and Rectum	Annals of Gastroenterological Surgery•20230701. 2023 Feb;7(4):626-636	Original Article
114	Kawashima M, Matsumoto T, Nishimura T et al.	乳腺外科	Anthracycline-based hepatic arterial infusion chemotherapy achieved 17 months of disease regression in a patient with breast cancer liver metastases resistant to multiple systemic chemotherapies	International Cancer Conference Journal•20240212. 2024 Feb;13(2):153-157	Original Article
115	Li W, Kawaguchi K, Tanaka S et al.	乳腺外科	Cellular senescence triggers intracellular acidification and lysosomal pH alkalized via ATP6AP2 attenuation in breast cancer cells	Communications Biology•20231122. 2023 Nov;6(1):1147	Original Article
116	Fujino M, Kawashima M, Yoshifuji H et al.	乳腺外科	Remarkable remission of symptomatic dermatomyositis after curative breast cancer surgery	International Cancer Conference Journal•20240125. 2024 Jan;13(2):111-118	Original Article
117	Saldajeno DP, Kawaoka S, Masuda N et al.	乳腺外科	Time-series blood cytokine profiles correlate with treatment responses in triple-negative breast cancer patients	British journal of cancer•20240118. 2024 Apr;130(6):1023-1035	Original Article
118	Liu L, Kawashima M, Sugimoto M et al.	乳腺外科	Discovery of lipid profiles in plasma-derived extracellular vesicles as biomarkers for breast cancer diagnosis	Cancer science•20230822. 2023 Oct; 114(10):4020-4031	Original Article

119	Yamaguchi A, Kawaguchi K, Kawanishi K et al.	乳腺外科	Comparison of cisplatin-based versus standard preoperative chemotherapy in patients with operable triple-negative breast cancer: propensity score matching and inverse probability of treatment weighting analysis	Breast cancer research and treatment • 20231221. 2024 Apr;204(2):261-275	Original Article
120	Itagaki K, Miyake KK, Tanoue M et al.	乳腺外科	Feasibility of Dedicated Breast Positron Emission Tomography Image Denoising Using a Residual Neural Network	Asia Oceania Journal of Nuclear Medicine and Biology • 20230601. 2023 0;11(2):145-157	Original Article
121	Nishimura T, Kakiuchi N, Yoshida K et al.	乳腺外科	Evolutionary histories of breast cancer and related clones	Nature • 20230726. 2023 Aug;620(7974):607-614	Original Article
122	Fukumitsu K, Kaido T, Matsumura Y et al.	肝胆臓・移植外科	Pretransplant Renal Dysfunction Negatively Affects Prognosis After Living Donor Liver Transplantation: A Single-Center Retrospective Study	Transplantation proceedings • 20230705. 2023 Sep;55(7):1623-1630	Original Article
123	Nishio T, Taura K, Koyama Y et al.	肝胆臓・移植外科	Current status of preoperative risk assessment for posthepatectomy liver failure in patients with hepatocellular carcinoma	ANNALS OF GASTROENTEROLOGICAL SURGERY • 20230501. 2023 May;7(6):871-886	Original Article
124	Yoh T, Ishii T, Ogiso S et al.	肝胆臓・移植外科	Long-term outcomes and salvageability in patients undergoing liver resection for intermediate- and advanced-stage hepatocellular carcinoma	Surgery • 20230701. 2023 Oct;174(4):858-864	Original Article
125	Morino K, Seo S, Yoh T et al.	肝胆臓・移植外科	Impact of the Intermittent Pringle Maneuver for Predicting Post-hepatectomy Liver Failure: A Cohort Study of 597 Consecutive Patients	World journal of surgery • 20230401. 2023 Apr;47(4):1058-1067	Original Article
126	Hata K, Nishio T, Kumagai M et al.	肝胆臓・移植外科	Venous outflow reconstruction in living-donor liver transplantation for Budd-Chiari syndrome involving vena cava	Journal of hepato-biliary-pancreatic sciences • 20240324. 2024 Aug;31(8):e47-e50	Original Article
127	Horie H, Ogiso S, Yoh T et al.	肝胆臓・移植外科	Albumin-Bilirubin Score at Post-Hepatectomy Hepatocellular Carcinoma Recurrence: Impact on Survival and Association with Post-Hepatectomy Liver Failure	Journal of gastrointestinal surgery : official journal of the Society for Surgery of the Alimentary Tract • 20230817. 2023 Nov;27(11):2414-2423	Original Article
128	Nam NH, Yoh T, Hori Y et al.	肝胆臓・移植外科	Impact of liver volumetric regeneration on survival outcomes in patients with hepatocellular carcinoma after major hepatectomy	Langenbeck's archives of surgery • 20230513. 2023 May;408(1):193	Original Article
129	Kusakabe J, Hata K, Tajima T et al.	肝胆臓・移植外科	Properdin inhibition ameliorates hepatic ischemia/reperfusion injury without interfering with liver regeneration in mice	Frontiers in immunology • 20230816. 2023 Aug;14:1174243	Original Article
130	Tomofuji K, Kondo J, Onuma K et al.	肝胆臓・移植外科	Hepatocyte differentiation from mouse liver ductal organoids by transducing 4 liver-specific transcription factors	Hepatology Communications • 20230414. 2023 Apr;7(5):e0134	Original Article
131	Ishii T, Ito T, Okumura S et al.	肝胆臓・移植外科	Left-sided major hepatectomy with en bloc resection of the hepatoduodenal ligament utilizing a liver-transection first approach: A video vignette	Asian journal of surgery • 20230425. 2024 Jan;47(1):497-498	Original Article
132	Ishii T, Iwaki K, Nakakura A et al.	肝胆臓・移植外科	Is routine lymph node dissection recommended for liver resection of intrahepatic cholangiocarcinoma? A systematic review and meta-analysis	HPB • 20240301. 2024 Jun;26(6):731-740	Original Article
133	Aoki H, Ito T, Hirata M et al.	肝胆臓・移植外科	Effects of Adding Congested Segment IV to the Left Lateral Graft on Short-term Outcomes in Pediatric Living-donor Liver-transplant Recipients	Transplantation direct • 20231101. 2023 Oct;9(11):e1551	Original Article

134	Ito T, Ogiso S, Nakamura M et al.	肝胆膾・移植外科	Fluid analysis unveils hepatic venous outflow obstruction and its negative impact on posttransplant graft regeneration	Liver transplantation : official publication of the American Association for the Study of Liver Diseases and the International Liver Transplantation Society・20230601. 2023 Jun;29(6):658-662	Original Article
135	Fukumitsu K, Ishii T, Ogiso S et al.	肝胆膾・移植外科	Impact of patient-specific three-dimensional printed liver models on hepatic surgery safety: a pilot study	HPB : the official journal of the International Hepato Pancreato Biliary Association・20230512. 2023 Sep;25(9):1083-1092	Original Article
136	Ishii T, Iwaki K, Nakakura A et al.	肝胆膾・移植外科	Is the anterior approach recommended for liver resection of hepatocellular carcinoma? A systematic review and meta-analysis	Journal of hepato-biliary-pancreatic sciences・20231120. 2024 Mar;31(3):133-142	Original Article
137	Hori Y, Yoh T, Nishino H et al.	肝胆膾・移植外科	Ferroptosis-related gene glutathione peroxidase 4 promotes reprogramming of glucose metabolism via Akt-mTOR axis in intrahepatic cholangiocarcinoma	Carcinogenesis・20231220. 2024 Mar;45(3):119-130	Original Article
138	Tajima T, Hata K, Kusakabe J et al.	肝胆膾・移植外科	Anti-complement 5 antibody ameliorates antibody-mediated rejection after liver transplantation in rats	Frontiers in immunology・20230616. 2023 Jun;14:1186653	Original Article
139	Iwaki K, Yoh T, Nishino H et al.	肝胆膾・移植外科	Completion of adjuvant S-1 chemotherapy after surgical resection for biliary tract cancer: A single center experience	Asian journal of surgery・20231229. 2024 Mar;47(3):1383-1388	Original Article
140	Munekage F, Yoh T, Ogiso S et al.	肝胆膾・移植外科	Trends in long-term outcomes of patients with HCV-associated hepatocellular carcinoma after hepatectomy: A comparison before and after introduction of direct-acting antiviral therapy	Annals of Gastroenterological Surgery・20230807. 2023 Aug;8(1):133-142	Original Article
141	Ogiso S, Seo S, Yoh T et al.	肝胆膾・移植外科	Laparoscopic Parenchyma-Sparing Resection of Difficult-to-Resect Deep Posterosuperior Liver Lesions: Conceptual Technique to Ensure Optimal Margin	Journal of gastrointestinal surgery : official journal of the Society for Surgery of the Alimentary Tract・20230401. 2023 Apr;27(4):790-793	Original Article
142	Onishi Y, Shimizu H, Masano Y et al.	肝胆膾・移植外科	Dual Lumen Microcatheter in Percutaneous Biliary Drainage for Postoperative Bile Leakage: A Case Report	Cureus・20231101. 2023 Nov;15(11):e49274	Original Article
143	Okamoto T, Okajima H, Ogawa E et al.	小児外科	The protective association of HLA-C*12:02 and HLA-DQB1*06:01 with severe acute hepatitis of unknown origin in the Japanese population	HLA・20240101. 2024 Jan;103(1):e15215	Original Article
144	Yutaka Y, Ng CSH.	呼吸器外科	Editorial: Recent advances in minimally invasive thoracic surgery	Frontiers in surgery・20230524. 2023 Mar;10:1182768	Original Article
145	Date N, Nakajima D, Ikeda M et al.	呼吸器外科	Effect of epoprostenol-induced thrombocytopenia on lung transplantation for pulmonary arterial hypertension	European Journal of Cardio-Thoracic Surgery・20240329. 2024 Mar;65(4):e4e108	Original Article
146	Ikeda M, Yutaka Y, Chen-Yoshikawa TF et al.	呼吸器外科	Novel intrathoracic irrigation using ultrafine ozone bubbles in a rat empyema model	Scientific reports・20231010. 2023 Oct;13(1):17078	Original Article
147	Goda Y, Nakajima D, Tanaka S et al.	呼吸器外科	Efficacy and safety of the SARS-CoV-2 mRNA vaccine in lung transplant recipients: a possible trigger of rejection	General thoracic and cardiovascular surgery・20230401. 2023 Apr;71(4):251-257	Original Article
148	Mori R, Handa T, Ohsumi A et al.	呼吸器外科	Evaluation of Bone Mineral Density in Lung Transplant Recipients by Chest Computed Tomography	Respiration・20231205. 2024 0;103(1):1-9	Original Article

149	Umemura K, Katada Y, Nakagawa S et al.	呼吸器外科	Comparison of the safety and cost-effectiveness of nebulized liposomal amphotericin B and amphotericin B deoxycholate for antifungal prophylaxis after lung transplantation	Journal of Infection and Chemotherapy• 20240212. 2024 Aug; 30(8):741-745	Original Article
150	Kayawake H, Tanaka S, Yamada Y et al.	呼吸器外科	Comparison of living-donor lobar lung transplantation and cadaveric lung transplantation for pulmonary hypertension	European journal of cardio-thoracic surgery : official journal of the European Association for Cardio-thoracic Surgery•20230403. 2023 Apr; 63(4):ezad024	Original Article
151	Murata Y, Yutaka Y, Hirata R et al.	呼吸器外科	Development of novel layered polyglycolic acid sheet for regeneration of critical-size defect in rat trachea	European Journal of Cardio-Thoracic Surgery•20230425. 2023 May; 63(5)	Original Article
152	Mineura K, Tanaka S, Goda Y et al.	呼吸器外科	Fibrotic progression from acute cellular rejection is dependent on secondary lymphoid organs in a mouse model of chronic lung allograft dysfunction	American Journal of Transplantation• 20240223. 2024 Jun; 24(6):944-953	Original Article
153	Imamura Y, Tanaka S, Yoshizawa A et al.	呼吸器外科	Dedifferentiated liposarcoma lung metastases with different FDG-PET/CT findings	Surgical case reports•20230509. 2023 May; 9(1):73	Original Article
154	Oda H, Tanaka S, Chen-Yoshikawa TF et al.	呼吸器外科	Impact of perioperative airway pathogens on living-donor lobar lung transplantation outcomes	Surgery Today•20240301. 2024 Mar; 54(3):266-274	Original Article
155	Sumitomo R, Menju T, Shimazu Y et al.	呼吸器外科	M2-like tumor-associated macrophages promote epithelial-mesenchymal transition through the transforming growth factor $\beta$ /Smad/zinc finger e-box binding homeobox pathway with increased metastatic potential and tumor cell proliferation in lung squamous cell	Cancer science•20231008. 2023 Dec; 114(12):4521-4534	Original Article
156	Yamada Y, Sato T, Oda H et al.	呼吸器外科	Favorable effect of CD26/DPP-4 inhibitors on postoperative outcomes after lung transplantation: A propensity-weighted analysis	The Journal of Heart and Lung Transplantation•20240101. 2024 Jan; 43(1):66-76	Original Article
157	Tanaka S, Date N, Imamura Y et al.	呼吸器外科	Pulmonary cyst newly formed after lobectomy in various underlying lung conditions	Surgical Case Reports•20240311. 2024 Mar; 10(1):56	Original Article
158	Tsuzawa A, Katada Y, Umemura K et al.	呼吸器外科	A case report of a prolonged decrease in tacrolimus clearance due to co-administration of nirmatrelvir/ritonavir in a lung transplant recipient receiving itraconazole prophylaxis	Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences•20230401. 2023 Apr; 9(1):12	Original Article
159	Nakajima D, Yuasa I, Kayawake H et al.	呼吸器外科	The first successful case of ABO-incompatible living-donor lobar lung transplantation following desensitization therapy	American Journal of Transplantation• 20230901. 2023 Sep; 23(9):1451-1454	Original Article
160	Ohsumi A, Tanaka S, Yamada Y et al.	呼吸器外科	Various combinations of living and deceased donors for lung retransplantation-a single institutional retrospective study	Interdisciplinary CardioVascular and Thoracic Surgery•20240102. 2024 Jan; 38(1):ivae010	Original Article
161	Yuasa I, Hamaji M, Ozasa H et al.	呼吸器外科	Outcomes of immune checkpoint inhibitors for postoperative recurrence of non-small cell lung cancer	General Thoracic and Cardiovascular Surgery•20230901. 2023 Sep; 71(9):534-541	Original Article
162	Ikeda M, Wakatsuki Y, Oga T et al.	呼吸器外科	One-year change in the health status predicts the subsequent hospitalization and mortality in patients waitlisted for lung transplantation in Japan	Respiratory investigation•20230515. 2023 Jul; 61(4):478-484	Original Article
163	Arakawa Y, Narita Y, Nagane M et al.	脳神経外科	Karnofsky Performance Status and quality of life in patients with relapsed or refractory primary CNS lymphoma from a phase I/II study of tirabrutinib	Neuro-oncology advances•20230914. 2023 Sep; 5(1):vdad109	Original Article

164	Tanji M, Oishi M, Sano N et al.	脳神経外科	Impact of collagen matrix on reconstructive material selection and postoperative complications in endoscopic endonasal skull base surgery	Journal of Neurosurgery•20240201. 2024 Feb;141(1):204–211	Original Article
165	Hattori EY, Arakawa Y, Mineharu Y et al.	脳神経外科	Seizure control by adding on other anti-seizure medication on seizure during levetiracetam administration in patients with glioma-related epilepsy	BMC cancer•20230911. 2023 Sep;23(1):849	Original Article
166	Matsui Y, Mineharu Y, Noguchi Y et al.	脳神経外科	Corrigendum to “Chlorambucil-conjugated PI-polyamide (Chb-M’), a transcription inhibitor of the RUNX family, has anti-tumor activity against SHH-type medulloblastoma with p53 mutation” [Biochem. Biophys. Res. Commun. 620 (10 September 2022) 150–157]	Biochemical and biophysical research communications•20230514. 2023 May; 656:146–147	Original Article
167	Yamao Y, Funaki T, Yamada H et al.	脳神経外科	“Transcallosal” periventricular anastomosis in moyamoya disease: the fourth periventricular anastomosis and a potential predictor of hemorrhage	Journal of stroke and cerebrovascular diseases : the official journal of National Stroke Association•20231201. 2023 Dec; 32(12):107428	Original Article
168	Takahashi Y, Oishi N, Yamao Y et al.	脳神経外科	Voxel-based clustered imaging by multiparameter diffusion tensor images for predicting the grade and proliferative activity of meningioma	Brain and Behavior•20230829. 2023 Oct; 13(10):e3201	Original Article
169	Hirata Y, Okawa M, Ishii A et al.	脳神経外科	Ruptured brainstem arteriovenous malformation associated with a thalamoperforating artery aneurysm arising from the P1 segment of the right posterior cerebral artery: illustrative case	Journal of neurosurgery. Case lessons• 20231009. 2023 Oct;6(15):CASE23294	Original Article
170	Akiyama Y, Muraoka Y, Kogo T et al.	眼科	Vitreous hemorrhage in retinal vein occlusion without visible traction from the posterior vitreous membrane: An optical coherence tomography angiography case report study	Heliyon•20240201. 2024 Feb;10(4):e26019	Original Article
171	Takahashi A, Muraoka Y, Koyasu S et al.	眼科	Novel Manifestation of Retinal Hemangioblastomas Detected by OCT Angiography in von Hippel-Lindau Disease	Ophthalmology•20230701. 2023 Jul; 130(7):748–755	Original Article
172	Miyata M, Kido A, Miyake M et al.	眼科	Prevalence and Incidence of Strabismus by Age Group in Japan: A Nationwide Population-Based Cohort Study	American Journal of Ophthalmology• 20231101. 2024 Jun;262:222–228	Original Article
173	Kogo T, Muraoka Y, Ishikura M et al.	眼科	Widefield choroidal vasculature associated with future condition of subretinal fluid in central serous chorioretinopathy	Heliyon•20230701. 2023 Jul;9(8):e18441	Original Article
174	Tanaka A, Hata M, Tsuchikawa M et al.	眼科	Short-Term Outcomes of 3 Monthly intravitreal Faricimab On Different Subtypes of Neovascular Age-Related Macular Degeneration	Clinical Ophthalmology•20240201. 2024 Feb;18:507–516	Original Article
175	Yamagata Y, Suda K, Akagi T et al.	眼科	Influence of Trabeculectomy with Mitomycin C on Longitudinal Changes in the Visual Field in Glaucoma Patients with High Myopia	CLINICAL OPHTHALMOLOGY•20230817. 2023 Aug;17:2413–2422	Original Article
176	Iga Y, Hasegawa T, Ikeda HO et al.	眼科	Progression of retinitis pigmentosa on static perimetry, optical coherence tomography, and fundus autofluorescence	Scientific reports•20231212. 2023 Dec; 13(1):22040	Original Article
177	Nagasaki T, Miyake M, Sato S et al.	眼科	Associations between Nocturnal Hypoxemia and Retinal Nerve Fiber Layer Thinning: The Nagahama Study	Annals of the American Thoracic Society• 20240119. 2024 Apr;21(4):644–650	Original Article
178	Hirota Y, Muraoka Y, Kogo T et al.	眼科	Association of Retinal Pigment Epithelium Reflectivity on Optical Coherence Tomography with Recurrence of Vogt-Koyanagi-Harada Disease: A Retrospective Observational Study	Clinical Ophthalmology•20230701. 2023 Jul; 17:2071–2079	Original Article

179	Yoshida M, Murakami T, Kawai K et al.	眼科	Inference of Capillary Nonperfusion Progression on Widefield OCT Angiography in Diabetic Retinopathy	Investigative Ophthalmology & Visual Science•20231017. 2023 Oct;64(13):24	Original Article
180	Hirano M, Muraoka Y, Kogo T et al.	眼科	Analysis of widefield choroidal thickness maps of healthy eyes using swept source optical coherence tomography	Scientific reports•20230724. 2023 Jul; 13(1):11904	Original Article
181	Tanaka A, Suda K, Kameda T et al.	眼科	Characteristics of Eyes Requiring Trabeculotomy for Glaucoma With Steroid Treatment: Atopic Dermatitis and Factors Affecting Surgical Outcomes	Cureus•20231001. 2023 Oct;15(10):e47510	Original Article
182	Kogo T, Muraoka Y, Ishikura M et al.	眼科	Pigment Epithelial Detachment and Leak Point Locations in Central Serous Chorioretinopathy	American journal of ophthalmology• 20240119. 2024 May;261:19–27	Original Article
183	Kadomoto S, Muraoka Y, Tsujikawa A.	眼科	Photoreceptor Misalignment Contributes to Imaging Features During Acute Macular Neuroretinopathy–Reply	JAMA Ophthalmology•20230629. 2023 Aug; 141(8):803–804	Original Article
184	Yamamoto A, Miyata M, Tsujikawa A.	眼科	Ophthalmologists' assessment of the handling characteristics of the novel Finesse Reflex Handle in comparison to those of a conventional handle	Scientific Reports•20240301. 2024 Mar; 14(1):5736	Original Article
185	Ishikura M, Muraoka Y, Nishigori N et al.	眼科	Macular retinal circulation in healthy eyes examined by optical coherence tomography angiography extended interscan time analysis	PLOS ONE•20230914. 2023 Sep; 18(9):e0289896	Original Article
186	Terada N, Murakami T, Ishihara K et al.	眼科	Quantification of dilated deep capillaries in diabetic retinopathy on optical coherence tomography angiography	Scientific Reports•20231019. 2023 Oct; 13(1):17884	Original Article
187	Sato Y, Ueda–Arakawa N, Takahashi A et al.	眼科	Clinical Characteristics and Progression of Geographic Atrophy in a Japanese Population	Ophthalmology. Retina•20230609. 2023 Oct;7(10):901–909	Original Article
188	Miki M, Miyata M, Ooto S et al.	眼科	PREDICTORS OF 3-MONTH AND 1-YEAR VISUAL OUTCOMES AFTER VITRECTOMY WITH SUBRETINAL TISSUE PLASMINOGEN ACTIVATOR INJECTION FOR SUBMACULAR HEMORRHAGE	Retina (Philadelphia, Pa.)•20230720. 2023 Nov; 43(11):1971–1979	Original Article
189	Sakata R, Miyata M, Ooto S et al.	眼科	TEN-YEAR VISUAL OUTCOME AND CHANGE IN CHORIORETINAL ATROPHY AFTER INTRAVITREAL RANIBIZUMAB FOR MACULAR NEOVASCULARIZATION IN PATHOLOGIC MYOPIA	Retina (Philadelphia, Pa.)•20230616. 2023 Nov; 43(11):1863–1871	Original Article
190	Murakami T, Ishihara K, Terada N et al.	眼科	Pathological Neurovascular Unit Mapping onto Multimodal Imaging in Diabetic Macular Edema	Medicina•20230507. 2023 May;59(5):896	Original Article
191	Wada S, Miyake M, Hata M et al.	眼科	Annual trends of ophthalmic surgeries in Japan's super-aged society, 2014–2020: a national claims database study	Research Square•20231102. 2023 Dec; 13(1):22884	Original Article
192	Kadomoto S, Muraoka Y, Ooto S et al.	眼科	Structural Changes in Acute Macular Neuroretinopathy Revealed With Adaptive Optics Optical Coherence Tomography	JAMA Ophthalmology•20230401. 2023 Apr; 141(4):400–402	Original Article
193	Kawashima Y, Hata M, Miyake M et al.	眼科	MACULAR CHORIORETINAL ATROPHY AND VISUAL OUTCOMES IN RANIBIZUMAB- OR AFLIBERCEPT-TREATED MYOPIC CHOROIDAL NEOVASCULARIZATION	Retina (Philadelphia, Pa.)•20230906. 2024 Jan;44(1):127–135	Original Article

194	Wada S, Miyake M, Kido A et al.	眼科	Epidemiology of Angioid Streaks and Pseudoxanthoma Elasticum (2011–2020): A Nationwide Population-based Cohort Study	Ophthalmology Science•20230701. 2023 Jul; 4(2):100370	Original Article
195	Nishigori N, Muraoka Y, Ishikura M et al.	眼科	Extensive reduction in choroidal thickness after photodynamic therapy in eyes with central serous chorioretinopathy	Scientific Reports•20230705. 2023 Jul; 13(1):10890	Original Article
196	Doi Y, Muraoka Y, Tsujikawa A.	眼科	Evaluation of the Efficiency and Safety of a 27-Gauge 20,000 Cuts per Minute Vitreous Cutter	Clinical Ophthalmology•20230701. 2023 Jul; 17:2037–2043	Original Article
197	Tamiya R, Hata M, Tanaka A et al.	眼科	Therapeutic effects of faricimab on aflibercept-refractory age-related macular degeneration	Scientific Reports•20231130. 2023 Nov; 13(1):21128	Original Article
198	Ishikura M, Muraoka Y, Kadomoto S et al.	眼科	Evaluation of Foveal Cone and Müller Cells in Epiretinal Membrane using Adaptive Optics OCT	Scientific Reports•20230704. 2023 Jul; 4(1):100362	Original Article
199	Honda K, Omori K, Kishimoto Y.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Anatomical variations in the superficial venous system of the neck: an image-based study using contrast-enhanced computed tomography	Surgical and radiologic anatomy : SRA•20240327. 2024 May; 46(5):669–677	Original Article
200	Kagoshima H, Ohnishi H, Yamamoto R et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	EBF1 Limits the Numbers of Cochlear Hair and Supporting Cells and Forms the Scala Tympani and Spiral Limbus during Inner Ear Development	The Journal of Neuroscience•20240104. 2024 Feb; 44(7):e1060232023	Original Article
201	Mizuno K, Takeuchi M, Kishimoto Y et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Risk Factors for Recurrence of Peritonsillar Abscess	The Laryngoscope•20230801. 2023 Aug; 133(8):1846–1852	Original Article
202	Mori N, Yamamoto N, Yamaguchi S et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Long-term effects of second cochlear implantation with sequential bilateral cochlear implantation in Japanese children	Auris, nasus, larynx•20230724. 2024 Feb; 51(1):138–146	Original Article
203	Kojima T, Kishimoto Y, Honda K et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Thyroid Lobectomy Under Local Anesthesia Before Lung Transplantation Owing to Diffuse Panbronchiolitis: A Case Report	Cureus•20240201. 2024 Feb; 16(2):e54960	Original Article
204	Kitano M, Hayashi Y, Ohnishi H et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Changes in the Proportion of Each Cell Type After hiPSC-Derived Airway Epithelia Transplantation	Cell Transplantation•20240101. 2024 Jan; 33:9636897241228026	Original Article
205	Hayashi Y, Ohnishi H, Kitano M et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Comparative Study of Immunodeficient Rat Strains in Engraftment of Human-Induced Pluripotent Stem Cell-Derived Airway Epithelia	Tissue Engineering Part A•20231111. 2024 Feb; 30(3–4):144–153	Original Article
206	Honda K, Nishimura K, Tsujimura T et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Palatal mucoperiosteal flap for oro-nasal fistula following maxillectomy for maxillary sinus cancer	Auris, nasus, larynx•20230401. 2023 Apr; 50(2):266–271	Original Article
207	Nakamoto Y, Nakamura T, Nakai R et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Transplantation of autologous bone marrow-derived mononuclear cells into cerebrospinal fluid in a canine model of spinal cord injury	Regenerative Therapy•20231201. 2023 Nov; 24:574–581	Original Article
208	Hasebe K, Fujimura S, Kojima T et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	The Effect of Noise on Deep Learning for Classification of Pathological Voice	The Laryngoscope•20240127. 2024 Aug; 134(8):3537–3541	Original Article

209	Tamura K, Kumabe Y, Kishimoto Y et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Mucosal melanoma of the head and neck: a retrospective analysis of 34 cases in Japan	Acta oto-laryngologica•20240101. 2024 Jan; 144(1):82-89	Original Article
210	Iwanaga K, Suehiro A, Sato S et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Swallowing function improvement using costal cartilage for severe dysphagia after supracricoid hemilaryngopharyngectomy	Auris, nasus, larynx•20230801. 2023 Aug; 50(4):623-627	Original Article
211	Kawai Y, Kishimoto Y, Tamaki H et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Parathyroid carcinoma: impact of preoperative diagnosis on the choice of surgical procedure	Endocrine journal•20231030. 2023 Oct; 70(10):969-976	Original Article
212	Kitada Y, Ohnishi H, Yamamoto N et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Transplantation of Induced Pluripotent Stem Cell-Derived Airway Epithelia with a Collagen Scaffold into the Nasal Cavity	Tissue Engineering Part C: Methods•20231101. 2023 Nov;29(11):526-534	Original Article
213	Kato T, Yamada M, Watanabe T et al.	歯科口腔外科	Congenital factor XI deficiency with multiple tooth extractions (Case report)	Experimental and Therapeutic Medicine•20230915. 2023 Sep;26(5):509	Original Article
214	Kato T, Mizumoto C, Inoue F et al.	歯科口腔外科	Methotrexate-related other iatrogenic immunodeficiency-associated lymphoproliferative disorder in the CNS and medication-related osteonecrosis of the jaw occurring simultaneously: A case report	Experimental and Therapeutic Medicine•20231128. 2023 Nov;27(1):41	Original Article
215	Kato T, Katayama Y, Fukuhara S et al.	歯科口腔外科	Efficacy of foam sclerotherapy with polidocanol for the management of oral venous malformations	Medicine International•20240326. 2024 Mar; 4(3):24	Original Article
216	Fukuhara S, Watanabe T, Yamazaki T et al.	歯科口腔外科	Associations Among Tooth Loss, Periodontitis, and Carotid Intima-Media Thickness: the Nagahama Study	Journal of Atherosclerosis and Thrombosis•20231001. 2023 Oct;30(10):1350-1363	Original Article
217	Kato T, Yoshida T, Onishi Y et al.	歯科口腔外科	Pseudoaneurysm of the superficial temporal artery after sagittal split ramus osteotomy: A case report	Experimental and Therapeutic Medicine•20231114. 2023 Nov;27(1):12	Original Article
218	Kato T, Yamada M, Watanabe T et al.	歯科口腔外科	A rare case of a branchial cyst with calcification: A case report	Experimental and Therapeutic Medicine•20230614. 2023 Jun;26(2):366	Original Article
219	Kato T, Watanabe T, Nakao K.	歯科口腔外科	An experience of displaced third molar roots removed using computer-assisted navigation system	Journal of Stomatology, Oral and Maxillofacial Surgery•20231201. 2023 Dec;124(6):101442	Original Article
220	Honda S, Murata K, Fujibayashi S et al.	整形外科	Effect of high disease activity on spinal sagittal malalignment in patients with rheumatoid arthritis	Journal of neurosurgery. Spine•20240329. 2024 Mar;41(1):24-32	Original Article
221	Otsuki B, Sakamoto A, Fujibayashi S et al.	整形外科	Sacral Nerve-Sparing Piecemeal Spondylectomy for Giant Cell Tumor of Bone in the Sacrum: Surgical Strategy and Accurate Tumor Location Identification	Spine surgery and related research•20240127. 2023 Sep;8(1):110-113	Original Article
222	Otsuki B, Fujibayashi S, Shimizu T et al.	整形外科	Minimally invasive LLIF surgery to decrease the occurrence of adjacent-segment disease compared to conventional open TLIF	European Spine Journal•20230901. 2023 Sep;32(9):3200-3209	Original Article
223	Okuzu Y, Goto K, Kuroda Y et al.	整形外科	Closed Suction Drainage May Not be Beneficial in Revision Total Hip Arthroplasty: A Propensity Score-Matched Cohort Study	Indian journal of orthopaedics•20230701. 2023 May;57(7):1041-1048	Original Article

224	Mitsui T, Shimizu T, Fujibayashi S et al.	整形外科	Predictors of the need for rib resection in minimally invasive retroperitoneal approach for oblique lateral interbody fusion at upper lumbar spine (L1-2 and L2-3)	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association•20230701. 2023 Jul;28(4):752-757	Original Article
225	Masuda S, Shimizu T, Sono T et al.	整形外科	Recurrence rate after posterior percutaneous screw fixation without anterior debridement for pyogenic spondylitis compared with conservative treatment: a propensity score-matched analysis	European Spine Journal•20231201. 2023 Dec;32(12):4265-4271	Original Article
226	Kuroda Y, Kawai T, Okuzu Y et al.	整形外科	Investigational regenerative medicine for non-traumatic osteonecrosis of the femoral head: a survey of registered clinical trials	Expert opinion on investigational drugs•20240302. 2024 Apr;33(4):405-414	Original Article
227	Orita K, Okuzu Y, Shimizu T et al.	整形外科	Investigating sagittal spinopelvic alignment and equivalent stress on the femoral head in patients with rapidly destructive coxarthrosis	European journal of orthopaedic surgery & traumatology : orthopedie traumatologie•20230928. 2024 Feb;34(2):901-908	Original Article
228	Shimizu T, Otsuki B, Sono T et al.	整形外科	Blade-Related Vertebral Fracture After Anterior Cervical Discectomy and Fusion with a Zero-Profile Cage: A Case Report	JBJS Case Connector•20231019. 2023 Oct;13(4)	Original Article
229	Masuda S, Fukasawa T, Takeuchi M et al.	整形外科	Are Dental Procedures Associated With Pyogenic Vertebral Osteomyelitis?	Clinical orthopaedics and related research•20230928. 2024 Apr;482(4):716-723	Original Article
230	Tanaka A, Shimizu T, Kawai T et al.	整形外科	Risk of further surgery after decompression in patients with diffuse idiopathic skeletal hyperostosis extending to the lumbar segments: focus on the number of residual lumbar/lumbosacral and sacroiliac mobile segments	European Spine Journal•20230701. 2023 Jul;32(7):2336-2343	Original Article
231	Morita Y, Kamatani Y, Ito H et al.	整形外科	Improved genetic prediction of the risk of knee osteoarthritis using the risk factor-based polygenic score	Arthritis research & therapy•20230612. 2023 Jun;25(1):103	Original Article
232	Shima K, Fujibayashi S, Takemoto M et al.	整形外科	CT-based analysis of sagittal and coronal lumbar endplate morphology: multivariate analysis of factors associated with endplate depth	European Spine Journal•20230501. 2023 May;32(5):1546-1552	Original Article
233	Takaoka Y, Fujibayashi S, Onoe H et al.	整形外科	Bone ingrowth into a porous structure is achieved by preceding fibrogenesis and vascularization	Acta Biomaterialia•20240201. 2024 Mar;177:243-252	Original Article
234	Honda S, Fujibayashi S, Shimizu T et al.	整形外科	Strontium-loaded 3D intramedullary nail titanium implant for critical-sized femoral defect in rabbits	Journal of biomedical materials research. Part B, Applied biomaterials•20240301. 2024 Mar;112(3):e35393	Original Article
235	Tateuchi H, Yagi M, Akiyama H et al.	整形外科	Identifying Muscle Function-based Phenotypes Associated With Radiographic Progression of Secondary Hip Osteoarthritis	Archives of Physical Medicine and Rehabilitation•20230501. 2023 Nov;104(11):1892-1902	Original Article
236	Okuzu Y, Goto K, Kuroda Y et al.	整形外科	How Do Spinal Parameters Change in Patients Who Have Improvement of Low Back Pain After Total Hip Arthroplasty? A Propensity Score-Matched Cohort Study	The Journal of arthroplasty•20230617. 2024 Jan;39(1):132-137	Original Article
237	Chen CH, Okuzu Y, Goto K et al.	整形外科	Total hip arthroplasty in patients with vertebral compression fracture is associated with poor clinical outcomes - retrospective analysis on 453 cases	Journal of experimental orthopaedics•20230524. 2023 May;10(1):53	Original Article
238	Honda S, Fujibayashi S, Onishi E et al.	整形外科	Acute non-traumatic spinal subarachnoid hematomas: A report of five cases and a systematic review of literature	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association•20230901. 2023 Sep;28(5):966-971	Original Article

239	Shima K, Shimizu T, Fujibayashi S et al.	整形外科	Feasibility of total and partial uncinectomy during anterior cervical approach: MRI-based analysis of 176 patients regarding vertebral artery location	European spine journal : official publication of the European Spine Society, the European Spinal Deformity Society, and the European Section of the Cervical Spine Research Society•20231001. 2023 Oct;32(10):3540–3546	Original Article
240	Utsunomiya N, Katsube M, Yamaguchi Y et al.	形成外科	Author Correction: The first 3D analysis of the sphenoid morphogenesis during the human embryonic period	Scientific reports•20230424. 2023 Apr; 13(1):6660	Original Article
241	Makino A, Saito S.	形成外科	Morphologic Changes in Postaxial Polydactyly of the Foot: A Standardized Quantitative Analysis Using the Watanabe-Fujita Classification	Plastic & Reconstructive Surgery• 20230420. 2024 Jan;153(1):170e–180e	Original Article
242	Sawaragi E, Yamanaka H, Li Y et al.	形成外科	Comparisons of the effects of silk elastin and collagen sponges on wound healing in murine models	Regenerative therapy•20231201. 2023 Sep; 24:385–397	Original Article
243	Zhao Q, Ogino S, Lee S et al.	形成外科	Development of new bioabsorbable implants with de novo adipogenesis	Regenerative therapy•20231201. 2023 Aug; 24:311–317	Original Article
244	Li Y, Sakamoto M, Matsuno K et al.	形成外科	Modified gelatin hydrogel nonwoven fabrics (Genocel) as a skin substitute in murine skin defects	Regenerative therapy•20230601. 2023 Apr; 23:44–51	Original Article
245	Katsushima C, Yamanaka H, Tsuge I et al.	形成外科	Free superficial circumflex iliac artery perforator flow-through flap transfer for reconstruction after excision of arteriovenous malformations of the hand: A case report	Microsurgery•20230701. 2023 Jul; 43(5):516–521	Original Article
246	Takaya A, Tsuge I, Nakano T et al.	形成外科	Flap Viability Evaluation Using a Tissue Oximetry Camera as an Alternative to Indocyanine Green Fluorescence Imaging	Plastic and Reconstructive Surgery Global Open•20230801. 2023 Sep;11(9):e5235	Original Article
247	Sowa Y, Inafuku N, Tsuge I et al.	形成外科	Invited Commentary from the Authors of: Sowa, et al. Patient-reported Outcomes After Autologous Fat grafting in Prosthetic Breast Reconstruction: Prospective Cohort Study Using a Multivariate Analysis	Annals of plastic surgery•20230801. 2023 Aug;91(2):320	Original Article
248	Yamamoto M, Kawahara S, Murakami R et al.	形成外科	Successful correction of the transverse vaginal septum with a pinhole vaginal foramen using Y-V plasty: A case report	Case Reports in Women's Health•20240301. 2024 Mar;42:e00598	Original Article
249	Yamanaka H, Sawaragi E, Nakano T et al.	形成外科	A high-hydrostatic pressure device for nevus tissue inactivation and dermal regeneration for reconstructing skin defects after giant congenital melanocytic nevus excision: a clinical trial	Regenerative Therapy•20231201. 2023 Jun; 24:167–173	Original Article
250	Munisso MC, Liu C, Yamamoto G et al.	形成外科	PreFlap: From Photoacoustic Tomography Images to Vascular Mapping Sheets for Improved Preoperative Flap Evaluation	IEEE transactions on bio-medical engineering•20230711. 2024 Jan;71(1):139–149	Original Article
251	Nakano T, Yamanaka H, Sakamoto M et al.	形成外科	Development of a Self-Assembled Dermal Substitute from Human Fibroblasts Using Long-term Three-Dimensional Culture	Tissue Engineering Part A•20231101. 2023 Nov;29(21–22):569–578	Original Article
252	Yoshinaga A, Tsuge I, Saito S et al.	形成外科	Orbital/Periorbital Plexiform Neurofibromas: Classification and Surgical Strategies for a Better Outcome	Plastic and reconstructive surgery. Global open•20230701. 2023 Jul;11(7):e5108	Original Article
253	Teramoto M, Katsube M, Utsunomiya N et al.	形成外科	An easy-to-use semi-automatic volumetric evaluation for secondary bone grafting in patients with unilateral alveolar cleft	Congenital Anomalies•20230816. 2023 Nov; 63(6):182–189	Original Article

254	Lee S, Ogino S, Sowa Y et al.	形成外科	Evaluation of adipogenesis over time using a novel bioabsorbable implant without the addition of exogenous cells or growth factors	Regenerative Therapy•20240301. 2024 Jan; 25:220-228	Original Article
255	Katsube M, Utsunomiya N, Katayama Y et al.	形成外科	Interposition grafting of collagen-gelatin sponge impregnated with basic fibroblast growth factor in primary palatoplasty	Regenerative therapy•20231201. 2023 Aug; 24:288-293	Original Article
256	Tsuge I, Yamanaka H, Katsube M et al.	形成外科	Lower Lip Reconstruction Using a Sensory Anterolateral Thigh Flap as the First Choice	Plastic and reconstructive surgery. Global open•20230501. 2023 May;11(5):e5003	Original Article
257	Sakai Y, Tsuge I, Kataoka M et al.	形成外科	Deep Infantile Hemangioma in the Involuting Phase That Was Difficult to Diagnose before Surgery	Plastic and Reconstructive Surgery – Global Open•20230501. 2023 May;11(5):e4975	Original Article
258	Tsuge I, Mitsukawa N, Suzuki T et al.	形成外科	Current ethical considerations of cadaver surgical training for Japanese plastic and reconstructive surgeons	Journal of plastic, reconstructive & aesthetic surgery : JPRAS•20230614. 2023 Sep; 84:276-278	Original Article
259	Kawada K, Itatani Y, Masui K et al.	形成外科	Combined laparoscopic and transperineal total pelvic exenteration with en bloc resection of urethra for recurrent rectal cancer following robotic abdominoperineal resection – A video vignette	Colorectal disease : the official journal of the Association of Coloproctology of Great Britain and Ireland•20231101. 2023 Nov; 25(11):2270-2271	Original Article
260	Tsuge I, Munisso MC, Kosaka T et al.	形成外科	Preoperative visualization of midline-crossing subcutaneous arteries in transverse abdominal flaps using photoacoustic tomography	Journal of plastic, reconstructive & aesthetic surgery : JPRAS•20230518. 2023 Sep; 84:165-175	Original Article
261	Ono M, Yamanoi K, Okunomiya A et al.	産科婦人科	A case of solitary lymph node recurrence 9 years after initial treatment for advanced premenopausal endometrioid endometrial cancer; clinical usefulness of hormonal replacement therapy	International cancer conference journal• 20230701. 2023 Mar;12(3):168-172	Original Article
262	Inayama Y, Takamatsu S, Hamanishi J et al.	産科婦人科	Imiquimod for Cervical and Vaginal Intraepithelial Neoplasia: A Systematic Review and Meta-analysis	Obstetrics and gynecology•20230801. 2023 Aug;142(2):307-318	Original Article
263	Ikedo Y, Egawa M, Ohsuga T et al.	産科婦人科	Relationship of Ethinylestradiol/Drospirenone Prescription on Work Productivity and Activity Impairment Among Women With Menstruation-Related Symptoms: A Multicenter Prospective Observational Study	Journal of occupational and environmental medicine•20230701. 2023 Jul;65(7):e491-e495	Original Article
264	Chigusa Y.	産科婦人科	How does the precise prediction of preeclampsia onset aid the overall management of preeclampsia?	Hypertension research : official journal of the Japanese Society of Hypertension•20240226. 2024 May;47(5):1420-1421	Original Article
265	Inayama Y, Mizuno K, Egawa M et al.	産科婦人科	Real-world practice of estrogen and progesterone prescriptions in menopausal women in Japan: A descriptive study using a Japanese claims database	The journal of obstetrics and gynaecology research•20231201. 2023 Dec;49(12):2952-2961	Original Article
266	Chigusa Y, Okuda R, Teratani Y et al.	産科婦人科	Pregnancy Epulis	JMA journal•20230414. 2023 Apr;6(2):206-208	Original Article
267	Takamatsu S, Nakai H, Yamaguchi K et al.	産科婦人科	Time-Dependent Changes in Risk of Progression During Use of Bevacizumab for Ovarian Cancer	JAMA network open•20230801. 2023 Aug; 6(8):e2326834	Original Article
268	Hamada K, Murakami R, Ueda A et al.	産科婦人科	A Deep Learning-Based Assessment Pipeline for Intraepithelial and Stromal Tumor-Infiltrating Lymphocytes in High-Grade Serous Ovarian Carcinoma	The American journal of pathology• 20240325. 2024 Jul;194(7):1272-1284	Original Article

269	Matsumoto YK, Himoto Y, Nishio M et al.	産科婦人科	Nodal infiltration in endometrial cancer: a prediction model using best subset regression	European radiology•20231026. 2024 May; 34(5):3375-3384	Original Article
270	Nishikawa S, Taki M, Okamoto H et al.	産科婦人科	The prognosis of neonatal respiratory status within three years after birth in chronic abruption-oligohydramnios sequence	The journal of obstetrics and gynaecology research•20230803. 2023 Nov;49(11):2649-2655	Original Article
271	Ono M, Fukuda M, Yamanoi K et al.	産科婦人科	Clinical significance of initial symptoms in endometriosis-associated ovarian cancer	Turkish journal of obstetrics and gynecology•20240304. 2024 Mar;21(1):28-36	Original Article
272	Tanaka M, Yamanoi K, Taki M et al.	産科婦人科	High-grade vaginal intraepithelial neoplasia after hysterectomy for high-grade cervical intraepithelial neoplasia: Is hysterectomy a "definitive" treatment compared to conization?	The journal of obstetrics and gynaecology research•20230624. 2023 Sep;49(9):2361-2369	Original Article
273	Koyama M, Yamaguchi K, Chigusa Y et al.	産科婦人科	ATM mutation in aggressive uterine adenocarcinoma in which systemic chemotherapies had remarkable effects	International cancer conference journal•20230401. 2023 Jan;12(2):120-125	Original Article
274	Inayama Y, Mizuno K, Yamaguchi K et al.	産科婦人科	Hormone replacement therapy and cancer risks in perimenopausal women: A retrospective cohort study using a Japanese claims database	The journal of obstetrics and gynaecology research•20230701. 2023 Jul;49(7):1805-1814	Original Article
275	Masui K, Matsuoka T, Kono J et al.	泌尿器科	Analysis of trifecta outcomes in a single center with robot-assisted partial nephrectomy for T1b renal tumors	Asian journal of endoscopic surgery•20230701. 2023 Jul;16(3):441-446	Original Article
276	Miyao M, Hirotsu A, Tatsumi K et al.	麻酔科	Prior exposure to stress exacerbates neuroinflammation and causes long-term behavior changes in sepsis	Heliyon•20230601. 2023 Jun;9(6):e16904	Original Article
277	Tojima M, Shimotake A, Neshige S et al.	小児科	Specific consistency score for rational selection of epilepsy resection surgery candidates	Epilepsia•20240312. 2024 May;65(5):1322-1332	Original Article
278	Kubota H, Ueno H, Tasaka K et al.	小児科	RNA-seq-based miRNA signature as an independent predictor of relapse in pediatric B-cell acute lymphoblastic leukemia	Blood Advances•20231221. 2024 Mar; 8(5):1258-1271	Original Article
279	Matsuo H, Inagami A, Ito Y et al.	小児科	Parbendazole as a promising drug for inducing differentiation of acute myeloid leukemia cells with various subtypes	Communications biology•20240124. 2024 Jan;7(1):123	Original Article
280	Miyamoto T, Izawa K, Masui S et al.	小児科	Clinical Characteristics of Cryopyrin-Associated Periodic Syndrome and Long-Term Real-World Efficacy and Tolerability of Canakinumab in Japan: Results of a Nationwide Survey	Arthritis & rheumatology (Hoboken, N.J.)•20240125. 2024 Jun;76(6):949-962	Original Article
281	Kobushi H, Saida S, Umeda K et al.	小児科	High-dose carboplatin-irinotecan-temozolomide is an effective salvage chemotherapy for relapsed or refractory neuroblastoma	Pediatric blood & cancer•20230701. 2023 Jul;70(7):e30331	Original Article
282	Kadohisa M, Okamoto T, Yamamoto M et al.	小児科	Living donor liver transplantation for myocerebrohepatopathy spectrum due to POLG mutations	Pediatric transplantation•20240201. 2024 Feb;28(1):e14659	Original Article
283	Tasaka K, Kato I, Takeshita S et al.	小児科	Second relapse of FLT3-ITD-positive acute myeloid leukemia after discontinuation of 3-year post-transplant maintenance therapy with gilteritinib	Pediatric blood & cancer•20230501. 2023 May;70(5):e30185	Original Article

284	Fukui S, Umeda K, Kubota H et al.	小児科	Use of Cabozantinib to Treat MET –amplified Pediatric Colorectal Cancer	Journal of pediatric hematology/oncology • 20230401. 2023 Apr; 45(3):e423–e426	Original Article
285	Kito S, Mukumoto N, Nakamura M et al.	放射線治療科	Population–based asymmetric margins for moving targets in real–time tumor tracking	Medical physics • 20230719. 2024 Mar; 51(3):1561–1570	Original Article
286	Hirashima H, Nakamura M, Nakamura K et al.	放射線治療科	Dosimetric verification of four dose calculation algorithms for spine stereotactic body radiotherapy	Journal of Radiation Research • 20231122. 2024 Jan; 65(1):109–118	Original Article
287	Nakamura K, Ikeda I, Inokuchi H et al.	放射線治療科	Long–Term Outcomes of a Prospective Study on Highly Hypofractionated Intensity Modulated Radiation Therapy for Localized Prostate Cancer for 3 Weeks	Practical Radiation Oncology • 20231101. 2023 Nov; 13(6):e530–e537	Original Article
288	Umeda K, Sakamoto A, Noguchi T et al.	放射線治療科	Clinical Outcomes of Patients With Osteosarcoma Experiencing Relapse or Progression: A Single–institute Experience	Journal of pediatric hematology/oncology • 20230401. 2023 Apr; 45(3):e356–e362	Original Article
289	Iizuka Y, Katagiri T, Ogura K et al.	放射線治療科	Recurrence–free survival and prognosis after adjuvant therapy with radioactive iodine–131 in patients with differentiated thyroid carcinoma	Scientific reports • 20230704. 2023 Jul; 13(1):10795	Original Article
290	Aizawa R, Inokuchi H, Ikeda I et al.	放射線治療科	Impact of prostate position–based image–guidance in intensity–modulated radiation therapy for localized prostate cancer	International Journal of Clinical Oncology • 20240108. 2024 Mar; 29(3):325–332	Original Article
291	Kishimoto Y, Kawai Y, Fujimura S et al.	放射線治療科	Outcome of selective neck dissection for cervical lymph node recurrence or residual lymph node metastasis of oesophageal cancer	Clinical otolaryngology : official journal of ENT–UK ; official journal of Netherlands Society for Oto–Rhino–Laryngology & Cervico–Facial Surgery • 20240101. 2024 Jan; 49(1):152–157	Original Article
292	Sakurai Y, Ambo S, Nakamura M et al.	放射線治療科	Development of a prediction model for target positioning by using diaphragm waveforms extracted from CBCT projection images	Journal of applied clinical medical physics • 20230806. 2023 Nov; 24(11):e14112	Original Article
293	Nakamura M, Zhou D, Minemura T et al.	放射線治療科	A virtual audit system for intensity–modulated radiation therapy credentialing in Japan Clinical Oncology Group clinical trials: A pilot study	Journal of applied clinical medical physics • 20230601. 2023 Jun; 24(6):e14040	Original Article
294	Sakanaka K.	放射線治療科	Treatment strategy for early–stage esophageal cancer	Japanese journal of radiology • 20240315. 2024 Jul; 42(7):677–684	Original Article
295	Nishikawa Y, Agatsuma N, Utsumi T et al.	放射線治療科	Medical care costs according to the stage and subtype of breast cancer in a municipal setting: a case study of Hachioji City, Japan	Breast cancer (Tokyo, Japan) • 20240101. 2024 Jan; 31(1):105–115	Original Article
296	Torizuka D, Uto M, Mizowaki T.	放射線治療科	Dosimetric impact of adding non–coplanar arcs for scalp–avoidance whole–brain irradiation with volumetric–modulated arc radiotherapy on scalp dose reduction in pediatric patients with medulloblastomas	Journal of Applied Clinical Medical Physics • 20240201. 2024 Feb; 25(2):e14189	Original Article
297	Kido T, Ono T, Nakamura M et al.	放射線治療科	Development and multi–institutional evaluation of a new phantom for verifying beam–positioning errors at off–isocenter positions	Physica Medica • 20230801. 2023 Aug; 112:102645	Original Article
298	Sano T, Aizawa R, Ito K et al.	放射線治療科	Efficacy and Tolerability of Second–line Pembrolizumab With Radiation Therapy in Advanced Urothelial Carcinoma	Anticancer research • 20230501. 2023 May; 43(5):2119–2126	Original Article

299	Iramina H, Nakamura M, Nakamura K et al.	放射線治療科	Quantification of six-degree-of-freedom motion during beam delivery in spine stereotactic body radiotherapy using intra-irradiation cone-beam computed tomography imaging technique	Physica medica : PM : an international journal devoted to the applications of physics to medicine and biology : official journal of the Italian Association of Biomedical Physics (AIFB)•20230601. 2023 Jun;110:102605	Original Article
300	Ono T, Hirashima H, Adachi T et al.	放射線治療科	Influence of dose calculation algorithms on the helical diode array using volumetric-modulated arc therapy for small targets	Journal of applied clinical medical physics•20240216. 2024 Jul;25(7):e14307	Original Article
301	Ogawa A, Yoshimura M, Nakamura M et al.	放射線治療科	Correction: Impact of planning organ at risk volume margins and matching method on late gastrointestinal toxicity in moderately hypofractionated IMRT for locally advanced pancreatic ductal adenocarcinoma	Radiation oncology (London, England)•20230823. 2023 Aug;18(1):139	Original Article
302	Inoue M, Iizuka Y, Nakamura K et al.	放射線治療科	Role of albumin Cys34 redox state in the progression of differentiated thyroid carcinoma and induction of ferroptosis	Free radical biology & medicine•20231120. 2023 Nov;209(Pt 1):108-115	Original Article
303	Kishi N, Yoneyama M, Inoo H et al.	放射線治療科	Protocol of a phase II study to evaluate the efficacy and safety of deep-inspiration breath-hold daily online adaptive radiotherapy for centrally located lung tumours (PUDDING study)	Radiation oncology (London, England)•20240308. 2024 Mar;19(1):32	Original Article
304	Ogata T, Aizawa R, Nakamura K et al.	放射線治療科	Impact of Long-term Adjuvant Hormonal Therapy in High-dose IMRT for Unfavorable Locally Advanced Prostate Cancer	Anticancer research•20230801. 2023 Aug;43(8):3589-3596	Original Article
305	Sasaki M, Nakamura M, Ashida R et al.	放射線治療科	Assessing target localization accuracy across different soft-tissue matching protocols using end-exhalation breath-hold cone-beam computed tomography in patients with pancreatic cancer	Journal of radiation research•20230619. 2023 Jul;64(4):711-719	Original Article
306	Sasaki M, Matsushita N, Fujimoto T et al.	放射線治療科	New patient setup procedure using surface-guided imaging to reduce body touch and skin marks in whole-breast irradiation during the COVID-19 pandemic	Radiol Phys Technol .•20230901. 2023 Sep;16(3):422-429	Original Article
307	Ogawa A, Yoshimura M, Nakamura M et al.	放射線治療科	Impact of planning organ at risk volume margins and matching method on late gastrointestinal toxicity in moderately hypofractionated IMRT for locally advanced pancreatic ductal adenocarcinoma	Radiation oncology (London, England)•20230619. 2023 Jun;18(1):103	Original Article
308	Fushimi Y, Nakajima S.	放射線診断科	Can we distinguish atypical primary brain lymphoma from glioblastoma multiforme by looking at the non-enhancing tumor?	European Radiology•20230522. 2023 Aug;33(8):5355-5356	Original Article
309	Iima M, Sakamoto R, Kakigi T et al.	放射線診断科	The Efficacy of CT Temporal Subtraction Images for Fibrodysplasia Ossificans Progressiva	Tomography (Ann Arbor, Mich.)•20230403. 2023 Apr;9(2):768-775	Original Article
310	Kataoka M.	放射線診断科	Ultrafast DCE-MRI as a new tool for treatment response prediction in neoadjuvant chemotherapy of breast cancer	Diagnostic and interventional imaging•20230921. 2023 Dec;104(12):565-566	Original Article
311	Kataoka M, Honda M.	放射線診断科	Multiparametric MRI and Radiomics to Predict HER2-Low Cancer: The Potential Therapeutic Impact	Radiology•20230801. 2023 Aug;308(2):e231649	Original Article
312	Toi M, Kinoshita T, Benson JR et al.	放射線診断科	Non-surgical ablation for breast cancer: an emerging therapeutic option	The Lancet. Oncology•20240301. 2024 Mar;25(3):e114-e125	Original Article
313	Yuge S, Miyake KK, Kataoka M et al.	放射線診断科	Response to the letter to the editor	Annals of nuclear medicine•20231101. 2024 Jan;38(1):83-84	Original Article

314	Utsunomiya Y, Miyake KK, Fukushima S et al.	放射線診断科	(18)F-FDG PET/CT in left atrial undifferentiated pleomorphic sarcoma with osteosarcomatous differentiation	J Cardiology Cases•20230927. 2023 Sep; 29(1):30-34	Original Article
315	Kabashima K, Fujimoto M, Ohyama M et al.	皮膚科	ISID 2023: Celebrating the success and impact of international collaboration in dermatological research from JSID's perspective	Journal of dermatological science•20230819. 2023 Sep;111(3):78-82	Original Article
316	Yonekura S, Endo Y, Fujii H et al.	皮膚科	Clinical benefit of switching from paclitaxel to docetaxel or vice versa in cutaneous angiosarcoma patients resistant to first taxane chemotherapy	The Journal of dermatology•20230703. 2023 Nov;50(11):1493-1496	Original Article
317	de Jesus CS, Yonekura S, Nomura T et al.	皮膚科	Serum thymus and activation-regulated chemokine is a surrogate marker for bullous pemphigoid disease activity	Journal of the European Academy of Dermatology and Venereology : JEADV• 20230428. 2023 Sep;37(9):e1125-e1127	Original Article
318	Ishida Y, Saeki K, Ueda M et al.	皮膚科	CYP4F22 p.V215D is a novel variant causative for lamellar ichthyosis	Journal of the European Academy of Dermatology and Venereology•20231207. 2024 Jun;38(6):e493-e495	Original Article
319	Senda A, Kaku Y, Komori T et al.	皮膚科	Recurrent cutaneous squamous cell carcinoma in the occipital scalp with clinical perineural invasion developing jugular foramen syndrome	JAAD Case Reports•20230601. 2023 Jun; 38:35-37	Original Article
320	Nakamizo S, Sugiura Y, Ishida Y et al.	皮膚科	Activation of the pentose phosphate pathway in macrophages is crucial for granuloma formation in sarcoidosis	The Journal of clinical investigation• 20231201. 2023 Dec;133(23):e171088	Original Article
321	Usui K, Nakashima C, Takahashi S et al.	皮膚科	TRPV1-positive sensory nerves and neuropeptides are involved in epidermal barrier repair after tape stripping in mice	Journal of Allergy and Clinical Immunology• 20231101. 2024 Mar;153(3):868-873	Original Article
322	Nakamizo S, Murata T, Ishida Y et al.	皮膚科	A Japanese case of Vörner-type palmoplantar keratoderma caused by a novel KRT1 variant	The Journal of Dermatology•20230901. 2023 Sep;50(9):e307-e308	Original Article
323	Nakajima S, Yonekura S, Nakamizo S et al.	皮膚科	Dupilumab as a novel treatment option for prurigo nodularis	The Journal of allergy and clinical immunology•20230823. 2023 Oct; 152(4):870-872	Original Article
324	Senda A, Shibuya R, Miyake T et al.	皮膚科	Alopecia areata in a patient with cytotoxic T lymphocyte antigen-4 haploinsufficiency successfully treated with topical delgocitinib ointment	Journal of the European Academy of Dermatology and Venereology : JEADV• 20230818. 2024 Jan;38(1):e51-e53	Original Article
325	Keith YH, Egawa G, Honda T et al.	皮膚科	Mast cells in type 2 skin inflammation: Maintenance and function	European journal of immunology•20230801. 2023 Aug;53(8):e2250359	Original Article
326	Masuda T, Yonekura S, Kataoka K et al.	皮膚科	Psoriasis-like lesions in an atopic dermatitis patient possibly associated with nemolizumab treatment	The Journal of Dermatology•20231227. 2024 Jun;51(6):e193-e195	Original Article
327	Nakamizo S, Kabashima K.	皮膚科	Metabolic reprogramming and macrophage polarization in granuloma formation	International Immunology•20240305. 2024 Jun;36(7):329-338	Original Article
328	Yonekura S, Egawa G, Komori T et al.	皮膚科	Multiple Bowen's disease on the finger associated with human papillomavirus type 34	Skin Health and Disease•20230501. 2023 May;3(4):e238	Original Article

329	Miyata J, Sasamoto A, Ezaki T et al.	精神科神経科	Associations of conservatism and jumping to conclusions biases with aberrant salience and default mode network	Psychiatry and clinical neurosciences • 20240227. 2024 May;78(5):322–331	Original Article
330	Kawashima H, Yamasaki S, Kubota M et al.	精神科神経科	Commonalities and differences in ECT-induced gray matter volume change between depression and schizophrenia	NeuroImage: Clinical • 20230501. 2023 0; 38:103429	Original Article
331	Li H, Kawatake-Kuno A, Inaba H et al.	精神科神経科	Discrete prefrontal neuronal circuits determine repeated stress-induced behavioral phenotypes in male mice	Neuron • 20240101. 2024 Mar;112(5):786–804	Original Article
332	Son S, Arai M, Toriumi K et al.	精神科神経科	Association between enhanced carbonyl stress and decreased apparent axonal density in schizophrenia by multimodal white matter imaging	Scientific reports • 20230727. 2023 Jul; 13(1):12220	Original Article
333	Tei S, Itahashi T, Aoki YY et al.	精神科神経科	Neural correlates of perceptual switching and their association with empathy and alexithymia in individuals with and without autism spectrum disorder	Journal of Psychiatric Research • 20230626. 2023 Aug;164:322–328	Original Article
334	Kubota M, Endo H, Takahata K et al.	精神科神経科	In vivo PET classification of tau pathologies in patients with frontotemporal dementia	Brain Communications • 20240301. 2024 Mar; 6(2):fcae075	Original Article
335	Kawatake-Kuno A, Li H, Inaba H et al.	精神科神経科	Sustained antidepressant effects of ketamine metabolite involve GABAergic inhibition-mediated molecular dynamics in aPVT glutamatergic neurons	Neuron • 20240201. 2024 Apr;112(8):1265–1285	Original Article
336	Tose K, Takamura T, Isobe M et al.	精神科神経科	Systematic reduction of gray matter volume in anorexia nervosa, but relative enlargement with clinical symptoms in the prefrontal and posterior insular cortices: a multicenter neuroimaging study	Molecular Psychiatry • 20240122. 2024 Apr; 29(4):891–901	Original Article
337	Inaba H, Li H, Kawatake-Kuno A et al.	精神科神経科	GPCR-mediated calcium and cAMP signaling determines psychosocial stress susceptibility and resiliency	Science Advances • 20230407. 2023 Apr; 9(14):eade5397	Original Article
338	Zhang Y, Tanabe N, Sato S et al.	リハビリテーション科	Longitudinal changes in respiratory reactivity in patients with COPD: associations with longitudinal change in air-trapping, exacerbations, and mortality	Respiratory physiology & neurobiology • 20240116. 2024 Apr;322:104216	Original Article
339	Terada S, Tanabe N, Maetani T et al.	リハビリテーション科	Association of age with computed tomography airway tree morphology in male and female never smokers without lung disease history	Respiratory medicine • 20230801. 2023 Aug; 214:107278	Original Article
340	Tanabe N.	リハビリテーション科	Increase Attention to Computed Tomography Findings of Emphysema without Airflow Limitation: Small Airway Disease Is Already There	American journal of respiratory and critical care medicine • 20240111. 2024 Mar; 209(6):619–621	Original Article
341	Hayashi Y, Tanabe N, Matsumoto H et al.	リハビリテーション科	Associations of fractional exhaled nitric oxide with airway dimension and mucus plugs on ultra-high-resolution computed tomography in former smokers and nonsmokers with asthma	Allergology international : official journal of the Japanese Society of Allergology • 20240224. 2024 Jul;73(3):397–405	Original Article
342	Hamada R, Kawano T, Murao M et al.	リハビリテーション科	What are the differences in the recovery of physical function and clinical score between patients with steroid-related osteonecrosis of the femoral head and hip osteoarthritis undergoing total hip arthroplasty? A propensity score-matched study	International orthopaedics • 20240228. 2024 May;48(5):1233–1239	Original Article
343	Nishikawa A, Ito I, Yonezawa A et al.	リハビリテーション科	Pharmacokinetics of GS-441524, the active metabolite of remdesivir, in patients receiving continuous renal replacement therapy: A case series	Journal of infection and chemotherapy : official journal of the Japan Society of Chemotherapy • 20231021. 2024 Apr; 30(4):348–351	Original Article

344	Oshima Y, Sato S, Chen-Yoshikawa TF et al.	リハビリテーション科	Perioperative changes in radiographic density in erector spinae muscle and mortality after lung transplantation	Respiratory medicine•20231204. 2024 Jan; 221:107482	Original Article
345	Tanaka H, Kitamura G, Tamura M et al.	リハビリテーション科	Pre-stroke physical activity is associated with post-stroke physical activity and sedentary behavior in the acute phase	Scientific reports•20231202. 2023 Dec; 13(1):21298	Original Article
346	Tanabe N, Sato S, Shimada T et al.	リハビリテーション科	A reference equation for lung volume on computed tomography in Japanese middle-aged and elderly adults	Respiratory investigation•20231214. 2024 Jan;62(1):121-127	Original Article
347	Kawano T, Nankaku M, Muraio M et al.	リハビリテーション科	Association of physical activity with fatty infiltration of muscles after total hip arthroplasty	Skeletal radiology•20231124. 2024 May; 53(5):967-974	Original Article
348	Kataoka Y, Tanabe N, Shirata M et al.	リハビリテーション科	Artificial intelligence-based analysis of the spatial distribution of abnormal computed tomography patterns in SARS-CoV-2 pneumonia: association with disease severity	Respiratory research•20240110. 2024 Jan; 25(1):24	Original Article
349	Nakao K, Nishikori M, Fujimoto M et al.	病理診断科	Concurrent development of small lymphocytic lymphoma and lung cancer: A report of two cases and a review of the literature	Journal of clinical and experimental hematopathology : JCEH•20230628. 2023 Jun;63(2):132-138	Original Article
350	Terada K, Yoshizawa A, Liu X et al.	病理診断科	Deep Learning for Predicting Effect of Neoadjuvant Therapies in Non-Small Cell Lung Carcinomas With Histologic Images	Modern Pathology•20231101. 2023 Nov; 36(11):100302	Original Article
351	Fujimoto M, Miyake T, Kaku Y et al.	病理診断科	Cutaneous arteritis with intimal fibrin ring and immature myeloid cell infiltrate: lymphocytic thrombophilic arteritis or histiocytoid polyarteritis nodosa?	Virchows Archiv : an international journal of pathology•20230601. 2023 Jun;482(6):1079-1083	Original Article
352	Kataoka A, Mizumoto C, Kanda J et al.	病理診断科	Successful azacitidine therapy for myelodysplastic syndrome associated with VEXAS syndrome	International journal of hematology•20230601. 2023 Jun;117(6):919-924	Original Article
353	Hattori R, Irie K, Mori T et al.	デイ・ケア診療部	Sensory processing, autonomic nervous function, and social participation in people with mental illnesses	Hong Kong Journal of Occupational Therapy•20230514. 2023 Jun;36(1):39-47	Original Article
354	Hoki M, Yamada Y, Hiratomo E et al.	臓器移植医療部	Expression of FOXI1 and POU2F3 varies among different salivary gland neoplasms and is higher in Warthin tumor	Discover Oncology•20240215. 2024 Feb; 15(1):36	Original Article
355	Uemoto Y, Taura K, Yamada Y et al.	臓器移植医療部	A Rare Case of Donor-Origin Intrahepatic Cholangiocarcinoma After Liver Transplantation for Hepatocellular Carcinoma: A Case Report	Transplantation Proceedings•20231001. 2023 Oct;55(8):1964-1967	Original Article
356	Yamada Y, Haga H.	臓器移植医療部	Pathological snapshots of thymic epithelial tumors with invasion into neighboring structures: preparing for the forthcoming revision of the TNM classification	Mediastinum•20231201. 2023 Sep; 0.3166666666666667	Original Article
357	Okamoto T, Okajima H, Ogawa E et al.	臓器移植医療部	Two Cases of Possible Exacerbation of Chronic Rejection After Anti-SARS-CoV-2 Messenger RNA Vaccination: A Case Report	Transplantation Proceedings•20230401. 2023 Apr;55(3):530-532	Original Article
358	Yamada Y.	臓器移植医療部	Histogenetic and disease-relevant phenotypes in thymic epithelial tumors (TETs): The potential significance for future TET classification	Pathol Int•20230701. 2023 Jul;73(7):265-280	Original Article

359	Sugimoto A, Fujimoto M, Masuo Y et al.	臓器移植医療部	A Case of Biphenotypic Adnexal Carcinoma With Bowenoid and Basaloid Features: Focus on the Expression of SOX9 and Wnt Signaling Pathway Molecules, Including CDX2	The American Journal of Dermatopathology•20231201. 2023 Dec;45(12):835-838	Original Article
360	Murakami T, Nakamura T, Fujimoto H et al.	臓器移植医療部	Noninvasive evaluation of donor and native pancreases following simultaneous pancreas-kidney transplantation using positron emission tomography/computed tomography	Journal of diabetes investigation•20230628. 2023 Oct;14(10):1187-1191	Original Article
361	Yamada Y, Simon R, Iwane K et al.	臓器移植医療部	An exploratory study for tuft cells in the breast and their relevance in triple-negative breast cancer: the possible relationship of SOX9	BMC cancer•20230513. 2023 May;23(1):438	Original Article
362	Inoguchi K, Anazawa T, Fujimoto N et al.	臓器移植医療部	Impact of Prevascularization on Immunological Environment and Early Engraftment in Subcutaneous Islet Transplantation	Transplantation•20240109. 2024 May;108(5):1115-1126	Original Article
363	Utsumi T, Yamada Y, Diaz-Meco MT et al.	臓器移植医療部	Sessile serrated lesions with dysplasia: is it possible to nip them in the bud?	Journal of Gastroenterology•20230523. 2023 Aug;58(8):705-717	Original Article
364	Nakagawa R, Minamiguchi S, Kataoka TR et al.	臓器移植医療部	Circularity of islets is a distinct marker for the pathological diagnosis of adult non-neoplastic hyperinsulinemic hypoglycemia using surgical specimens	Diagnostic Pathology•20231020. 2023 Oct;18(1):115	Original Article
365	Nagai K, Masui T, Anazawa T et al.	臓器移植医療部	Preoperative Endoscopic Minor Papilla Sphincterotomy for Pancreas Divisum in a Patient with Pancreatic Cancer Who Underwent Laparoscopic Distal Pancreatectomy	Annals of Surgical Oncology•20231101. 2023 Nov;30(12):7756-7757	Original Article
366	Araki O, Tsuda M, Omatsu M et al.	がんセンター	Brg1 controls stemness and metastasis of pancreatic cancer through regulating hypoxia pathway	Oncogene•20230518. 2023 Jun;42(26):2139-2152	Original Article
367	Namikawa M, Fukuda A, Mizukoshi K et al.	がんセンター	Simultaneous activation of Kras-Akt and Notch pathways induces extrahepatic biliary cancer via the mTORC1 pathway	The Journal of pathology•20230613. 2023 Aug;260(4):478-492	Original Article
368	Omatsu M, Nakanishi Y, Iwane K et al.	がんセンター	THBS1-producing tumor-infiltrating monocyte-like cells contribute to immunosuppression and metastasis in colorectal cancer	Nature communications•20230925. 2023 Sep;14(1):5534	Original Article
369	Murakami K, Watanabe R, Fujisaki T et al.	リウマチセンター	Predictive value of baseline concomitant glucocorticoid for abatacept-mediated long-term inhibition of radiographic progression: insights from the KURAMA cohort	Immunological medicine•20240301. 2024 Mar;47(1):45-51	Original Article
370	Masui S, Yonezawa A, Nakamura M et al.	リウマチセンター	Serum Concentrations of Infliximab and IL-6 for Predicting One-Year Discontinuation of Infliximab Treatment Owing to Secondary Non-response in Patients with Rheumatoid Arthritis	Biological & pharmaceutical bulletin•19050715. 2023 0;46(8):1112-1119	Original Article
371	Iwasaki T, Watanabe R, Ito H et al.	リウマチセンター	Monocyte-derived transcriptomes explain the ineffectiveness of abatacept in rheumatoid arthritis	Arthritis Res Ther•20240102. 2024 Jan;26(1):1	Original Article
372	Nishikawa S, Miki M, Chigusa Y et al.	総合周産期母子医療センター	Obstetric pelvimetry by three-dimensional computed tomography in non-pregnant Japanese women: a retrospective single-center study	The journal of maternal-fetal & neonatal medicine : the official journal of the European Association of Perinatal Medicine, the Federation of Asia and Oceania Perinatal Societies, the International Society of Perinatal Obstetricians•20231201. 2023 Dec;36(1):2190444	Original Article
373	Yu S, Tani H, Chigusa Y et al.	総合周産期母子医療センター	Residual amniotic fluid volume predicts the sealing of preterm prelabor rupture of fetal membranes in the pre- and periviable period	Taiwanese journal of obstetrics & gynecology•20230701. 2023 Jul;62(4):543-546	Original Article

374	Koyama M, Taki M, Okamoto H et al.	総合周産期母子医療センター	Characteristics of pregnancy complicated with type 1 and type 2 diabetes	Taiwanese journal of obstetrics & gynecology•20230901. 2023 Sep;62(5):655-660	Original Article
375	Akaguma A, Ishii T, Uchida Y et al.	総合周産期母子医療センター	Laparoscopic resection for pedunculated focal nodular hyperplasia of the liver during pregnancy	Oxford medical case reports•20230601. 2023 Jun;2023(6):omad054	Original Article
376	Inohaya A, Chigusa Y, Takakura M et al.	総合周産期母子医療センター	Shear stress in the intervillous space promotes syncytial formation of iPS cells-derived trophoblasts†	Biology of reproduction•20231031. 2024 Feb;110(2):300-309	Original Article
377	Ueda Y, Mogami H, Chigusa Y et al.	総合周産期母子医療センター	Hyposecretion of cervical MUC5B is related to preterm birth in pregnant women after cervical excisional surgery	American journal of reproductive immunology (New York, N.Y. : 1989)•20240301. 2024 Mar;91(3):e13832	Original Article
378	Shibata S, Arai Y, Kondo T et al.	検査部	Advantages of Higher Busulfan Dose Intensity in Fludarabine-Combined Conditioning for Patients with Acute Myeloid Leukemia Undergoing Cord Blood Transplantation	Transplantation and cellular therapy•20230501. 2023 May;29(5):332	Original Article
379	Jo T, Arai Y, Kitawaki T et al.	検査部	KyoTox-e score; prediction of post-CAR-T prolonged thrombocytopenia using peripheral blood data before apheresis	Bone Marrow Transplantation•20231219. 2024 Mar;59(3):419-421	Original Article
380	Gomi R, Matsumura Y, Yamamoto M et al.	検査部	Genomic surveillance of antimicrobial-resistant Escherichia coli in fecal sludge and sewage in Uganda	Water Research•20240101. 2024 Jan;248:120830	Original Article
381	Fujimoto K, Kameda Y, Nagano Y et al.	検査部	SARS-CoV-2-induced disruption of a vascular bed in a microphysiological system caused by type-I interferon from bronchial organoids	Lab on a chip•20240122. 2024 Aug;24(16):3863-3879	Original Article
382	Kato ET, Sato J.	検査部	Addressing health and demographic challenges in Japan's ageing society	The lancet. Diabetes & endocrinology•20230801. 2023 Aug;11(8):543-544	Original Article
383	Jo T, Ueda T, Akahoshi Y et al.	検査部	First complete remission favours haploidentical haematopoietic stem cell transplantation with post-transplant cyclophosphamide over cord blood transplantation in acute lymphoblastic leukaemia	Br J Haematol•20240229. 2024 May;204(5):1913-1919	Original Article
384	Ikeguchi R, Aoyama T, Noguchi T et al.	検査部	Peripheral nerve regeneration following scaffold-free conduit transplant of autologous dermal fibroblasts: a non-randomised safety and feasibility trial	Communications medicine•20240126. 2024 Jan;4(1):12	Original Article
385	Matsumura Y, Noguchi T, Shinohara K et al.	検査部	Development and evaluation of three automated media pooling and molecular diagnostic systems for the detection of SARS-CoV-2	Microbiology spectrum•20240130. 2024 Mar;12(3):e0368423	Original Article
386	Wada F, Kanda J, Kamijo K et al.	検査部	Mild Acute Graft-Versus-Host Disease Improves Outcomes After HLA-Haploidentical-Related Donor Transplantation Using Posttransplant Cyclophosphamide and Cord Blood Transplantation	Cell transplantation•20231201. 2023 Jan;32:9636897231194497	Original Article
387	Kato ET, Lewis BS, Ono K.	検査部	GLP-1 receptor agonists: new game changing drugs in patients with heart failure with preserved ejection fraction and obesity	European Heart Journal - Cardiovascular Pharmacotherapy•20230930. 2023 Dec;9(8):679-680	Original Article
388	Murao M, Kondo T, Hamada R et al.	検査部	Minimal important difference of the 6-minute walk test after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation	Disability and rehabilitation•20230813. 2024 Jul;46(15):3449-3456	Original Article

389	Nakamura N, Jo T, Arai Y et al.	検査部	Clinical Impact of Cytokine Release Syndrome on Prolonged Hematotoxicity after Chimeric Antigen Receptor T Cell Therapy: KyoTox A-Score, a Novel Prediction Model	Transplantation and cellular therapy • 20240126. 2024 Apr; 30(4):404-414	Original Article
390	Katada Y, Nakagawa S, Nagao M et al.	検査部	Trough ganciclovir concentration as predictor of leukopenia in lung transplant recipients receiving valganciclovir prophylaxis	Transplant Infectious Disease • 20230828. 2023 Dec; 25(6):e14141	Original Article
391	Nagao M, Matsumura Y, Yamamoto M et al.	検査部	Incidence of and risk factors for suspected COVID-19 reinfection in Kyoto City: a population-based epidemiological study	European journal of clinical microbiology & infectious diseases : official publication of the European Society of Clinical Microbiology • 20230605. 2023 Aug; 42(8):973-979	Original Article
392	Toratani K, Watanabe M, Kanda J et al.	検査部	Unrelated hematopoietic stem cell transplantation for familial platelet disorder/acute myeloid leukemia with germline RUNX1 mutations	International Journal of Hematology • 20230901. 2023 Sep; 118(3):400-405	Original Article
393	Yukawa S, Noguchi T, Shinohara K et al.	検査部	Characteristics and outcomes in adult patients with Staphylococcus lugdunensis bacteremia compared to patients with Staphylococcus epidermidis and Staphylococcus aureus bacteremia: a retrospective study in a 16-year period at the university hospital, Japa	BMC infectious diseases • 20230501. 2023 May; 23(1):269	Original Article
394	Hashimoto R, Tamura T, Watanabe Y et al.	検査部	Evaluation of Broad Anti-Coronavirus Activity of Autophagy-Related Compounds Using Human Airway Organoids	Molecular pharmaceutics • 20230403. 2023 Apr; 20(4):2276-2287	Original Article
395	Nishimura N, Niwamoto T, Arai Y et al.	検査部	Other iatrogenic immunodeficiency-associated lymphoproliferative disorders in a patient with anti-melanoma differentiation-associated gene 5-positive dermatomyositis: A case report and systematic literature review	International journal of rheumatic diseases • 20230601. 2023 Jun; 26(6):1172-1177	Original Article
396	Morita-Fujita M, Shindo T, Iemura T et al.	検査部	Epitope Mismatch at HLA-DRB1 Associates with Reduced Relapse Risk in Cord Blood Transplantation for Standard-Risk Hematologic Malignancy	Transplantation and Cellular Therapy • 20230601. 2023 Jun; 29(6):347	Original Article
397	Shinohara K, Itoi S, Nakamura S et al.	検査部	Micafungin-breakthrough Coniochaeta hoffmannii (Lecytophora hoffmannii) fungemia following cord blood transplant in a patient with acute myeloid leukemia successfully treated with voriconazole	Journal of Infection and Chemotherapy • 20240201. 2024 Sep; 30(9):934-937	Original Article
398	Nagano H, Shin JH, Kunisawa S et al.	検査部	Corrigendum to "Impact of the cefazolin shortage on the selection and cost of parenteral antibiotics during the supply disruption period in Japan: A controlled interrupted time series analysis" J Infect Public Health 16 (2023) 467-473	Journal of infection and public health • 20231101. 2023 Nov; 16(11):1892	Original Article
399	Wada F, Arai Y, Jo T et al.	検査部	Impact of Antimicrobial Drug-Drug Interactions on Acute Kidney Injury after Allogeneic Hematopoietic Cell Transplantation	Transplantation and Cellular Therapy • 20230701. 2023 Oct; 29(10):634	Original Article
400	Yamamoto Y, Okawa M, Suzuki K et al.	検査部	Continuous and Early Progression of Carotid Intima-Media Thickness after Radiotherapy for Head and Neck Cancer: 5-Year Prospective Observational Study	CEREBROVASCULAR DISEASES • 20231001. 2023 0; 52(5):543-551	Original Article
401	Jo T, Arai Y, Kitawaki T et al.	検査部	Risk analysis of fluctuating hypercalcemia after leukapheresis in cellular therapy	Scientific Reports • 20230911. 2023 Sep; 13(1):14952	Original Article
402	Jo T, Yoshihara S, Okuyama Y et al.	検査部	Risk factors for CAR-T cell manufacturing failure among DLBCL patients: A nationwide survey in Japan	British Journal of Haematology • 20230425. 2023 Jul; 202(2):256-266	Original Article
403	Kato ET, Ono K, Lewis BS.	検査部	SGLT2 inhibitors in acute myocardial infarction: what can we learn from the DAPA-MI trial? More news from American Heart Association Scientific Meeting	European Heart Journal – Cardiovascular Pharmacotherapy • 20231207. 2024 Feb; 10(2):95-97	Original Article

404	Nakamura N, Jo T, Arai Y et al.	検査部	Benefits of plerixafor for mobilization of peripheral blood stem cells prior to autologous transplantation: a dual-center retrospective cohort study	Cytotherapy•20230701. 2023 Jul;25(7):773-781	Original Article
405	Hamada R, Murao M, Asano T et al.	検査部	Pre-transplant phase angle as a potential marker for predicting the development of infection after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation	Clinical Nutrition ESPEN•20230901. 2023 Dec;58:122-127	Original Article
406	Matsumura Y, Nakazaki T, Kitamori K et al.	検査部	Development and evaluation of the automated multipurpose molecular testing system PCRpack for high-throughput SARS-CoV-2 testing	Microbiology spectrum•20231212. 2023 Dec;11(6):e0271623	Original Article
407	Nabatame M, Takeuchi M, Takeda C et al.	手術部	Association between sedation during spinal anesthesia and mortality in older patients undergoing hip fracture surgery: A nationwide retrospective cohort study in Japan	Journal of clinical anesthesia•20240201. 2024 Feb;92:111322	Original Article
408	Kagawa T, Kurahashi K, Seki T et al.	手術部	The association between intraoperative anesthesia methods used during gastric cancer surgery and long-term mortality: A retrospective observational study using a Japanese claims database	Journal of anesthesia•20231215. 2024 Feb;38(1):92-97	Original Article
409	Kawata M, Yonezawa A, Mineharu Y et al.	手術部	Development of extended pharmacokinetic models for propofol based on measured blood and brain concentrations	Scientific reports•20240315. 2024 Mar;14(1):6326	Original Article
410	Hashimoto K, Matsumoto T, Mizota T et al.	手術部	Remimazolam in perioperative management of Eisenmenger syndrome: a case report	JA clinical reports•20240202. 2024 Feb;10(1):7	Original Article
411	Dong L, Takeda C, Kamitani T et al.	手術部	Association between intraoperative end-tidal carbon dioxide and postoperative organ dysfunction in major abdominal surgery: A cohort study	PloS one•20230510. 2023 Mar;18(3):e0268362	Original Article
412	Hiraoka S, Yoshimura M, Nakajima A et al.	放射線部	Long-term outcomes of stimulated salivary flow and xerostomia after definitive intensity-modulated radiation therapy for patients with head and neck cancer†	Journal of radiation research•20240119. 2024 Jan;65(1):71-77	Original Article
413	Shirai Y, Suwa T, Kobayashi M et al.	放射線部	DDX5 enhances HIF-1 activity by promoting the interaction of HIF-1 $\alpha$ with HIF-1 $\beta$ and recruiting the resulting heterodimer to its target gene loci	Biol Cell•20240201. 2024 Feb;116(2):e2300077	Original Article
414	Koyasu S, Sakurada H, Nakamoto Y.	放射線部	Letter regarding the article "Frequency and Imaging Features of Adjacent Osseous Changes of Salivary Gland Carcinomas in the Head and Neck Region" by Horiuchi and Shimono et al	Neuroradiology•20230901. 2023 Sep;65(9):1315	Original Article
415	Takamura T, Koyasu S, Sugimoto A et al.	放射線部	Hyalinizing Clear Cell Carcinoma in the Sphenoid Sinus	Clinical nuclear medicine•20240301. 2024 Mar;49(3):287-288	Original Article
416	Himoto Y, Yamanoi K, Kurata Y.	放射線部	Survival impact of the degree of parametrial invasion on MRI in locally advanced cervical cancer	European Radiology•20231213. 2024 Jun;34(6):4001-4002	Original Article
417	Nikaido M, Takimoto T, Sakurai T et al.	病理部	Gastric juvenile polyposis syndrome with inflammatory changes in the intervening mucosa	Pathology international•20230809. 2023 Nov;73(11):566-569	Original Article
418	Kondo T, Kanai M, Matsubara J et al.	内視鏡部	Association between homologous recombination gene variants and efficacy of oxaliplatin-based chemotherapy in advanced pancreatic cancer: prospective multicenter observational study	Medical oncology (Northwood, London, England)•20230411. 2023 Apr;40(5):144	Original Article

419	Nakamura T, Nishikawa Y, Shiokawa M et al.	内視鏡部	ELF3 suppresses gallbladder cancer development through downregulation of the EREG/EGFR/mTOR complex 1 signalling pathway	The Journal of Pathology•20230622. 2023 Sep;261(1):28-42	Original Article
420	Hada H, Hiragi S, Mori Y et al.	医療情報企画部	Reduction in X-ray Retake Rate Using the Token Economy Method	Studies in health technology and informatics•20230518. 2023 May;302:486-487	Original Article
421	Yokoyama K, Yamamoto G, Liu C et al.	医療情報企画部	Individual Activity Anomaly Estimation in Operating Rooms Based on Time-Sequential Prediction	Studies in health technology and informatics•20240125. 2024 Jan;310:284-288	Original Article
422	Izawa T, Kobayashi A, Kawashima M et al.	医療情報企画部	Quantitative analysis of the effect of docetaxel-induced edema on quality of life in patients with breast cancer and related factors: a prospective cohort study	BMC women's health•20240307. 2024 Mar;24(1):165	Original Article
423	Saito K, Kobayashi S, Tsutsumi T et al.	医療情報企画部	Defining the Standard of the Terminology of the Mechanical Ventilation Data in Japan	Studies in Health Technology and Informatics•20240125. 2024 Jan;310:1343-1344	Original Article
424	Uematsu H, Saito C, Kondo J et al.	医療情報企画部	De-differentiation in cultures of organoids from luminal-type breast cancer is restored by inhibition of NOTCH signaling	Human cell•20230827. 2023 Nov;36(6):2099-2112	Original Article
425	Kinoshita H, Nishigori T, Nakabe T et al.	医療安全管理部	Factors Associated With Postoperative Decisional Regret in Patients Undergoing Gastrointestinal Cancer Surgery: A Prospective Cohort Study	The American Surgeon™•20230714. 2023 Dec;89(12):6070-6077	Original Article
426	Kinoshita H, Nishigori T, Kunisawa S et al.	医療安全管理部	Identification of complications requiring interventions after gastrointestinal cancer surgery from real-world data: An external validation study	Annals of Gastroenterological Surgery•20230611. 2023 Jun;7(6):1032-1041	Original Article
427	Ohtera S, Kato G, Ueshima H et al.	診療報酬センター	Variation in Utilization of Postoperative Rehabilitation After Total Hip Arthroplasty in Japan	Archives of physical medicine and rehabilitation•20231025. 2024 May;105(5):850-856	Original Article
428	Ueda M, Kogame T, Egawa G et al.	総合臨床教育・研修センター	A case of Kimura disease with atopic dermatitis successfully treated with baricitinib	The Journal of Dermatology•20230601. 2023 Jun;50(6):e196-e197	Original Article
429	Kogame T, Egawa G, Kabashima K.	総合臨床教育・研修センター	Exploring the role of Janus kinase (JAK) in atopic dermatitis: a review of molecular mechanisms and therapeutic strategies	Immunological Medicine•20230703. 2023 Sep;46(3):112-120	Original Article
430	Takimoto-Ito R, Kambe N, Kogame T et al.	総合臨床教育・研修センター	Summary of the current status of clinically diagnosed cases of Schnitzler syndrome in Japan	Allergology International•20230401. 2023 Apr;72(2):297-305	Original Article
431	Hirano-Lotman Y, Kogame T, Kaku Y et al.	総合臨床教育・研修センター	Lymphedema-associated angiosarcoma uniquely localized on the left thigh and anterior abdominal wall secondary to central obesity and multiple surgeries	The Journal of Dermatology•20240301. 2024 Mar;51(3):e83-e85	Original Article
432	Hirata R, Yoshimura S, Kobayashi K et al.	総合臨床教育・研修センター	Differences between subclinical attention-deficit/hyperactivity and autistic traits in default mode, salience, and frontoparietal network connectivities in young adult Japanese	Scientific reports•20231113. 2023 Nov;13(1):19724	Original Article
433	Aoyama R, Tsunoda S, Okamura R et al.	先端医療研究開発機構	Comparison of Minimally Invasive Surgery with Open Surgery for Remnant Gastric Cancer: A Multi-institutional Cohort Study	Annals of surgical oncology•20230601. 2023 Jun;30(6):3605-3614	Original Article

434	Nishikawa R, Kato T, Morimoto T et al.	先端医療研究開発機構	The characteristics and outcomes in patients with acute heart failure who used tolvaptan: from KCHF registry	ESC heart failure•20230901. 2023 Oct; 10(5):3141-3151	Original Article
435	Agatsuma N, Utsumi T, Nishikawa Y et al.	先端医療研究開発機構	Stage at diagnosis of colorectal cancer through diagnostic route: Who should be screened?	World journal of gastroenterology•20240314. 2024 Mar;30(10):1368-1376	Original Article
436	Honda M, Iima M.	先端医療研究開発機構	It Is Time to Use Apparent Diffusion Coefficient in Breast MRI Diagnostics	Radiology•20240201. 2024 Feb; 310(2):e240125	Original Article
437	Shiba M, Kato T, Morimoto T et al.	先端医療研究開発機構	Heterogeneity in Characteristics and Outcomes of Patients who met the Indications for Vericiguat Approved by the Japanese Agency: From the KCHF Registry	Journal of cardiac failure•20230401. 2023 Jun;29(6):976-978	Original Article
438	Jikihara S, Hoshino N, Hida K et al.	先端医療研究開発機構	Impact of the coronavirus disease 2019 pandemic on gastric and colorectal cancer surgeries: a multicenter epidemiologic study from the Kinki region of Japan	Surgery today•20240101. 2024 Jan; 54(1):86-89	Original Article
439	Minami T, Watanabe H, Kato T et al.	先端医療研究開発機構	Dexmedetomidine versus haloperidol for sedation of non-intubated patients with hyperactive delirium during the night in a high dependency unit: study protocol for an open-label, parallel-group, randomized controlled trial (DEX-HD trial)	BMC anesthesiology•20230603. 2023 Jun; 23(1):193	Original Article
440	Tsujioka Y, Yamashita Y, Morimoto T et al.	先端医療研究開発機構	Application of the RIETE score to identify low-risk patients with pulmonary embolism: From the COMMAND VTE Registry	Thrombosis research•20231201. 2023 Dec; 232:35-42	Original Article
441	Nishikawa Y, Horimatsu T, Oka S et al.	先端医療研究開発機構	Outcomes of Metastatic and Unresectable Small Bowel Adenocarcinoma in Japan According to the Treatment Strategy: A Nationwide Observational Study	JCO global oncology•20240201. 2024 Feb; 10:e2300392	Original Article
442	Shiba M, Kato T, Seko Y et al.	先端医療研究開発機構	Cobalt protoporphyrin promotes heme oxygenase 1 expression and ameliorates cardiac dysfunction in long-term fasting mice	Int J Cardiol. •20240301. 2024 Jun; 404:131972	Original Article
443	Kataoka M, Honda M, Sagawa H et al.	先端医療研究開発機構	Ultrafast Dynamic Contrast-Enhanced MRI of the Breast: From Theory to Practice	Journal of magnetic resonance imaging : JMRI•20231212. 2024 Aug;60(2):401-416	Original Article
444	Kataoka M, Iima M, Miyake KK et al.	先端医療研究開発機構	Multiparametric Approach to Breast Cancer With Emphasis on Magnetic Resonance Imaging in the Era of Personalized Breast Cancer Treatment	Investigative radiology•20231122. 2024 Jan; 59(1):26-37	Original Article
445	Ota R, Kataoka M, Iima M et al.	先端医療研究開発機構	Evaluation of breast lesions based on modified BI-RADS using high-resolution readout-segmented diffusion-weighted echo-planar imaging and T2/T1-weighted image	Magnetic resonance imaging•20230501. 2023 May;98:132-139	Original Article
446	Iima M, Yamamoto A.	先端医療研究開発機構	Editorial for "In Vivo Microstructure Imaging in Oropharyngeal Squamous Cell Carcinoma Using the Random Walk With Barriers Model"	Journal of Magnetic Resonance Imaging• 20230715. 2024 Mar; 59(3):939-940	Original Article
447	Seko Y, Kato T, Morimoto T et al.	先端医療研究開発機構	Weight loss during follow-up in patients with acute heart failure: From the KCHF registry	PloS one•20230601. 2023 Jun; 18(6):e0287637	Original Article
448	Nakagawa S, Shimazaki A, Funakoshi T et al.	先端医療研究開発機構	Effect of Severe Renal Dysfunction on the Plasma Levels of DNA-Reactive Platinum after Oxaliplatin Administration	Biological & pharmaceutical bulletin• 19050715. 2023 0;46(2):194-200	Original Article

449	Jo N, Hidaka Y, Kikuchi O et al.	次世代医療・iPS細胞治療研究センター	Impaired CD4(+) T cell response in older adults is associated with reduced immunogenicity and reactogenicity of mRNA COVID-19 vaccination	The Journal of Immunology•20230501. 2023 Jan;3(1):82-92	Original Article
450	Jo N, Hidaka Y, Kikuchi O et al.	次世代医療・iPS細胞治療研究センター	Author Correction: Impaired CD4(+) T cell response in older adults is associated with reduced immunogenicity and reactogenicity of mRNA COVID-19 vaccination	Nature aging•20230502. 2023 Jun;3(6):751	Original Article
451	Wang Y, Fushimi Y, Arakawa Y et al.	先制医療・生活習慣病研究センター	Evaluation of isocitrate dehydrogenase mutation in 2021 world health organization classification grade 3 and 4 glioma adult-type diffuse gliomas with 18F-fluoromisonidazole PET	Japanese journal of radiology•20230523. 2023 Nov;41(11):1255-1264	Original Article
452	Tsuji S, Otani C, Horie T et al.	先制医療・生活習慣病研究センター	KUS121, a VCP modulator, has an ameliorating effect on acute and chronic heart failure without calcium loading via maintenance of intracellular ATP levels	Biomedicine & Pharmacotherapy•20240101. 2024 Jan;170:115850	Original Article
453	Wicaksono KP, Fushimi Y, Nakajima S et al.	先制医療・生活習慣病研究センター	Accuracy, repeatability, and reproducibility of T(1) and T(2) relaxation times measurement by 3D magnetic resonance fingerprinting with different dictionary resolutions	European radiology•20230401. 2023 Apr;33(4):2895-2904	Original Article
454	Yuge S, Miyake KK, Ishimori T et al.	先制医療・生活習慣病研究センター	Performance of dedicated breast PET in breast cancer screening: comparison with digital mammography plus digital breast tomosynthesis and ultrasound	Annals of Nuclear Medicine•20230606. 2023 Sep;37(9):479-493	Original Article
455	Ito S, Okuchi S, Fushimi Y et al.	先制医療・生活習慣病研究センター	Thin-slice reverse encoding distortion correction DWI facilitates visualization of non-functioning pituitary neuroendocrine tumor (PitNET)/pituitary adenoma and surrounding normal structures	European radiology experimental•20240307. 2024 Mar;8(1):28	Original Article
456	Miyagawa S, Horie T, Nishino T et al.	先制医療・生活習慣病研究センター	Inhibition of microRNA-33b in humanized mice ameliorates nonalcoholic steatohepatitis	Life science alliance•20230801. 2023 Jun;6(8):e202301902	Original Article
457	Tagawa H, Fushimi Y, Funaki T et al.	先制医療・生活習慣病研究センター	Vessel wall MRI in moyamoya disease: arterial wall enhancement varies depending on age, arteries, and disease progression	European Radiology•20231005. 2024 Apr;34(4):2183-2194	Original Article
458	Otani S, Fushimi Y, Iwanaga K et al.	先制医療・生活習慣病研究センター	Evaluation of deep gray matter for early brain development using quantitative susceptibility mapping	European radiology•20230601. 2023 Jun;33(6):4488-4499	Original Article
459	Masui T, Nagai K, Anazawa T et al.	先制医療・生活習慣病研究センター	Safety and efficacy of neoadjuvant chemoradiotherapy with moderately hypofractionated intensity-modulated radiotherapy for resectable pancreatic cancer: A prospective, open-label, phase II study	Cancer medicine•20230901. 2023 Sep;12(18):18611-18621	Original Article
460	Nakai H, Sakamoto R, Kakigi T et al.	先制医療・生活習慣病研究センター	Artificial intelligence-powered software detected more than half of the liver metastases overlooked by radiologists on contrast-enhanced CT	European journal of radiology•20230601. 2023 Jun;163:110823	Original Article
461	Shirata M, Nishioka K, Hamao N et al.	先制医療・生活習慣病研究センター	Impact of wearing a surgical facemask during exercise on dyspnea in patients with chronic pulmonary infections: A randomized crossover study	Respiratory Medicine•20231201. 2023 Dec;220:107453	Original Article
462	Onishi Y, Ohno T, Shimizu H et al.	先制医療・生活習慣病研究センター	Natural History of Hepatic Hemangiomas Larger Than 10 cm: Imaging Findings and Clinical Course of 22 Cases	Cureus•20231201. 2023 Dec;15(12):e50563	Original Article
463	Takiya M, Fushimi Y, Sakamoto M et al.	先制医療・生活習慣病研究センター	Incidence of neurocutaneous melanosis in Japanese pediatric patients with congenital melanocytic nevi	Scientific Reports•20230930. 2023 Sep;13(1):16442	Original Article

464	Yamamura S, Kanai M, Takeuchi Y et al.	クリニカルバイオリソースセンター	Response to capmatinib in a patient with neuroendocrine carcinoma of the gallbladder origin harboring MET amplification	International Cancer Conference Journal•20240102. 2024 Jan;13(2):83-87	Original Article
465	Hamada S, Togawa J, Sunadome H et al.	呼吸管理睡眠制御学講座	Residual excessive daytime sleepiness in patients with sleep apnea syndrome receiving continuous positive airway pressure in Japan: A single-center study	Respiratory investigation•20230616. 2023 Sep;61(5):541-547	Original Article
466	Tashima N, Matsumoto H, Nishi K et al.	呼吸管理睡眠制御学講座	Evaluation of elevated plasma fatty acids as relevant factors for adult-onset asthma: The Nagahama Study	Allergology international : official journal of the Japanese Society of Allergology•20230515. 2024 Jan;73(1):65-70	Original Article
467	Hamada S, Hirai T, Sato S.	呼吸管理睡眠制御学講座	Mode Selection for Titrating Continuous Positive Airway Pressure	Internal medicine (Tokyo, Japan)•20230823. 2024 Apr;63(8):1177-1178	Original Article
468	Sunadome H, Murase K, Tabara Y et al.	呼吸管理睡眠制御学講座	Associations between Sleep-Disordered Breathing and Serum Uric Acid and Their Sex Differences: The Nagahama Study	Nutrients•20230930. 2023 Sep;15(19):4237	Original Article
469	Hamada S, Hirai T, Sato S.	呼吸管理睡眠制御学講座	A Unique Side Effect Associated With Continuous Positive Airway Pressure Therapy: Right-Sided Edematous Change and Pleural Effusion	Archivos de bronconeumologia•20231110. 2024 Feb;60(2):105-106	Original Article
470	Nishi K, Nagasaki T, Matsumoto H et al.	呼吸管理睡眠制御学講座	Increased blood eosinophils and airflow obstruction as new-onset asthma predictors in the elderly: The Nagahama study	Allergology international : official journal of the Japanese Society of Allergology•20231123. 2024 Apr;73(2):236-242	Original Article
471	Nomura N, Matsumoto H, Sunadome H et al.	呼吸管理睡眠制御学講座	Importance of mucus burden and mucociliary impairment in asthma	The Journal of allergy and clinical immunology•20230501. 2023 May;151(5):1410-1411	Original Article
472	Terada S, Matsumoto H, Nishi K et al.	呼吸管理睡眠制御学講座	Association of lower plasma citric acid with prolonged cough: the Nagahama study	Scientific reports•20230825. 2023 Aug;13(1):13921	Original Article
473	Hamada S, Togawa J, Sunadome H et al.	呼吸管理睡眠制御学講座	The Effects of Changing Continuous Positive Airway Pressure Devices in Japanese Patients with Obstructive Sleep Apnea: A Case Series	Internal medicine (Tokyo, Japan)•20230715. 2023 Jul;62(14):2037-2041	Original Article
474	Morimoto C, Matsumoto H, Nomura N et al.	呼吸管理睡眠制御学講座	Sputum microbiota and inflammatory subtypes in asthma, COPD, and its overlap	The journal of allergy and clinical immunology. Global•20240201. 2023 Nov;3(1):100194	Original Article
475	Hamada S, Togawa J, Sunadome H et al.	呼吸管理睡眠制御学講座	Good clinical response achieved by changing servo-ventilation devices in a patient with central sleep apnea: a case report	Journal of clinical sleep medicine : JCSM : official publication of the American Academy of Sleep Medicine•20230421. 2023 Aug;19(8):1557-1561	Original Article
476	Maetani T, Tanabe N, Sato A et al.	呼吸管理睡眠制御学講座	Association between blood eosinophil count and small airway eosinophils in smokers with and without COPD	ERJ open research•20230901. 2023 Oct;9(5):00235-2023	Original Article
477	Onishi A, Kaizu M, Shirasugi I et al.	リウマチ性疾患先進医療学講座(寄附)	Demographic, Physical, and Psychological Determinants of Patient Experience with Subcutaneous Self-Injection in Patients with Rheumatoid Arthritis: Structural Equation Modeling Approach	Patient preference and adherence•20230703. 2023 Jul;17:1551-1559	Original Article
478	Masuda S, Fukasawa T, Takeuchi M et al.	リウマチ性疾患先進医療学講座(寄附)	Erratum to: Reoperation Rates of Microendoscopic Discectomy Compared With Conventional Open Lumbar Discectomy: A Large-database Study	Clinical orthopaedics and related research•20240301. 2024 Mar;482(3):569	Original Article

479	Onishi A, Torii M, Hidaka Y et al.	リウマチ性疾患先進医療学講座(寄附)	Efficacy of personalized exercise program on physical function in elderly patients with rheumatoid arthritis at high risk for sarcopenia: study protocol for a randomized controlled trial	BMC Musculoskeletal Disorders•20230411. 2023 Apr;24(1):280	Original Article
480	Tajika A, Tsujimoto Y, Onishi A et al.	リウマチ性疾患先進医療学講座(寄附)	Twenty-year follow-up of promising clinical studies reported in highly circulated newspapers: a meta-epidemiological study	BMJ health & care informatics•20230601. 2023 Jun;30(1):e100768	Original Article
481	Anan K, Kataoka Y, Ichikado K et al.	地域医療システム学講座(寄附)	Correction: Early corticosteroid dose tapering in patients with acute exacerbation of idiopathic pulmonary fibrosis	Respiratory research•20230410. 2023 Apr; 24(1):107	Original Article
482	Yamada Y, Shimizu S, Yamamoto S et al.	地域医療システム学講座(寄附)	Prehospital shock index predicts 24-h mortality in trauma patients with a normal shock index upon emergency department arrival	The American journal of emergency medicine•20230510. 2023 Aug;70:101-108	Original Article
483	Yamada Y, Iwane K, Nakanishi Y et al.	地域医療システム学講座(寄附)	Thymic Carcinoma: Unraveling Neuroendocrine Differentiation and Epithelial Cell Identity Loss	Cancers•20231225. 2023 Dec;16(1):115	Original Article
484	Kashiwa A, Itoh H, Makiyama T et al.	地域医療システム学講座(寄附)	Clinical characterization of type 1 long QT syndrome caused by C-terminus Kv7.1 variants	Heart rhythm•20240215. 2024 Jul; 21(7):1113-1120	Original Article
485	Agatsuma N, Utsumi T, Higuchi H et al.	地域医療システム学講座(寄附)	Novel removable endoscopic clip: Usefulness in failure of traction method during endoscopic submucosal dissection	Endoscopy•20231201. 2023 Dec;55(S 01):E1031-E1032	Original Article
486	Nakahara R, Ito A, Nakahata A et al.	運動器機能再建学講座(寄附)	Development of a novel model for intraarticular adhesion in rat knee joint	PloS one•20230921. 2023 Sep; 18(9):e0292000	Original Article
487	Nishitani K, Kuriyama S, Nakamura S et al.	運動器機能再建学講座(寄附)	Excessive flexed position of the femoral component causes abnormal kinematics and joint contact/ ligament forces in total knee arthroplasty	Scientific Reports•20231201. 2023 Apr; 13(1):6356	Original Article
488	Fujii T, Murata K, Onizawa H et al.	運動器機能再建学講座(寄附)	Management and treatment outcomes of rheumatoid arthritis in the era of biologic and targeted synthetic therapies: evaluation of 10-year data from the KURAMA cohort	Arthritis research & therapy•20240109. 2024 Jan;26(1):16	Original Article
489	Umamoto A, Ito H, Azukizawa M et al.	運動器機能再建学講座(寄附)	How do symptoms of each joint contribute to global pain, disease activity and functional disability in rheumatoid arthritis?-A comprehensive association study using a large cohort	PloS one•20230825. 2023 Aug; 18(8):e0285227	Original Article
490	Nishitani K, Ito H, Murata K et al.	運動器機能再建学講座(寄附)	Postoperative function of patients with rheumatoid arthritis after total knee arthroplasty in the last decade was comparable in the unadjusted cohort but inferior in the propensity score matched cohort with that of patients with osteoarthritis	The Knee•20240305. 2024 Mar;47:228-238	Original Article
491	Masuda M, Iida K, Iwabuchi S et al.	クリニカルバイオリソース研究開発講座(産学共同)	Clonal Origin and Lineage Ambiguity in Mixed Neuroendocrine Carcinoma of the Uterine Cervix	The American journal of pathology• 20231214. 2024 Mar;194(3):415-429	Original Article
492	Coppo R, Kondo J, Onuma K et al.	クリニカルバイオリソース研究開発講座(産学共同)	Tracking the growth fate of single cells and isolating slow-growing cells in human colorectal cancer organoids	STAR protocols•20230628. 2023 Sep; 4(3):102395	Original Article
493	Usami K, Matsumoto R, Korzeniewska A et al.	てんかん・運動異常生理学講座(産学共同)	The dynamics of cortical interactions in visual recognition of object category: living versus nonliving	Cerebral cortex (New York, N.Y. : 1991)• 20230425. 2023 Apr;33(9):5740-5750	Original Article

494	Chen S, Fukasawa T, Ikeda A et al.	てんかん・運動異常生理学講座(産学共同)	Adherence to and persistence with lacosamide, perampanel, lamotrigine, and levetiracetam in adult patients with focal epilepsy in Japan: A descriptive cohort study using a claims database	Heliyon•20230401. 2023 Mar;9(4):e15017	Original Article
495	Kinboshi M, Shimizu S, Tokudome K et al.	てんかん・運動異常生理学講座(産学共同)	Imbalance of glutamatergic and GABAergic neurotransmission in audiogenic seizure-susceptible Leucine-rich glioma-inactivated 1 (Lgi1)-mutant rats	Heliyon•20230701. 2023 Jul;9(7):e17984	Original Article
496	Ogawa A, Koganemaru S, Takahashi T et al.	てんかん・運動異常生理学講座(産学共同)	Swallow-related Brain Activity in Post-total Laryngectomy Patients: A Case Series Study	Progress in rehabilitation medicine•20230901. 2023 Sep;8:20230026	Original Article
497	Otani T, Miyake KK, Ishimori T et al.	高度医用画像学講座(産学共同)	Prognostic value of pretreatment FDG PET/CT in uterine cervical cancer according to two major histologic types: squamous cell carcinoma and adenocarcinoma	Asia Ocean J Nucl Med Biol•19050715. 2023 0;11(2):101-110	Original Article
498	Oshima S, Fushimi Y, Miyake KK et al.	高度医用画像学講座(産学共同)	Denoising approach with deep learning-based reconstruction for neuromelanin-sensitive MRI: image quality and diagnostic performance	Japanese Journal of Radiology•20230531. 2023 Nov;41(11):1216-1225	Original Article
499	Tanaka S, Nakajima D, Sakamoto R et al.	リアルワールドデータ研究開発講座(産学共同)	Outcome and growth of lobar graft after pediatric living-donor lobar lung transplantation	The Journal of heart and lung transplantation : the official publication of the International Society for Heart Transplantation•20230501. 2023 May;42(5):660-668	Original Article
500	Maetani T, Tanabe N, Shiraishi Y et al.	リアルワールドデータ研究開発講座(産学共同)	Centrilobular Emphysema Is Associated with Pectoralis Muscle Reduction in Current Smokers without Airflow Limitation	Respiration; international review of thoracic diseases•19050715. 2023 0;102(3):194-202	Original Article
501	Shiraishi Y, Tanabe N, Shimizu K et al.	リアルワールドデータ研究開発講座(産学共同)	Stronger Associations of Centrilobular Than Paraseptal Emphysema With Longitudinal Changes in Diffusing Capacity and Mortality in COPD	Chest•20230801. 2023 Aug;164(2):327-338	Original Article
502	Ueta A, Yamada A, Yoshioka M et al.	リアルワールドデータ研究開発講座(産学共同)	Remarkable response to capmatinib in a patient with intrahepatic cholangiocarcinoma harboring TFG-MET fusion	International Cancer Conference Journal•20240309. 2024 Mar;13(3):199-203	Original Article
503	Katada C, Yokoyama T, Hirasawa D et al.	がん免疫PDT研究講座(産学共同)	Curative Management After Endoscopic Resection for Esophageal Squamous Cell Carcinoma Invading Muscularis Mucosa or Shallow Submucosal Layer-Multicenter Real-World Survey in Japan	The American journal of gastroenterology•20230701. 2023 Jul;118(7):1175-1183	Original Article
504	Kondoh H, Kameda M.	PFMセンター	Metabolites in aging and aging-relevant diseases: Frailty, sarcopenia and cognitive decline	Geriatrics & gerontology international•20240301. 2024 Mar;24 Suppl 1:44-48	Original Article
505	Yamamoto A, Motokura K, Iwanaga K et al.	新生児学講座(寄附)	Glucocorticoid Receptor Expression Pattern in Very Low Birth Weight Infants Changes Drastically within the First Week of Life	Hormone research in paediatrics•19050715. 2023 0;96(3):289-297	Original Article
506	Omae E, Shima A, Tanaka K et al.	脳機能総合研究センター神経機能回復・再生医学講座(寄附)	Case report: An N-of-1 study using amplitude modulated transcranial alternating current stimulation between Broca's area and the right homotopic area to improve post-stroke aphasia with increased inter-regional synchrony	Frontiers in Human Neuroscience•20240222. 2024 Feb;18:1297683	Original Article

計506件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限り)。

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること  
 (出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。  
 記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
～					

計 件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 手順書の主な内容 医の倫理委員会会議録の作成 医の倫理委員会作業手順書、委員名簿、及び会議録概要等の公表 研究者等への教育研修 医の倫理委員会委員及び事務局員への教育研修 年次報告及び中止・終了報告 研究者、研究責任者及び研究機関の長の責務 試料・情報の保管及び他の機関等の試料・情報の利用等 迅速審査に関する手順 多機関共同研究についての事務手続き及び審査の方針 重篤な有害事象・安全性情報の報告 専門小委員会の運用にかかる手順書 不適合に関する報告 中央倫理審査委員会としての一括審査 外部機関の倫理委員会への審査依頼	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 規定の主な内容 利益相反マネジメントの原則、利益相反審査に係る審議体制・手続き等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年5回
-----------------------	-----

・研修の主な内容

臨床研究等倫理講習会

令和5年度 臨床研究等倫理講習会

1. 開会挨拶
2. 研究に関するインフォームドコンセントについて
3. 倫理指針における個人情報保護法の解釈の注意点 - 仮名加工情報等を中心に -
4. 先端医療研究開発機構 (iACT) における研究支援の紹介

令和5年度 ヒトES細胞倫理講習会

1. 開会挨拶
2. 「ヒトES細胞研究及び生殖細胞作成研究に関連する指針について」
3. 「生殖細胞作製研究に関する倫理的課題と意識調査」

倫理審査委員教育研修会

令和5年度 第1回

1. 開会挨拶
2. 研究に関するインフォームドコンセントについて
3. 倫理指針における個人情報保護法の解釈の注意点 - 仮名加工情報等を中心に -
4. 先端医療研究開発機構 (iACT) における研究支援の紹介

令和5年度 第2回

倫理指針の改正及び倫理審査申請について

令和5年度 第3回

監査とは&監査の目線でみた臨床研究法研究

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

京大病院では、単に自立して診療ができるだけでなく、将来的にその領域でリーダーシップがとれるような実力のある専門医の養成をめざしている。

こうした専門医になるためには、固定化した医療環境で、漫然と日常診療をこなすだけでは不十分であり、系統的なプログラムにもとづき、優れた指導医のもとで、さまざまな医療環境を経験することが必要となる。

京大病院は、レベルの高い魅力的な第一線の医療機関が関連病院としてリンクしていることで有名であり、活発に人事交流することが実力のある臨床医を育成する原動力になっている。プログラムは、こうしたアクティビティの高い病院での修練が包括されたものとなっている。その中で大学においては若い医師たちが真摯で刺激的なディスカッションを重ねながら、挑戦的で先進的な課題に取り組む環境が形成されており、京大病院の実績と力に結びついている。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	169人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
山下 浩平	血液内科	准教授	31年	
植田 洋平	糖尿病・内分泌・栄養内科	助教	15年	
尾野 亘	循環器内科	教授	34年	
山本 修司	消化器内科	助教	26年	
平井 豊博	呼吸器内科	教授	36年	
森信 暁雄	免疫・膠原病内科	教授	36年	
大鶴 繁	救急科	教授	27年	
葛谷 聡	脳神経内科	准教授	28年	
柳田 素子	腎臓内科	教授	30年	
松原 淳一	腫瘍内科	准教授	24年	
小濱 和貴	消化管外科	教授	29年	
増田 慎三	乳腺外科	教授	31年	
伊藤 孝司	肝胆膵・移植外科	講師	26年	
長井 和之	小児外科	講師	24年	
湊谷 謙司	心臓血管外科	教授	38年	
伊達 洋至	呼吸器外科	教授	40年	
荒川 芳輝	脳神経外科	教授	27年	

上田 奈央子	眼科	特定病院助教	24年	
大森 孝一	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	教授	40年	
大槻 文悟	整形外科	准教授	27年	
森本 尚樹	形成外科	教授	31年	
千草 義継	産科婦人科	講師	21年	
齊藤 亮一	泌尿器科	准教授	25年	
江木 盛時	麻酔科	教授	25年	
滝田 順子	小児科	教授	33年	
吉村 通央	放射線治療科	准教授	27年	
中本 裕士	放射線診断科	教授	33年	
椛島 健治	皮膚科	教授	28年	
磯部 昌憲	精神科神経科	助教	19年	
池口 良輔	リハビリテーション科	教授	32年	
羽賀 博典	病理診断科	教授	33年	
長尾 美紀	検査部・感染制御部	教授	25年	
中尾 一祐	歯科口腔外科	准教授	22年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）	
1. 研修の主な内容	薬剤師を対象に、調剤業務・病棟薬剤師業務、医薬品安全管理についての知識・技能を修得するための講義研修および症例検討会、臨床上の課題を発見・解決する能力を養うためのセミナーを実施した。
研修の期間・実施回数	令和5年4月1日～令和6年3月31日 計83回
研修の参加人数	各10～58名
2. 研修の主な内容	「看護部IVナース認定プログラム」に基づき、下記対象者に下記講義と演習・試験を実施した。 ①レベルⅡ（新規入職看護師対象）に薬剤・安全管理・感染管理・CVポート・PICCの管理・テープ固定時の皮膚障害予防、末梢血管確保・CVポート穿刺演習 ②レベルⅢ（レベルⅡを指導する者対象；インストラクター）に輸液管理・生物学的製剤・UKカテーテル・輸血管理・アナフィラキシー・造影剤・IVインストラクター講習 ③レベルⅣ（レベルⅢ認定者対象）抗がん薬の基礎知識、抗がん薬投与における末梢静脈穿刺
研修の期間・実施回数	のべ910時間、441回（在宅研修・動画講義視聴を含む）
研修の参加人数	のべ795人
3. 研修の主な内容	下記の対象者研修を実施した。 4/1採用者研修・中途採用者研修・勤務復帰者研修、新人看護師・卒後2年看護師・卒後3年看護師・卒後4年看護師研修等を行った。
研修の期間・実施回数	のべ1328時間35分 235回（在宅研修・オンラインライブ研修・動画講義視聴を含む）
研修の参加人数	のべ2345人
4. 研修の主な内容	ICU・CCU/HCU新規入職看護師を対象に「透析看護認定研修」として、「腎不全の病態と血液浄化療法」「血液浄化療法の記録」「血液浄化用訪中の看護」「血液浄化療法について」「血液浄化療法の実際」についての講義・演習・試験を実施した。
研修の期間・実施回数	85時間30分、55回（動画講義視聴を含む）
研修の参加人数	のべ86人
5. 研修の主な内容	臨床検査技師を対象に、以下の研修を実施した。 1. 新規採用者研修：事務手続き 2. 新規採用者研修：病院（当院の概要） 3. 新規採用者研修：職員として大切なこと（接遇関連） 4. 新規採用者研修：検査部について 5. 新規採用者研修：臨床検査について 6. 新規採用者研修：臨床検査の精度管理（ISO15189を交えて） 7. 新規採用者研修：外来採血室（採血における注意点 RFIDと患者対

応)

8. ISO必修トレーニング

- ①品質マネジメントシステム：令和5年9月4日～令和6年3月31日
- ②災害対策：令和5年9月4日～令和6年3月31日
- ③倫理：令和6年1月29日～3月31日
- ④化学物質の取扱い：令和5年9月4日～令和6年3月31日
- ⑤患者情報の守秘義務：令和5年9月4日～令和6年3月31日
- ⑥医療安全の講習会（病院指定 年2回）令和5年度
- ⑦感染対策の講習会（病院指定 年2回）令和5年度

9. Clinical Laboratory Conference (CLC 部内研修会)

- 173回：急性期虚血性脳卒中の治療は時間との闘い！：令和5年4月26日
- 174回：細胞療法における臨床検査の果たす役割：令和5年5月18日
- 175回：CCMTの業務について：令和5年6月28日
- 176回：フレキシブルな認定範囲の管理について：令和5年7月19日
- 177回：消化器癌分子標的療法の「これまで」と「これから」：令和5年9月13日
- 178回：培養検査の自動化 ～全自動塗抹培養装置 WASPLabについて：令和5年10月11日
- 179回：看護師が行う病棟採血：令和5年11月15日
- 180回：若手スキルアップ講習（輸血、微生物）：令和5年12月13日
- 181回：甲状腺ホルモン検査の現況：令和6年1月17日
- 182回：若手スキルアップ講習（凝固、細胞分析、化学）：令和6年2月14日
- 183回：検査部活動報告：令和6年3月13日

研修の期間・実施回数

各年1回（1～7：令和5年4月3～4日、8－①、②、④、⑤：令和5年9月4日～令和6年3月31日、③：令和6年1月29日～令和6年3月31日）  
各年2回（8－⑥、⑦：令和5年4月1日～令和6年10月31日）  
9:173回：令和5年4月26日、174回：令和5年5月18日、175回：令和5年6月28日、176回：令和5年7月19日、177回：令和5年9月13日、178回：令和5年10月11日、179回：令和5年11月15日、180回：令和5年12月13日、181回：令和6年1月17日、182回：令和6年2月14日、183回：令和6年3月13日）

研修の参加人数

- ・1～7は3名、8は120名  
（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今回は各自web）
- ・9 各自Web 20～50人

6. 研修の主な内容

- 診療放射線技師を対象に、以下の研修を実施した。
- 1. Let's create a new era together！ -4th season-
  - 2. 診放技師はSXに対してどう生き残るのか？
  - 3. 「京大病院の放射線部という職場環境」：副技師長としての抱負
  - 4. タスクシフト/シェアを考える
  - 5. 木曜会の変遷

	<p>6. MRの安全確認</p> <p>7. 交代勤務中によく検査するシリーズ -脳梗塞と肺塞栓-</p> <p>8. 木曜会への思い, 過去から未来へ</p> <p>研修の期間・実施回数 各30分、8回 (1. 令和5年4月27日、2. 5月11日、3. 5月18日、4. 5月25日、5. 6月8日、6. 6月29日、7. 11月30日、8. 令和6年3月14日)</p> <p>研修の参加人数 (1. 39名、2. 43名、3. 40名、4. 42名、5. 37名、6. 34名、7. 34名、8. 38名)</p>
7. 研修の主な内容	<p>看護師・臨床工学技士を対象に、人工呼吸器・血液浄化・除細動器・人工心肺装置及び補助循環装置・閉鎖式保育器・新規医療機器の安全な使用方法について実施した。</p> <p>研修の期間・実施回数 計84回 (令和5年4月1日～令和6年3月31日) 及びe-ラーニング</p> <p>研修の参加人数 1,932名</p>
8. 研修の主な内容	<p>管理栄養士を対象に、以下の研修を実施した。</p> <p>令和5年全国国立大学病院栄養部門会議研修会 第6回Basicコース</p> <p>研修の期間・実施回数 令和5年10月19～20日</p> <p>研修の参加人数 48名</p>
9. 研修の主な内容	<p>理学療法士, 作業療法士, 言語聴覚士を対象に、学術論文の作成についての研修を実施した。</p> <p>研修の期間・実施回数 60分、1回 (令和5年9月25日)</p> <p>研修の参加人数 22人</p>
② 業務の管理に関する研修の実施状況 (任意)	
1. 研修の主な内容	<p>薬剤師を対象に、医薬品情報管理に関する研修を実施した。</p> <p>研修の期間・実施回数 令和5年4月1日～令和6年3月31日 計9回</p> <p>研修の参加人数 各29～47名</p>
2. 研修の主な内容	<p>看護師を対象に、管理者研修を実施した。</p> <p>研修の期間・実施回数 のべ16時間15分、7回</p> <p>研修の参加人数 のべ139人</p>
3. 研修の主な内容	<p>検査部の職員を対象に、以下の研修を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 検査室の環境 (インシデントレポートに伴う集合教育) : 令和5年6月2～9日</li> <li>2. フレキシブルな認定範囲の管理: 令和5年6月19～23日、7月3～7日</li> <li>3. 超音波診断装置LOGIQ E10 2号機の取扱い説明会: 令和5年6月29～30日</li> <li>4. 分析装置メンテナンス研修 (ミュータスワコーG1:微生物) : 令和5年6月7～8日</li> <li>5. コールドルーム脱出訓練: 令和5年7月19～26日</li> <li>6. 脳死判定について学ぶ: 令和5年7月7～13日</li> </ol>

7. 感受性試験実施方法の再確認:令和5年10月17日
8. 室温湿度が規定温度から外れた時の対応に関する周知:令和5年11月28～29日
9. 脳波検査カンファレンス:令和5年11月8日,12月6日,令和6年1月24日,2月21日
10. 令和5年度日臨技サーベイランス回答について(輸血検査):令和5年12月27日
11. 脳波検査 投書に伴う集合教育:令和6年2月6～14日
12. 心電図検査(インシデントレポートに伴う集合教育):令和6年2月6～13日
13. 心エコー勉強会:令和6年2月5日,6日,8日
14. 第6回サーベイランス是正処置周知の為の集合教育:令和6年2月20～28日

**研修の期間・実施回数** 各1回～数回

- 1: 令和5年6月7～8日、2: 令和5年6月19～23日、7月3～7日、3: 令和5年6月29～30日、
- 4: 令和5年6月7～8日、5: 令和5年7月19～26日、6: 令和5年7月7～13日、7: 令和5年10月17日、
- 8: 令和5年11月28～29日、9: 令和5年11月8日,12月6日,令和6年1月24日,2月21日、
- 10: 令和5年12月27日、11: 令和6年2月6～14日、12: 令和6年2月6～13日、13: 令和6年2月5日,6日,8日、14: 令和6年2月20～28日

**研修の参加人数**

- 1:24人、2:17人/5人、3:8人、4:6人、5:10人、6:22人、7:6人、8:29人、9:9人/6人/9人、10:5人、11:22人、12:22人、13:4人/4人/6人、14:117人

#### 4. 研修の主な内容

診療放射線技師を対象に、以下の管理業務に関する研修を行った。

- ・総務管理
- ・医療安全管理
- ・感染対策管理
- ・情報管理
- ・学術法規・災害管理
- ・治験・臨床研究管理
- ・人材育成管理

**研修の期間・実施回数** 令和5年4月3～5日(各1回)

**研修の参加人数** 各9名

#### 5. 研修の主な内容

診療放射線技師を対象に、以下の診療業務に関する研修を行った。

1. 放射線治療に興味があく話
2. 放射性医薬品の取扱い
3. Deep Learning再構成を紐解く
4. INRについて
5. みんな興味あります?血管撮影なんて

6. GliomaとIDH遺伝子 遺伝子型と全脳ネットワークの関連について
7. Open-face maskを使用した頭部定位放射線治療における光学式患者ポジショニングシステムの検出 ～ファントム実験～
8. 大動脈弓部を対象とした3D T1-Weighted SPACE Black Blood MRIの最適化～1.5T編～
9. 当院CT検査におけるSTAT報告の現状
10. 下位胸椎SBRTにおける横隔膜位置変位が線量計算結果に及ぼす影響
11. 即時適応放射線治療における金属アーチファクトが合成CTに及ぼす影響
12. 自動露出制御内蔵型FPDの管電圧特性と被写体厚特性
13. 3D-MRCP撮影の高速化についての検討

**研修の期間・実施回数** 各30分、13回

(1. 令和5年6月15日、2. 6月22日、3. 7月13日、4. 7月27日、5. 8月17日、6. 8月31日、7. 9月7日、8. 9月14日、9. 10月5日、10. 11月2日、11. 11月9日、12. 11月16日、13. 12月7日)

**研修の参加人数**

(1. 35名、2. 37名、3. 36名、4. 30名、5. 43名、6. 34名、7. 33名、8. 30名、9. 27名、10. 31名、11. 30名、12. 31名、13. 27名)

#### 6. 研修の主な内容

診療放射線技師を対象に、以下の他大等との学術交流会を実施した。  
第9回三大学学術交流会 医療安全・・・うちではこんなことやっています、「一般撮影における転倒防止対策 撮影者が撮影室で行うリスクアセスメント」、「医療安全文化を構築するために・・・いちではこんなことやっています」、「造影剤アレルギーの対応と訓練～くしゃみだヨ！全員集合」

**研修の期間・実施回数** 60分、令和5年7月7日

**研修の参加人数**

21名

#### 7. 研修の主な内容

診療放射線技師を対象に、以下の他大等との学術交流会を実施した。  
東大・京大・がんセンター放射線先端学術交流会(第1部) 放射線先端学術に関する報告、「スタンフォード大学における先端研究の経験」、「当院における転移性脊椎腫瘍に対する隊幹部定位放射線治療」、(第2部)放射線診療に寄与する人工知能技術、「Hello, DL-Spectral CT! ～予測と仮想の世界への誘い」

**研修の期間・実施回数** 90分、令和5年10月13日

**研修の参加人数**

34名

#### 8. 研修の主な内容

医療器材部職員を対象に臨床工学技士の業務範囲追加に伴う厚生労働大臣指定による研修(基礎研修)

**研修の期間・実施回数** 令和5年度・e-ラーニング

**研修の参加人数**

13名

#### 9. 研修の主な内容

高カリウム血症治療薬について、GLP-1受容体作動薬について、栄養補助飲料へのとろみの付け方、食物アレルギーの現状と課題 他

**研修の期間・実施回数** 年間13回

**研修の参加人数**

1回約20名

10. 研修の主な内容	理学療法士，作業療法士，言語聴覚士を対象に、医療安全（部署で生じたインシデント・リスクの共有）についての研修を実施した。
研修の期間・実施回数	60分、1回（令和5年5月29日）
研修の参加人数	23人
11. 研修の主な内容	理学療法士，作業療法士，言語聴覚士を対象に、感染対策とPPEの適切な装着に関する実技研修を実施した。
研修の期間・実施回数	60分，1回（令和5年6月26日）
研修の参加人数	27人
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容</li> <li>・ 研修の期間・実施回数</li> <li>・ 研修の参加人数</li> </ul>	

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 高折 晃史	
管理担当者氏名	総務課長 植村 博樹 医療サービス課長 藤岡 一敏 医療安全管理室長 松村 由美 感染制御部長 長尾 美紀 医療器材部長 小濱 和貴	医務課長 西井 美歩 臨床研究戦略課 藤村 浩樹 医療情報企画部長 黒田 知宏 薬剤部長 寺田 智祐 倫理支援部 中山 健夫

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	医療情報企画部 ・医務課
		処方せん	薬剤部
		手術記録	医療情報企画部 ・医務課
		看護記録	医療情報企画部 ・医務課
		検査所見記録	医療情報企画部 ・医務課
		エックス線写真	医療情報企画部 ・医務課
		紹介状	医療情報企画部 ・医務課
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療情報企画部 ・医務課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・カルテは電子カルテと紙カルテの2種類を管理及び保管している。</li> <li>・2005年に電子カルテを導入しており、それ以前の紙カルテについては20年の保存期間を設けて病歴管理室にて保管している。また、紙媒体で生成される各種検査資料及び同意書等については、原則、電子印章付きのスキヤナで取り込み、電子データを原本として電子カルテに保存している。</li> <li>・画像フィルムは、2013年4月に全てのモダリティのフィルムレス化を実施しており、それ以降原則、現物保管はしていない。</li> <li>・カルテを病院外に持ち出すことは個人情報保護のため認めていない。</li> </ul>	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医務課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医療サービス課・倫理支援部・臨床研究戦略課
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医務課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医務課・薬剤部
	規則第一條の十に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室・医療サービス課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室・医療サービス課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室・医療サービス課
		医療機関内における事故報告等	医療安全管理室・
			<ul style="list-style-type: none"> <li>パソコンの電子ファイルおよび紙媒体で管理。</li> </ul>

		の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療サービス課	
			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部	パソコンの電子ファイルおよび紙媒体で管理。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部・医療サービス課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部・医療サービス課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部・医療サービス課	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療器材部	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療器材部・医療サービス課	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療器材部			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療器材部			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理室・医療サービス課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療サービス課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療サービス課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医務課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理室・医療サービス課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療サービス課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療サービス課
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理室・医療サービス課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理室・医療サービス課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理室・医療サービス課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	医療サービス課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療サービス課
管理者が有する権限に関する状況	総務課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	監査室・医療サービス課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

## 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 <input type="checkbox"/> 2. 現状 <input checked="" type="checkbox"/>
閲覧責任者氏名	事務部長 久保 公四郎
閲覧担当者氏名	総務課長 植村 博樹
閲覧の求めに応じる場所	総務課内
閲覧の手続の概要 1. 閲覧申込 総務課 2. 承認者 事務部長 3. 閲覧方法 指定した日時総務課内 4. 返却方法 当日総務課へ返却	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本理念</li> <li>2. 組織と体制</li> <li>3. 医療事故収集とサーベイランス</li> <li>4. 重大事故発生時の報告体制</li> <li>5. 安全管理に係る研修の実施</li> <li>6. マニュアル・対応指針等の作成</li> <li>7. 診療情報等の共有と開示</li> <li>8. 患者および家族からの相談等への対応</li> <li>9. その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li> </ol> </li> </ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設置の有無（ 有・無 ）</li> <li>・ 開催状況：年12回</li> <li>・ 活動の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本院における医療事故の防止及び医療の安全性確保に関すること。</li> <li>2. 本院において重大な問題その他、委員会において取り扱うことが適当な問題が発生した場合における、速やかな原因究明のための調査及び分析に関すること。</li> <li>3. 2. の分析の結果を活用した、医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の立案及び実施、並びに職員等への周知に関すること。</li> <li>4. 3. の改善のための方策の実施の状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しに関すること。</li> <li>5. 医療に係る安全管理のため、職員等の医療の安全に関する意識、他の職員等と相互に連携して業務を行うことについての認識、業務を安全に行うための技能の向上等を目的として、医療に係る安全管理のための基本的な事項及び具体的な方策についての職員等研修に関すること。</li> <li>6. 医療に関する安全管理指針の策定及び変更に関すること。</li> <li>7. その他医療安全管理に関すること。</li> </ol> </li> </ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年11回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容（すべて）：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 『患者安全の基本』</li> <li>2. 『情報セキュリティを取り巻く話題』</li> <li>3. 『ヒューマンファクターズとしてのメンタルヘルス』</li> <li>4. 『安全文化の醸成』</li> <li>5. 『チームング』</li> <li>6. 『エラーに学び害を防止する』</li> <li>7. 『臨床におけるリスクの理解とマネジメント』</li> <li>8. 『品質改善の手法』</li> <li>9. 『患者や介護者と協同する』</li> <li>10. 『コミュニケーション』</li> <li>11. 『投薬の安全性を改善する』</li> </ol> </li> </ul>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関内における事故報告等の整備（ 有・無 ）</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各種安全管理マニュアル・指針等の整備と運用状況のモニター、改</li> </ol> </li> </ul>	

訂作業

2. 安全に関する部門連携・委員会活動
  - ・医療安全管理委員会の定期開催
  - ・リスクマネージャー会議の定期開催
  - ・医療安全、医薬品安全管理、医療機器安全管理、臨床研究安全管理、医療放射線安全管理に関する小委員会の定期開催
  - ・多職種間（部門横断的）インシデント検討会の定期開催
  - ・各種WG開催
  - ・高難度医療・未承認医薬品等管理室との連携
3. 職員への安全教育
  - ・e-learning、院内事例報告会
  - ・医療安全ニュース、周知依頼事項の配信
  - ・リスクマネージャーメールマガジンの発行

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染対策に関する基本方針</li> <li>・ 感染対策組織の概要</li> <li>・ 各種委員会および会議の開催</li> <li>・ 感染制御部（ICT）の業務内容</li> <li>・ 感染アウトブレイク（集団発生）時の対応</li> </ul> </li> </ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年126回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 院内感染対策委員会 1回/月（必要に応じて随時開催）</li> <li>2. AST会議 1回/週（必要に応じて随時開催）</li> <li>3. ICT会議 1回/週（必要に応じて随時開催）</li> <li>4. 感染対策業務会議 必要に応じて随時開催</li> </ol> </li> </ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年4回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容（すべて）： <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 『標準予防策（新規・中途採用者・復職者）』</li> <li>2. 『標準予防策』</li> <li>3. 『手指衛生』</li> <li>4. 『PPE』</li> </ol> </li> </ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （ 有・無 ）</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感染対策サーベイランスの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薬剤耐性菌サーベイランス</li> <li>・ 中心静脈カテーテル関連血流感染（CLABSI）サーベイランス</li> <li>・ カテーテル由来血流感染（CRBSI）サーベイランス</li> <li>・ 手術部位感染サーベイランス</li> <li>・ 抗菌薬サーベイランス</li> <li>・ 手指消毒剤使用量サーベイランス</li> <li>・ 手指衛生モニタリング</li> </ul> </li> <li>2. 職業感染防止及び血液体液曝露後の対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入職時の抗体価確認（B型肝炎、麻疹、水痘、ムンプス、風疹）</li> <li>・ ワクチン接種（B型肝炎、インフルエンザ、麻疹、水痘、風疹、ムンプス）</li> <li>・ 針刺し防止マニュアル作成・周知、針刺し防止器材の積極的な導入</li> <li>・ 職業感染曝露後の対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 針刺し、血液・体液曝露対応（検査、ワクチン、グロブリン、予防投薬等）</li> <li>- 結核（IGRA：インターフェロン-γ遊離試験、予防投薬）</li> <li>- 小児ウイルス性疾患（抗体確認、緊急ワクチン接種、休務規定）</li> <li>- インフルエンザ（検査、休務規定、予防投薬）</li> </ul> </li> <li>・ 結核感染高リスク部署の職員への結核定期検診</li> <li>・ 透析スタッフへの肝炎検査</li> </ul> </li> <li>3. 新型コロナウイルス対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適時マニュアルを改訂し全職員へ周知</li> <li>・ 感染対策担当者やICTによるラウンドを実施</li> <li>・ 症状サーベイランスの継続</li> </ul> </li> </ol> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年70回
<p>・ 研修の主な内容：          医薬品関連の事故防止に係る本院職員の意識向上と知識習得のため次の通り研修会を実施した。</p> <p>医師・看護師・薬剤師対象          1. 院内動画配信（e-learning） 令和5年4月～ 1回          ・ 医薬品の安全使用について          病棟スタッフ対象          1. 看護師・医師を主な対象とした研修会 22回          ・ 医薬品の使用上の注意点等について          薬剤師対象          1. 採用医薬品説明会 9回          ・ 新規採用医薬品の説明と位置づけ          ・ 添付文書改訂情報、安全性情報、医薬品の取扱い情報          2. 薬剤部部員会 12回          ・ 警鐘すべきインシデント事例の情報共有          ・ 再発防止策の検討と注意喚起          3. 薬剤部レジデント勉強会 22回          ・ 業務内容及び業務マニュアルの確認と解説          ・ 処方監査・疑義照会のポイント解説          新採用者対象          1. 研修医・医師オリエンテーション講義（動画視聴） 令和5年4月2日 1回          2. 看護部新規採用者オリエンテーション講義（動画視聴） 令和5年4～5月 1回          3. 薬剤部新入職員講義 令和5年4月1日 1回          4. 看護部静脈注射輸液管理認定プログラム講義（動画視聴） 令和5年4～5月 1回</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 （有・無）          ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：          1. 医薬品の採用に関すること          2. 医薬品の購入に関すること          3. 薬剤部における医薬品の管理に関すること          4. 病棟・各部門への医薬品の供給に関すること          5. 外来患者への医薬品使用に関すること          6. 病棟・外来・中央診療施設における医薬品の管理に関すること          7. 入院患者への医薬品使用に関すること          8. 医薬品の適正使用・安全使用に係る情報に関すること          9. 他施設（医療機関・薬局等）との連携に関すること          以上の業務内容について、手順書に基づく業務の実施状況を確認した。医薬品安全管理補助者の指名を受けた薬剤師が、チェックリスト「医薬品安全使用の業務手順書遵守確認票」を用いて現場ラウンド及びヒアリングにより確認し、不十分な点は改善指導した。医薬品安全管理責任者は結果の報告を受けるとともに、記入済みのチェックリストを確認した。          ・ 病棟・外来・中央診療棟：令和5年8月～令和6年3月に実施          ・ 薬剤部：令和6年3月に実施</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （有・無）          ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：</p>	

別紙1「未承認等の医薬品の具体的な使用事例」のとおり

・ その他の改善のための方策の主な内容：

- 1) 副薬剤部長1名が薬剤部リスクマネージャーを兼任し、毎週開催される医療安全小委員会にて院内の情報を収集し、業務改善を協議すると共に、医薬品関連のインシデントレポートをもとに薬剤部内に警鐘事例を周知している。また薬剤部長・副薬剤部長間でインシデント情報を共有し、薬剤業務改善の方策を立てることで医薬品安全使用の質的改善を推進している。
- 2) 処方・注射オーダーリングシステムに対し、インシデントレポートで提議された報告を基に薬剤誤投与防止機能について運用を含めて修正し、医師の業務負担を軽減し、医療事故を未然に防止すると共に、必要なデータベースを構築し、維持・管理している。
- 3) 全職員を対象に、緊急安全性情報や医薬品・医療機器等安全性情報などの注意喚起情報、医薬品の採用・削除などの医薬品情報をアナウンスメールで発信している。アナウンスメールしたものの中からピックアップして、リスクマネージャー会議で周知依頼するとともに、周知状況を確認している。
- 4) オーダーリングシステムによる警告（相互作用、過量投与、アレルギー既往歴、妊婦禁忌、等を含む）を通過した処方せんは、調剤時に薬剤師が電子カルテ記載内容を確認し、処方内容に疑義がある場合は医師に照会している。適応外使用や禁忌の使用については「適応外・禁忌・未承認薬データベース」に入力している。
- 5) 入院患者の持参薬の内容確認を薬剤師が行い、患者と面談して服薬状況等を情報収集するとともに、個々の患者に合わせたより適正な使用となるよう、医師に服薬計画を提案している。
- 6) 病棟薬剤師が電子カルテ上で処方内容評価をする際、用法・用量等のチェックに加えて、未承認薬や適応外使用に該当しないか、禁忌に該当しないかを把握し、該当する場合は医師に必要性を確認している。収集した情報は「適応外・禁忌・未承認薬データベース」に入力している。医薬品安全管理補助者がデータベースの内容を確認してまとめ、医薬品安全管理責任者に報告している。
- 7) 医師との連携により、院外処方せん交付患者に対して初回投与時の抗がん薬の服薬指導を行い、副作用等の説明及びその対処を指導して、医薬品安全使用を推進している。
- 8) 外来患者の臨床検査値の一部を院外処方せんに記載し、保険薬局での処方監査時に検査値を参照できるようにしている。また、保険薬局にて患者から聴き取った情報のうち、処方医師への提供が望ましいと判断された内容を服薬情報提供書（トレーシングレポート）で受け付けている。トレーシングレポートの送受信はFAXに加えて、電子的に管理できるシステムを導入し、送受信に係る業務の効率化・処方医師と薬剤師の情報連携強化を推進している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年91回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>1. 放射線関連機器について</p> <p>○高度管理医療機器の研修として、以下の研修を実施した。          診療用高エネルギー放射線発生装置と診療用放射線照射装置に関し以下の研修を実施した。</p> <p>1) 令和5年7月18日～8月31日に関連する医療従事者を対象に第1回 診療用高エネルギー放射線発生装置の研修をwebにて実施した。(参加者47名)</p> <p>2) 令和5年7月18日～8月31日に関連する医療従事者を対象に第1回 診療用放射線照射装置の研修をwebおよび中央診療棟地階 第6待合室にて実施した。(参加者40名)</p> <p>3) 令和6年1月22日～1月31日に関連する医療従事者を対象に第2回 診療用高エネルギー放射線発生装置の研修をwebおよび中央診療棟地階 放射線治療エリアにて実施した。(参加者60名)</p> <p>4) 令和6年1月23日～1月31日に関連する医療従事者を対象に第2回 診療用放射線照射装置の研修をwebにて実施した。(参加者44名)</p> <p>* 欠席者に対しては資料確認により補講を実施した。</p> <p>2. ME関連機器について</p> <p>1) 令和5年度中に医師・看護師・臨床工学技士を対象として人工呼吸器・血液浄化装置・除細動器・人工心肺装置及び補助循環装置等・閉鎖式保育器の安全な使用方法についての研修を計24回実施した。除細動器及び人工呼吸器、血液浄化装置に関してはe-ラーニングでの研修も実施している。          その他医療機器・新規医療機器についての研修を計60回実施した。</p> <p>2) 令和5年4月に新人看護師、研修医を対象として、輸液・シリンジポンプ・人工呼吸器の使用法について研修を実施した。</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：</p> <p>1. 放射線関連機器について</p> <p>・放射線機器等については年度点検実施計画を作成し、各部門担当者を決めて以下の内容について定期的な点検を実施している。</p> <p>→機器の動作状況、設定状況、制御状況、画質の確認・検査・清掃・試験・調整・記録及び医療機器安全管理責任者が確認、押印している。</p> <p>→日々の始業終業点検について、各部門において担当者を決めて点検表にて確認、記録及び医療機器安全管理責任者が確認、押印している。</p> <p>→高度な技術を要する修理、定期点検はメーカーに依頼している。</p> <p>2. ME関連機器について</p> <p>・医療機器の点検周期に沿って、院内点検とメーカー点検を実施している。</p> <p>→臨床工学技士の点検においては、実施可能なバッテリー交換・各種センサー・フィルタ一等の定期交換を実施している。</p> <p>→高度な技術を要する修理、定期点検はメーカーに依頼している。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例(あれば)：該当なし</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p>	

1. 放射線関連機器について

- ・血管造影、CT・透視、MR、RI、放射線治療系の各部門において、多職種（医師、看護師、技師）での品質管理（QA）委員会を、月例開催または2～3ヶ月に1回開催している。
- ・一般撮影+血管造影+CT・透視グループ、MR+RIグループ、放射線治療の3つのグループにおいて、診療放射線技師の定例会議を月例で開催している。

2. ME 関連機器について

- ・医療機器に関する安全情報は医療安全管理室と協力して医療従事者に周知する体制をとっている。
- ・医療機器の安全使用を目的として、中央管理機種の一統を推し進めている。
- ・電子カルテ用端末にて、中央管理を行っている機器の取扱い説明書が確認出来る。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格（医師・歯科医師）          ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>常勤医師の副病院長（医療安全担当）を医療安全管理責任者として配置している。また、医療安全管理責任者は医療安全管理委員会の委員長であり、医療安全管理委員会のもとに医薬品安全管理小委員会（委員長：医薬品安全管理責任者）、医療機器安全管理小委員会（委員長：医療機器安全管理責任者）、医療放射線安全管理小委員会（委員長：医療放射線安全管理責任者）、臨床研究安全管理小委員会（委員長：臨床研究安全管理責任者）を統括している体制となっている。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（8名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 原則として月1回、電子カルテのアプリケーション「医薬品使用状況」などを用い、医薬品の投薬及び注射の状況の把握を行っている。</li> <li>(2) 医薬品医療機器情報配信サービス（PMDA メディナビ）等を利用して、医薬品・医療機器の安全性に関する特に重要な情報を入手している。医薬品製造販売業者、卸売販売業者からの情報収集は、医薬品情報室で一元的に行っている。要対応と判断した事例は、随時、医薬品安全管理責任者に報告している。</li> <li>(3) 院内で発生した医薬品の副作用、インシデント等の情報は、病棟薬剤師が随時収集・評価を行っている。また、医薬品の新規採用後6ヶ月、1年を経過した時点で、採用依頼を提出した医師に副作用調査票の提出を委嘱し、医薬品情報室で集約している。</li> <li>(4) 全職員を対象に、緊急安全性情報や医薬品・医療機器等安全性情報などの注意喚起情報、インシデント報告から安全使用上周知が必要と思われる医薬品情報などをアナウンスメールで発信している。これらをまとめた「適正な医薬品使用のための情報」を全リスクマネージャー宛に周知依頼し、各部署からの周知完了日等の報告をもって、実施状況を確認している。</li> <li>(5) 薬剤使用時の注意点や薬剤に関する情報を適宜「DI ニュース」等で院内に提供している。病棟薬剤師は資料を担当診療科・病棟にて周知し記録を残している。</li> <li>(6) 病棟薬剤師は、医薬品の使用上の注意点等について、病棟毎のニーズに合わせて、看護師・医師を対象とした説明会を行い、実施の記録を残している。</li> </ol> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 調剤室等の薬剤師及び病棟薬剤師は処方情報から適応外・禁忌・未承認の医薬品使用を把握し、医師に必要性を確認している。医師がその医薬品を使用する場合は、患者への説明とカルテ記載を依頼し、リスクに応じて、医薬品安全管理小委員会あるいは高難度医療・未承認医薬品等管理室への申請が必要なことを伝えている。収集した情報は「適応外・禁忌・未承認薬データベース」に入力している。</li> <li>(2) 「適応外・禁忌・未承認薬データベース」に入力された情報は、病棟業務リーダー（医薬品安全管理補助者）が並行して確認し妥当性を評価している。さらに一覧表形式にまとめて毎月、医薬品安全管理責任者に報告し、指示事項があれば、病棟薬剤師を通じて医師にフィードバックしている。</li> <li>(3) 薬剤師が把握した未承認等の医薬品の使用に関する情報は「医薬品安全管理小委員会」に報告し情報共有している。</li> </ol> <p>・担当者の指名の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有・無</p> <p>・担当者の所属・職種：別紙2「医薬品安全管理補助者指名書」のとおり</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p>	

(所属： , 職種 ) (所属： , 職種 )	(所属： , 職種 ) (所属： , 職種 )
(所属： , 職種 ) (所属： , 職種 )	(所属： , 職種 ) (所属： , 職種 )
(所属： , 職種 ) (所属： , 職種 )	(所属： , 職種 ) (所属： , 職種 )
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況 <span style="float: right;"><input checked="" type="checkbox"/>有・無</span>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療の担い手が説明を行う際と同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/>有・無 )</li> <li>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容 :</li> </ul> <p>年4回、診療科(部)毎に1か月5例を無作為に選択し、インフォームド・コンセントの過程がわかるように説明内容、説明時反応、同席者が記載されているか等、チェック項目に基づき確認を行っている。適切でない事例が認められた場合は、IC責任者より、上記の評価結果を医療問題対策・臨床倫理委員会へ報告するとともに、病棟医長・看護師長会議や病院協議会等を通じ、院内の各部署へ周知する。また、インフォームド・コンセントを受けた患者に対して、同席者の有無、理解、納得について年3回のアンケート調査を行い、インフォームド・コンセントの質向上に努めている。</p>	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況 <span style="float: right;"><input checked="" type="checkbox"/>有・無</span>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容 :</li> </ul> <p>責任者の監督下において診療情報管理士及び病歴管理室運営専門委員会委員の中から責任者が指名した委員による診療録監査を実施している。  京都大学医学部附属病院規程第3条に定める診療科のうち、主科として患者を受け入れる診療科を対象として年2回行う。ただし1回で対象とする診療科数は10以内とし、2会計年度をあげず、対象の診療科が全て監査を受けるよう計画する。  監査結果は病院長報告後に各診療科へフィードバックを行っている。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況 <span style="float: right;"><input checked="" type="checkbox"/>有・無</span>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・所属職員：専従（3）名、専任（1）名、兼任（3）名</li> <li>  うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（2）名</li> <li>  うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</li> <li>  うち看護師：専従（1）名、専任（1）名、兼任（1）名</li> </ul> <p>(注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> <li>・インシデント・アクシデント報告に関すること。</li> <li>・医療安全管理対策の調査・分析及び指導に関すること。</li> <li>・医療安全管理対策の教育・研修に関すること。</li> <li>・定められた手順やルールが実践されているかどうかのモニタリング。</li> </ul> </li> </ul> <p>①画像診断結果報告書の未確認件数(月別、診療科別)  (ルール：放射線診断科医が読影診断結果を報告している。オーダー診療科の医師が報告内容を確認後、確認ボタンを押すと、報告書の内容がカルテに転記される。カルテへの転記がない</p>	

場合、報告内容の確認がされていない可能性があるため、診断結果の見落としエラー対策として作成したルールである。併せて、未読影率をフィードバックする。)

- ②注射薬を患者に投与する直前に、照合端末を用いて、薬剤ラベルと患者リストバンドを照合した率（月別、病棟別）  
(ルール：注射薬投与時は患者誤認事故をゼロにするため、ひとによる確認+器械による確認を組み合わせる。)
- ③抗がん剤の調製確定後の変更件数（月別、診療科別）  
(ルール：医師が抗がん剤を前日締め切り時刻までにオーダーし、前日締め切り後に薬剤師が監査する。当日10時までには医師は、患者に投与してよいか患者の状態やデータで判断し、調製確定を入力する。薬剤師は確定されたオーダーに基づいて薬剤を調製する。)
- ④バイタルデータターミナルを用いてバイタルデータを転送している率（月別、病棟別）  
(ルール：血圧、体温、SpO2、脈拍などのデータは、患者ベッドサイドに設置した端末にかざすことで、当該患者の電子カルテにタイムリーに転送される。今までは、看護師が電子カルテに転記していたため、測定時刻から転記まで時間がかかっていた。また誤記も散見された。)
- ⑤患者誤認報告件数  
(ルール：全ての医療・看護行為を実施する際は、患者自身にフルネームで名乗らせる。名乗れない場合は、リストバンドもしくは診察券で確認をする。)
- ⑥患者受け持ち忘れ報告件数  
(ルール：受け持ち看護師は、勤務初めに受け持ち登録を実施する。各勤務帯リーダー看護師は、勤務開始後1時間以内に受け持ち患者登録漏れがないかを確認する。)
- ⑦肺血栓塞栓症予防対策  
(ルール：マニュアルに沿った予防対策に取り組む。)

・ルールの逸脱（やむを得ない場合も含む）をインシデント報告対象として、逸脱件数を測定する。

- ①入院患者へのリストバンド未装着（月別、病棟別）  
(全員にリストバンドを装着するルールがあるが、皮膚の脆弱性などでやむを得ない場合も含め、未装着は全例報告する。)
- ②高濃度カリウム製剤投与に関する院内規程からの逸脱事例  
(医学的理由があっても、ルールから逸脱している場合には報告しておく。)

・リスクアセスメント（褥瘡リスク・転倒リスク）のアウトカムを評価するための事故件数のモニタリング

- ①院内褥瘡発生率
- ②転倒転落事故発生

・その他医療安全管理対策に関すること。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

#### ⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（9件）、及び許可件数（9件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・活動の主な内容：  
「京都大学医学部附属病院高難度新規医療技術取扱規程」に、高難度新規医療技術の定義、高難度新規医療技術の提供に係る申請事項（既存の技術との優位性、医療提供体制の整備状況、執刀医等の経験、患者への説明同意の取得方法等）、倫理委員会審査の受審、実施体制の確認及び報告、遵守状況の確認、病院長への報告など、高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合における必要な事項、遵守・確認すべき事項を定め活動している。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）

- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（5件）、及び許可件数（5件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・活動の主な内容：  
「京都大学医学部附属病院未承認新規医薬品等取扱規程」に、未承認新規医薬品等を用いた医療の定義、未承認新規医薬品等を用いた医療の提供に係る申請事項（既存の医薬品等との優位性、未承認新規医薬品等の使用条件、有害事象の把握方法、患者への説明同意の取得方法等）、倫理委員会審査の受審、実施体制の確認及び報告、遵守状況の確認、病院長への報告など、未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合における必要な事項、遵守・確認すべき事項を定め活動している。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 331 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 92 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容  
医療サービスに起因し、影響度レベルが重症・重大なものについて、医療安全管理室は、毎月開催の医療安全管理委員会にて報告する。委員会では、これらのうち、調査が必要と判断したものについては、外部委員を含めるか含めないかなども含め、調査方法を決定する。また、影響度レベルが3a以下または未遂であっても、インシデントが潜在的に危険を有しているものがあれば、調査を命じることがある。医療安全管理委員会の審議結果は病院長に報告される。調査結果についても医療安全管理委員会及び病院長に報告される。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（（病院名：愛媛大学）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（（病院名：信州大学）・無）
- ・技術的助言の実施状況  
立入り後に技術的助言を含む報告書として取りまとめ、相手方病院へ送付した。  
立入り受入れ後には相手方病院から技術的助言を含む報告書を受け取り院内で周知対応した。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

本院には患者やその家族からの相談、苦情に対して適切な処理を行うことを目的とする患者相談窓口がある。

各診療科（部）は、患者等からの相談内容について、患者相談窓口から対応を要請された場合は、責任をもって協力するものとする。

各診療科（部）に患者支援担当者を置き、患者等からの相談内容について患者相談窓口と連携し、責任をもって対応するものとする。

各診療科（部）のリスクマネージャーが、患者支援担当者として兼務する。

相談内容が医療安全に関する事項については、インシデント報告を行い、医療安全管理部門が把握する。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

いつでも受講可能な e-learning を整備し、受講状況をモニタリングしている。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者	: 特定機能病院管理者研修 (令和6年1月9日)
医療安全管理責任者	: 特定機能病院管理者研修 (令和6年2月6日)
医薬品安全管理責任者	: 特定機能病院管理者研修 (令和5年11月20日)
医療機器安全管理責任者	: 特定機能病院管理者研修 (令和6年1月9日)

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

令和5年度 (令和6年1月23日～1月26日に ISO9001 審査) に審査を受けた。

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

病院ホームページに審査結果を掲載している。

・評価を踏まえ講じた措置

別紙3「品質マネジメントシステム (QMS) 再認証審査 審査結果」のとおり

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基準の主な内容           <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療法第10条に規定された病院の管理者として要件を満たす医師であること。</li> <li>2. 大学附属病院の管理運営に必要な資質・能力を有すること。</li> <li>3. 医療安全確保のために必要な資質・能力を有すること。</li> <li>4. 京都大学医学部附属病院の基本理念を理解し、その実現に向けた強い意思とリーダーシップを有すること。</li> </ol> </li> <li>・ 基準に係る内部規程の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li> <li>・ 公表の方法 大学ホームページに掲載 <a href="https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/publication/conference/ihoukoku/hospital/rinen">https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/publication/conference/ihoukoku/hospital/rinen</a></li> </ul>
--

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・無			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 ( 有・無 )</li> <li>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 ( 有・無 )</li> <li>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 ( 有・無 )</li> <li>・ 公表の方法</li> </ul>				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
岩井 一宏	理事(企画・調整、評価、附属病院)	○	病院担当の理事	有
伊佐 正	医学部		医学部長	有
高折 晃史	医学部附属病院		医学部附属病院長	有
松田 秀一	医学部附属病院		医学部附属病院副病院長 (診療、労務、病床管理担当)	有
平井 豊博	医学部附属病院		医学部附属病院副病院長 (医療安全、安全衛生、広報担当)	有
井川 順子	医学部附属病院看護部		医学部附属病院看護部長	有

久保 公四郎	医学部附属病院事務部		医学部附属病院事務部長	有
邊見 公雄	公益社団法人 全国自治体病院協議会 (名誉会長)		医学・医療に関し識見を有する学外者	無
松井 道宣	京都府医師会 (会長)		医学・医療に関し識見を有する学外者	無
古川 博規	京都府 (副知事)		医学・医療に関し識見を有する学外者	無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の  
設置及び運営状況

合議体の設置の有無		有・無	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・合議体の主要な審議内容 病院運営に関する重要事項を協議するため、協議会を置く。 協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、協議会が定める。</li> <li>・審議の概要の従業者への周知状況 院内ホームページに議事要旨を掲載</li> <li>・合議体に係る内部規程の公表の有無（有・無） <ul style="list-style-type: none"> <li>・公表の方法</li> </ul> </li> <li>・外部有識者からの意見聴取の有無（有・無）</li> </ul>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
別紙4のとおり			

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・）
- ・ 公表の方法
  
- ・ 規程の主な内容：  
別紙5のとおり
  
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割  
副院長（診療、労務、病床管理担当）、副院長（経営、施設担当）、副院長（研究経営戦略担当）、副院長（医療安全、安全衛生、広報担当）、副院長（教育、人事、男女共同参画推進担当）、病院長補佐（病院長が指示した特定の事項について企画立案及び連絡調整を行う。）、病院運営企画室（病院長の指示により病院運営及び経営に関し、情報の収集及び分析を行うとともに必要事項について企画立案し、病院長に提言する。）
  
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
  - ・ 国立大学病院長会議が主催する「病院経営次世代リーダー養成塾」に病院長補佐が参加。
  - ・ 病院協議会構成員を病院長補佐へ積極的に選任し、週1回開催される執行部会議に出席させることで病院マネジメントを経験させている。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・ 監査委員会の開催状況： 年2回</p> <p>・ 活動の主な内容： 本院における医療安全管理に係る業務執行状況の監査、及び監査結果に基づき、必要に応じて総長や病院長に対し是正措置を講じるよう意見する。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 公表の方法： 京都大学ホームページに掲載</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
笠井 正俊	京都大学法学 研究科		総長が指名する副 学長	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	3
平野 哲郎	立命館大学 法科大学院		法律に関する専門 的知識を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
中村 猛	京都府立医科大 学医療安全推進 部		医療に係る安全管 理に関する専門的 知識を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
伊藤 英樹	広島大学病院 医療安全管理部		医療に係る安全管 理に関する専門的 知識を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
山口 育子	認定 NPO 法人 ささえあい医療 人権センター COML	○	医療を受ける者そ の他の医療従事者 以外の者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを  
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・体制の整備状況及び活動内容：  
総長の命により実施する内部監査として、本学の監査担当部署が病院管理者の業務が法令に適合していることを確保するための監査を行っている。
- ・ 専門部署の設置の有無（  ・ 無 ）
- ・ 内部規程の整備の有無（  ・ 無 ）
- ・ 内部規程の公表の有無（  ・ 無 ）
- ・ 公表の方法：  
京都大学ホームページに掲載

規則第15条の4第1項第3号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 以下に掲げる委員7名以上で組織されており、うち過半数は②の委員で構成されている。 ①総長が指名する理事又は副学長 ②本学の役員又は職員以外の者のうちから総長が任命するもの ③その他本学の教職員のうちから総長が必要と認める者 若干名 議長は①の委員のうち、総長が指名するものを充てており、委員の半数以上の出席で会議を開会する。</li> <li>・ 会議体の実施状況（ 年1回 ）</li> <li>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）（ 年1回 ）</li> <li>・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）</li> <li>・ 公表の方法 京都大学ホームページに掲載 <a href="https://www.kyoto-u.ac.jp/uni_int/kitei/reiki_honbun/w002RG00001420.html">https://www.kyoto-u.ac.jp/uni_int/kitei/reiki_honbun/w002RG00001420.html</a></li> </ul>			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：医学部附属病院業務監督会議			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
笠井 正俊	京都大学副学長	○	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
江上 雅彦	京都大学理事（財務、施設、環境担当）		<input checked="" type="checkbox"/> ・無
稲垣 暢也	公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院 理事長		有・ <input checked="" type="checkbox"/>
黒田 啓史	京都市立病院機構 京都市立病院 院長		有・ <input checked="" type="checkbox"/>
邊見 公雄	全国自治体病院協議会 名誉会長		有・ <input checked="" type="checkbox"/>
松井 道宜	京都府医師会 会長		有・ <input checked="" type="checkbox"/>
山口 育子	認定 NPO 法人 ささえあい医療人権センターCOML 理事長		有・ <input checked="" type="checkbox"/>

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 )</li><li>・ 通報件数 (年0件)</li><li>・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 )</li><li>・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 )</li><li>・ 周知の方法 院内ホームページに掲載</li></ul>

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・情報発信の方法、内容等の概要 病院ホームページ( <a href="https://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp">https://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp</a> )および広報誌「京大病院広報」「京大病院のご案内」( <a href="https://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/relation/publish.html">https://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/relation/publish.html</a> )、YouTubeの京大病院公式チャンネル ( <a href="https://www.youtube.com/c/KUHPofficial">https://www.youtube.com/c/KUHPofficial</a> ) において、各診療科の紹介や院内活動の報告、疾患の情報提供等を行っている。	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 1) 「集学的がん診療ユニット」と呼ばれる診療科横断的な診療体制を構築している。がん種ごとに専門とする内科医・外科医・放射線治療医、あるいは病理診断医・放射線診断医・各種医療スタッフが、診療科・職種を越えてカンファレンス・診療を行い、迅速かつ最適な治療を提供している。また、がん種ごとに毎週定期カンファレンスを実施することにより、患者の情報および専門性の高い知識を共有することで医療の質を高め、専門医・スタッフの教育の場としても大きな効果を上げている。さらに、分子標的薬やがん免疫チェックポイント阻害薬の普及により、全身管理を必要とする有害事象対策が求められており、非がん領域の様々な診療科との連携体制を構築し、治療を受ける患者の安全対策に万全を期している。 2) 2019年6月より遺伝子パネル検査が保険適応となり、がんゲノム医療中核拠点病院としてがんゲノム医療を先進的に提供する体制を構築している。全国の22のがんゲノム医療連携病院と連携しがん遺伝子パネル検査施行症例に関して、京大をホストに各施設と週1回のWeb会議でエキスパートパネルを開催している。エキスパートパネルでは、院内の専門家(領域の異なるがん薬物療法の専門医、病理専門医、遺伝医学の専門医、認定遺伝カウンセラー、担当医)が各症例ごとに検討し、推奨治療の有無や遺伝カウンセリングの必要性の検討を行っている。各施設からも、腫瘍内科医、病理医、腫瘍外科医、婦人科医、脳外科医、小児科医、臨床遺伝専門医、遺伝カウンセラーなどの複数の職種が参加して、非常に活発な議論を行い治療方針を提示し、高度な医療を提供している。	

## 未承認等の医薬品の具体的な使用事例

適応外・禁忌・未承認のデータベース集計

2023/4/1～2024/3/31

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2023/4/4	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/4/4	適応外	その他	ウトロゲスタン腔坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2023/4/6	適応外	その他	ウトロゲスタン腔坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防目的
2023/4/6	適応外	その他	シムレクト静注用20mg	呼吸器外科	肺移植後の拒絶予防
2023/4/7	禁忌	その他	乾燥弱毒 生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/4/7	禁忌	その他	乾燥弱毒生麻しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/4/7	禁忌	その他	乾燥弱毒 生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/4/7	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/4/7	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/4/7	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2023/4/7	適応外	その他	越婢加朮湯エキス	NICU	胎児水腫・難治性腹水
2023/4/10	禁忌	その他	インテバン坐剤25 25mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/4/11	適応外	その他	エリスロシンドライシロップ	肝胆膵 移植外科	術後DGEに対して開始
2023/4/14	適応外	その他	ガバペン錠	耳鼻咽喉科	頭痛

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2023/4/12	適応外	その他	ウトロゲスタン腔坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防目的
2023/4/17	適応外	抗がん剤	メソトレキセート錠2.5mg	免疫 膠原病内科	強皮症、多発性筋炎
2023/4/17	適応外	その他	キシロカインポリアンブ2%	循環器内科	持続する不整脈
2023/4/18	禁忌・ 適応外	要注意薬 (抗がん薬以 外)	プラケニル錠200mg	小児科	間質性肺疾患 (適応外、6歳未満禁 忌)
2023/4/19	適応外	抗がん剤	メソトレキセート注	眼科	眼内悪性リンパ腫
2023/4/21	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対する t-PA製剤の使用
2023/4/22	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2023/4/24	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2023/4/25	適応外	麻薬	オプソ内服液5mg	呼吸器内科	鎮咳
2023/4/27	適応外	抗がん剤	ジャカビ錠5mg	血液内科	消化管GVHDの治療
2023/5/2	禁忌	その他	乾燥弱毒 生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/5/2	禁忌	その他	乾燥弱毒生麻しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/5/2	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防
2023/5/3	適応外	要注意薬 (抗がん薬以 外)	クロピドグレル錠75mg	脳神経内科	脳梗塞に対する クロピドグレル初回 300mg
2023/5/8	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2023/5/8	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2023/5/9	適応外	抗がん剤	イリノテカン・シスプラチ ン	耳鼻咽喉科	鼻腔内 小細胞神経内分泌癌

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2023/5/10	適応外	その他	コルヒチン錠0.5mg	循環器内科	アブレーション後心膜炎

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2023/5/17	適応外	抗がん剤	エトポシド/シスプラチン	泌尿器科	前立腺神経内分泌腫瘍
2023/5/19	適応外	抗がん剤	エトポシド	血液内科	移植後 血球貪食症候群
2023/5/22	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/5/22	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/5/22	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/5/23	適応外	安注忌薬 (抗がん薬以外)	デクスメトミジン	脳神経外科	放射線治療時の鎮静
2023/5/23	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/5/24	禁忌 適応外	その他	インテバン坐剤25 25mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/5/25	適応外	安注忌薬 (抗がん薬以外)	エフィエントOD錠20mg	脳神経外科	脳梗塞
2023/5/30	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/5/31	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/6/1	適応外	抗がん剤	ジャカビ錠5mg	小児	GVHD
2023/6/1	禁忌	その他	乾燥弱毒生麻しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/6/2	適応外	安注忌薬 (抗がん薬以外)	アクテムラ点滴静注用	免疫 膠原病内科	巨細胞性動脈炎
2023/6/5	適応外	抗がん剤	ロイケリン散10%	消化器内科	クローン病
2023/6/5	適応外	抗がん剤	エトポシド/シスプラチン	消化器内科	NEC (小細胞)
2023/6/8	適応外	その他	オクトレオチド	NICU	胎児水腫
2023/6/12	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/6/12	適応外	その他	ウトロゲスタン腔坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2023/6/13	適応外	抗がん剤	オプジーボ	腫瘍内科	CDK12変異を有する 去勢抵抗性前立腺癌
2023/6/14	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/6/15	適応外	抗がん剤	リツキシマブ	血液内科	自己免疫性溶血性貧血
2023/6/15	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対する t-PA製剤の使用
2023/6/15	適応外	その他	グレースビット錠50mg	呼吸器内科	肺MAC
2023/6/15	適応外	その他	アジスロマイシン250mg錠	呼吸器内科	肺NTM

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2023/6/19	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	アザチオプリン錠50mg	脳神経内科	MOG抗体関連疾患
2023/6/20	適応外	その他	ジアグノグリーン	NICU	胎児水腫の原因検索のためのリンパ管造影
2023/6/20	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対するt-PA製剤の使用
2023/6/20	適応外	その他	ミダゾラム注	脳外科	夜間鎮静目的
2023/6/20	適応外	その他	リネゾリド錠600mg	呼吸器内科	肺MAC
2023/6/21	適応外	その他	ワソラン錠40mg	脳神経内科	片頭痛の発作予防
2023/6/22	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ミダゾラム注	循環器内科	終末期の鎮静
2023/6/22	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/6/22	適応外	その他	ウトロゲスタン腔坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2023/6/23	適応外	抗がん剤	ベネクレクスタ錠100mg	血液内科	ALL
2023/6/26	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	リツキサン	呼吸器外科	ABO血液型不適合肺移植
2023/6/28	適応外	抗がん剤	リムパーザ	小児科	BRCA2 遺伝子変異陽性再発性脳腫瘍
2023/6/30	適応外	抗がん剤	ロイケリン散	消化器内科	潰瘍性大腸炎
2023/6/30	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ケナコルト-A 筋注用関節腔内用水懸注	眼科	網膜浮腫
2023/7/5	適応外	抗がん剤	アブラキサン	がん診療部	胸腺癌
2023/7/10	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	インフリキシマブBS	免疫 膠原病内科	高安動脈炎
2023/7/10	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ボグリボースOD錠0.2mg	糖尿病 内分泌内科	反応性低血糖
2023/7/12	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ケナコルト-A 筋注用関節腔内用水懸注	眼科	網膜浮腫
2023/7/12	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ケナコルト-A 筋注用関節腔内用水懸注	眼科	網膜浮腫
2023/7/12	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ケナコルト-A 筋注用関節腔内用水懸注	眼科	網膜浮腫

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2023/7/13	適応外	抗がん剤	ゲムシタビン、ドセタキセル	脳神経外科	異型奇形腫瘍／ラブドイド腫瘍（AT/RT）
2023/7/14	適応外	要注意薬 （抗がん薬以外）	ゼルヤンツ錠5mg	免疫 膠原病内科	抗MDA5抗体陽性無筋症 性皮膚筋炎関連間質性肺炎
2023/6/28	適応外	その他	プレバイミス錠240mg	感染制御部 /呼吸器外科	バリキサで予防困難な サイトメガロウイルス感 染症の発症抑制
2023/6/30	適応外	その他	ニフェジピンCR20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/6/30	適応外	その他	ウトロゲスタン腔坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2023/6/30	適応外	その他	ニフェジピンCR	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/7/4	適応外	その他	ウトロゲスタン 腔用カプセル200mg	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2023/7/6	適応外	その他	ノボセブン	血液内科	血小板機能低下症 （血小板輸血不応）
2023/7/7	適応外	その他	オクトレオチド100 $\mu$ g	NICU	胸水貯留
2023/7/7	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/7/11	適応外	その他	ウトロゲスタン腔坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2023/7/12	適応外	その他	点滴静注用ホスカビル注	呼吸器外科	ガンシクロビル不応の 肺移植後CMV抗原血症
2023/6/22	適応外	麻薬	ケタラール静注用200mg	循環器内科	鎮痛
2023/6/30	禁忌	その他	乾燥弱毒生麻しんワクチン	小児外科	感染予防
2023/6/30	禁忌 適応外	その他	インテバン坐剤	産婦人科	子宮収縮抑制

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2023/7/18	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	リウマトレックス	免疫 膠原病内科	免疫介在性壊死性ミオパチー (皮膚筋炎・多発性筋炎)
2023/7/19	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ゼルヤンツ錠5mg	免疫 膠原病内科	皮膚筋炎
2023/7/19	適応外	その他	ニフェジピンCR20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2023/7/20	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ケナコルト-A筋注用関節腔 内用水懸注	眼科	網膜浮腫
2023/7/20	適応外	その他	ウトロゲスタン腔坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2023/7/21	禁忌	要注意薬 (抗がん薬以外)	エリキュース	循環器内科	持続性心房細動
2023/7/21	適応外	その他	ブリカニール皮下注	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/7/25	適応外	抗がん剤	ダラキューロ	血液内科	再発ETP-ALL
2023/7/25	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ヒュミラ	小児科	RELA異常症
2023/7/25	適応外	その他	ウトロゲスタン腔坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2023/7/25	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/7/26	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/7/26	適応外	その他	メマンチン塩酸塩OD錠	精神科神経科	強迫性障害
2023/7/27	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ケナコルト-A筋注用関節腔 内用水懸注	眼科	網膜浮腫
2023/7/27	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ケナコルト-A筋注用関節腔 内用水懸注	眼科	網膜浮腫
2023/7/28	適応外	抗がん剤	マイトマイシン注用2mg	眼科	緑内障手術
2023/7/28	適応外	抗がん剤	マイトマイシン注用2mg	眼科	緑内障手術
2023/7/28	適応外	抗がん剤	マイトマイシン注用2mg	眼科	緑内障手術
2023/7/28	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ケナコルト-A筋注用関節腔 内用水懸注	眼科	網膜浮腫

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2023/7/31	適応外	抗がん剤	マイトマイシン注用2mg	眼科	緑内障手術
2023/7/31	禁忌	その他	乾燥弱毒生麻しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/7/31	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/7/31	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/7/31	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/8/7	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	バイアスピリン錠100mg	産婦人科	抗リン脂質抗体症候群の妊婦に対し妊娠予後の改善
2023/8/7	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2023/8/7	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2023/8/17	適応外	その他	シムレクト静注用20mg	呼吸器外科	肺移植後の拒絶予防
2023/8/17	適応外	その他	ヘマンジオルシロップ小児用	NICU	胎児水腫
2023/8/18	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2023/8/18	適応外	その他	ウトロゲスタン腔坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防目的
2023/8/18	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対するt-PA製剤の使用
2023/8/21	適応外	抗がん剤	ペメトレキセド	呼吸器内科	胸腺癌
2023/8/21	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	デクスメトミジン	循環器内科	苦痛緩和のための鎮静
2023/8/23	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	リツキサン点滴静注	免疫膠原病内科	ループス腎炎
2023/8/25	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2023/8/28	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	リツキシマブ注	免疫膠原病内科	関節リウマチ
2023/8/28	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2023/8/28	適応外	その他	ウトロゲスタン腔坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防目的
2023/9/1	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ミダゾラム注10mg	血液腫瘍内科	苦痛緩和のための鎮静
2023/9/4	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	インフリキシマブBS点滴用	免疫膠原病内科	再発性多発軟骨炎
2023/9/4	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ゼルヤンツ錠5mg	免疫膠原病内科	抗MDA5抗体陽性無筋症性皮膚筋炎関連間質性肺疾患
2023/9/4	適応外	その他	リメタゾン静注2.5mg 1mL	血液内科	血球貪食症候群
2023/9/4	禁忌	その他	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/9/4	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/9/4	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/9/4	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	肝胆膵・移植外科	感染予防のため

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2023/9/4	禁忌	その他	乾燥弱毒生麻しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/9/4	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/9/4	禁忌	その他	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/9/4	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/9/6	適応外	抗がん剤	スミフェロン注DS600 IU、スミフェロン注DS600 五IU	血液内科	リンパ腫様肉芽腫症 (grade2)
2023/9/6	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2023/9/11	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ゼルヤンツ錠5mg	免疫膠原病内 科	抗MDA5抗体陽性皮膚筋炎 性急速進行性間質性肺炎
2023/9/12	適応外	抗がん剤	エトポシド、カルボプラチ ン	呼吸器内科	NET
2023/9/13	禁忌	その他	セララ錠50mg スピロノ ラクトン25mg錠	糖尿病内分泌 栄養内科	原発性アルドステロン症
2023/9/14	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対するt-PA製 剤の使用

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2023/9/16	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2023/9/20	適応外	麻薬	オプソ	循環器内科	呼吸苦
2023/9/22	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ミダゾラム注10mg	産婦人科	終末期がん患者の苦痛緩和のための鎮静
2023/9/25	適応外	抗がん剤	ロイケリン散10%	消化器内科	クローン病治療
2023/9/26	適応外	その他	セレコックス錠100mg	産科	子宮収縮抑制
2023/9/26	禁忌 適応外	その他	インテバン坐剤25	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2023/9/29	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2023/9/29	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2023/10/2	禁忌	その他	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/10/2	禁忌	その他	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/10/2	禁忌	その他	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/10/2	禁忌	その他	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/10/2	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/10/4	適応外	その他	デクスメデトミジン	小児科	苦痛緩和のための鎮静
2023/10/4	適応外	その他	トービイ吸入液300mg 5mL	呼吸器外科	MDRP肺炎
2023/10/6	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ミダゾラム注10mg	呼吸器内科	終末期がん患者の苦痛緩和のための鎮静
2023/10/7	適応外	その他	ニフェジピンCR	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2023/10/12	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対するt-PA製剤の使用
2023/10/12	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対するt-PA製剤の使用

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2023/10/23	禁忌	その他	乾燥弱毒生麻しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/10/24	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2023/10/27	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ゼルヤンツ錠5mg	免疫膠原病内 科	抗MDA5抗体陽性皮膚筋 炎性急速進行性間質性肺 炎
2023/10/27	適応外	その他	アジスロマイシン250mg錠	呼吸器内科	肺MAC
2023/10/30	適応外	抗がん剤	パクリタキセル、カルボプ ラチン	呼吸器内科	胸腺腫
2023/10/31	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	炭酸リチウム200mg錠	糖尿病内分泌 栄養内科	バセドウ病
2023/11/2	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2023/11/2	適応外	その他	ダイフェン配合錠	免疫膠原病内 科	鼻限局型GPA（多発血管 炎性肉芽腫症）
2023/11/6	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対するt-PA製 剤の使用
2023/11/7	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2023/11/13	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	バイアスピリン錠100mg	産婦人科	妊娠高血圧腎症の発症抑 制
2023/11/14	適応外	その他	ウトロゲスタン膣坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2023/11/14	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的





情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2023/11/22	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2023/11/27	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対するt-PA製剤の使用
2023/11/28	適応外	その他	ウトロゲスタン腔坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2023/11/28	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/11/30	禁忌	その他	乾燥弱毒生麻しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/11/30	禁忌	その他	乾燥弱毒生麻しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/11/30	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/12/4	適応外	その他	シムレクト静注用20mg (溶解液付)	呼吸器外科	肺移植後の拒絶予防
2023/12/5	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対するt-PA製剤の使用
2023/12/6	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ゼルヤンツ錠5mg	免疫膠原病内科	抗MDA5抗体陽性皮膚筋炎性間質性肺炎
2023/12/7	適応外	その他	ゼンタコート	小児科	腸管GVHD
2023/12/12	適応外	抗がん剤	エポシド・カルボプラチン	泌尿器科	膀胱小細胞癌
2023/12/13	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	プロタノール注	小児科	重症喘息発作に対してプロタノール注持続吸入療法
2023/12/14	適応外	その他	ウトロゲスタン腔坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2023/12/15	適応外	その他	セルセプトカプセル250mg	腫瘍内科	irAE胆管炎
2023/12/15	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2023/12/18	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	セルセプトカプセル250 250mg	皮膚科	水疱性類天疱瘡の加療
2023/12/19	適応外	抗がん剤	注射用メソトレキセート 50mg	産科婦人科	異所性妊娠に対する薬物 治療
2023/12/19	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	KCL注	産科婦人科	異所性妊娠に対する薬物治療 (胎児心拍を停止させるた め)
2023/12/20	適応外	抗がん剤	Pac/CBDCA (Pacなし)	泌尿器科	前立腺癌
2023/12/21	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2023/12/21	適応外	その他	ウトロゲスタン腔坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防目的
2023/12/26	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	デクスメデトミジン静注液	脳神経外科	<p>* 一般病棟でのデクスメデトミジンの使用 延髄 diffuse midline glioma、潰瘍性大腸炎既往あり、週末には中毒性巨大結腸症に近い病態となり、オキシコドン中止となった。 緩和チーム介入いただき、夜間のみデクスメデトミジン使用する方針となった。 薬剤部リスクマネージャー 深津Ph・薬剤部調剤室と情報共有済み。</p> <p>主治医団より本人または家族へのICをカルテ記載いただいた。 担当Nsと呼吸抑制等のリスクを共有した。注意深く観察いただく。</p>
2023/12/27	禁忌	その他	乾燥弱毒生麻しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/12/28	適応外	その他	トービイ吸入液300mg 5mL	腎臓内科	MDRP肺炎
2024/1/9	禁忌 適応外	その他	マーカイン注脊麻用0.5%等 比重	眼科	白内障手術時の麻酔

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2024/1/9	適応外	その他	ウトロゲスタン膣坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2024/1/11	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	バイアスピリン錠100mg	産婦人科	抗リン脂質抗体症候群の妊婦に対し妊娠予後の改善
2024/1/11	適応外	その他	ザバクサ配合点滴静注用	小児外科	多剤耐性GNRに対し投与
2024/1/11	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/1/15	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2024/1/16	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ゼルヤンツ錠5mg	免疫膠原病内 科	間質性肺炎合併の抗 MDA5抗体陽性皮膚筋炎
2024/1/16	適応外	その他	ガバペン錠200mg	小児科	慢性咳嗽
2024/1/22	適応外	麻薬	オプソ内服液5mg 2.5mL	呼吸器内科	呼吸苦に対しての使用
2024/1/23	禁忌	その他	乾燥弱毒生麻しんワクチン	肝胆膵・移植 外科	感染予防のため
2024/1/23	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/1/30	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/2/7	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	レミケード	免疫膠原病内 科	高安動脈炎
2024/2/7	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対するt-PA製 剤の使用
2024/2/8	適応外	その他	ウプトラビ錠0.2mg	呼吸器内科	強皮症
2024/2/13	適応外	その他	ホスカビル注	泌尿器科	生体腎移植後のCMV感染症。 他剤無効であり、ICT介入のう えホスカビル開始することと なった。
2024/2/14	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	デュピクセント	皮膚科	難治性水疱性類天疱瘡の 治療
2024/2/15	適応外	その他	テオフィリン徐放錠100mg	循環器内科	徐脈に対し

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2024/2/17	適応外	要注意薬（抗がん薬以外）	リツキシマブ注	免疫膠原病内科	関節リウマチ
2024/2/18	適応外	その他	シムレクト静注用20mg（溶解液付）	呼吸器外科	肺移植後の拒絶予防
2024/2/19	禁忌	その他	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/2/19	禁忌	その他	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/2/19	禁忌	その他	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/2/20	適応外 禁忌	その他	マーカイン注脊麻用0.5%等比重	眼科	白内障手術時の麻酔
2024/2/24	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/2/24	適応外	その他	ウトロゲスタン膣坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2024/2/27	適応外	抗がん剤	キイトルーダ	呼吸器内科	原発不明癌（小細胞癌に準じて治療）
2024/2/28	適応外	その他	カタプレス錠150 $\mu$ g	小児科	デクスメトミジンの離脱予防
2024/2/29	適応外	要注意薬（抗がん薬以外）	セルセプト、タラフィド、アクテムラ皮下注	呼吸器内科	強皮症/間質性肺炎
2024/3/4	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/3/4	適応外	その他	ウトロゲスタン膣坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2024/3/4	適応外	その他	リネゾリド600mg	呼吸器内科	非結核性抗酸菌感染症
2024/3/6	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/3/6	適応外	その他	ウトロゲスタン膣坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2024/3/6	適応外	その他	レクチゾール錠25mg	小児科	IgA血管炎に対して
2024/3/6	適応外	要注意薬（抗がん薬以外）	キシロカイン注ポリアンプ1%	腫瘍内科	疼痛緩和
2024/3/13	適応外	要注意薬（抗がん薬以外）	セルセプトカプセル250	腫瘍内科	irAE肝障害に対して使用
2024/3/14	禁忌	要注意薬（抗がん薬以外）	ガンシクロビル500mg静注用	血液内科	NEUT500未満だが処方オーダーあり

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2024/3/15	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2024/3/18	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/3/18	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ミダゾラム注	血液腫瘍内科	苦痛緩和のための鎮静
2024/3/21	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対するt-PA製剤の使用
2024/3/25	適応外	その他	セルセプトカプセル250 250mg	皮膚科	尋常性天疱瘡
2024/3/26	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/3/26	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2024/3/26	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2024/3/26	適応外	抗がん剤	アブラキサン	呼吸器内科	小細胞肺癌

令和6年4月1日

京都大学医学部附属病院  
医薬品安全管理責任者 寺田智祐

## 医薬品安全管理補助者指名書

医療法施行規則第九条の二十の二\* 第一項第三号イ及びロに掲げる措置を適切に実施するため、担当者として下記の者を指名します。

\*平成三十年改正省令

## 記

所属	職名	氏名	指名日
薬剤部	副薬剤部長	中川 俊作	平成29年10月2日
	副薬剤部長	津田 真弘	令和5年4月1日
	副薬剤部長	池見 泰明	平成28年9月28日
	副薬剤部長	野村 久祥	令和6年4月1日
	副薬剤部長	尾崎 淳子	平成28年9月28日
	講師	平 大樹	令和3年6月1日
	薬剤主任	岡村みや子	平成30年9月3日
	薬剤主任	杉本 充弘	平成28年9月28日
	薬剤主任	山際 岳朗	平成28年9月28日
	薬剤主任	吉田 優子	平成28年9月28日
	薬剤主任	松田 裕也	平成28年9月28日
	薬剤主任	志田 あゆみ	令和6年4月1日
	薬剤師	石塚 良子	平成28年9月28日
	薬剤師	上杉 美和	平成28年9月28日

	薬剤師	片田 佳希	令和 4 年 4 月 1 日
	薬剤師	川上 恵	令和 5 年 6 月 1 日
	薬剤師	川田 将義	平成 28 年 12 月 12 日
	薬剤師	佐藤 裕紀	平成 30 年 9 月 3 日
	薬剤師	高橋 悠	令和 5 年 4 月 1 日
	薬剤師	早田 千容	令和 4 年 4 月 1 日
	薬剤師	森田 洋亮	平成 28 年 9 月 28 日
	薬剤師	田上 裕美	令和 6 年 1 月 1 日

病院協議会 構成員

2024.10.1現在

協議員	氏名	所属	職位	備考
第2条第1項第1号	高折 晃史	病院長（血液内科）	教授	※議長
第2条第1項第2号	松田 秀一	副病院長、整形外科長	教授	
第2条第1項第2号	妹尾 浩	副病院長、消化器内科長	教授	
第2条第1項第2号	波多野 悦朗	副病院長、肝胆膵・移植外科長、小児外科長	教授	
第2条第1項第2号	平井 豊博	副病院長、呼吸器内科長	教授	
第2条第1項第2号	溝脇 尚志	副病院長、放射線治療科長	教授	
第2条第1項第3号	黒田 知宏	病院長補佐、医療情報企画部長	教授	
第2条第1項第3号	武藤 学	病院長補佐、腫瘍内科長	教授	
第2条第1項第3号	小濱 和貴	病院長補佐、消化管外科長	教授	
第2条第1項第3号	柳田 素子	病院長補佐、腎臓内科長	教授	
第2条第1項第3号	大鶴 繁	病院長補佐、初期診療・救急科長	教授	
第2条第1項第3号	青山 朋樹	病院長補佐、人間健康科学系専攻長	教授	14号にも該当
第2条第1項第3号	寺田 智祐	病院長補佐、薬剤部長	教授	
第2条第1項第3号	井川 順子	病院長補佐、看護部長	看護部長	
第2条第1項第3号	久保 公四郎	病院長補佐、事務部長	事務部長	
第2条第1項第4号	山下 浩平	血液内科長	准教授	
第2条第1項第4号	矢部 大介	糖尿病・内分泌・栄養内科長	教授	
第2条第1項第4号	尾野 亘	循環器内科長	教授	
第2条第1項第4号	森信 暁雄	免疫・膠原病内科長	教授	
第2条第1項第4号	松本 理器	脳神経内科長	教授	
第2条第1項第4号	嶋田 和貴	緩和医療科長	准教授	
第2条第1項第4号	中島 貴子	早期医療開発科長	教授	
第2条第1項第4号	増田 慎三	乳腺外科長	教授	
第2条第1項第4号	湊谷 謙司	心臓血管外科長	教授	
第2条第1項第4号	伊達 洋至	呼吸器外科長	教授	
第2条第1項第4号	荒川 芳輝	脳神経外科長	教授	
第2条第1項第4号	辻川 明孝	眼科長	教授	
第2条第1項第4号	大森 孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科長	教授	
第2条第1項第4号	廣田 誠	歯科口腔外科長	教授	
第2条第1項第4号	森本 尚樹	形成外科長	教授	
第2条第1項第4号	万代 昌紀	産科婦人科長	教授	
第2条第1項第4号	小林 恭	泌尿器科長	教授	
第2条第1項第4号	江木 盛時	麻酔科長	教授	
第2条第1項第4号	滝田 順子	小児科長	教授	
第2条第1項第4号	中本 裕士	放射線診断科長	教授	
第2条第1項第4号	梶島 健治	皮膚科長	教授	
第2条第1項第4号	村井 俊哉	精神科神経科長	教授	
第2条第1項第4号	池口 良輔	リハビリテーション科長	教授	
第2条第1項第4号	羽賀 博典	病理診断科長	教授	
第2条第1項第5号	近藤 祥司	高齢者医療ユニット長	准教授	
第2条第1項第6号	長尾 美紀	検査部長	教授	
第2条第1項第7号	松村 由美	医療安全管理部長	教授	
第2条第1項第8号	永井 純正	医療開発部長	教授	
第2条第1項第8号	森田 智視	クリニカルトリアルサイエンス部長	教授	
第2条第1項第8号	永井 洋士	臨床研究支援部長	教授	
第2条第1項第9号	中山 健夫	倫理支援部長	教授	
第2条第2項	加藤 源太	病床運営管理部	特定教授	
第2条第1項第13号	片岡 仁美	医学教育・国際化推進センター	教授	
第2条第2項	池田 昭夫	てんかん診療支援センター長	特定教授	
第2条第2項	河井 昌彦	総合周産期母子医療センター長	特定教授	

## 管理者権限の明確化について

厚生労働省令

- 管理者が有する病院の管理運営に係る権限及び病院の管理運営のために必要となる一定の人事・予算執行権限について明確化することを求める。
- 管理者が有する権限を明確化した内部規程を特定機能病院の承認申請時に提出させるとともに、毎年報告させることで確認する。

### 病院の管理運営に係る権限

1. 京都大学医学部附属病院規程（最終改正令和6年7月1日）に次のように定めている。

（略）

第2条 病院に、病院長を置く。

2 病院長は、理事又は医学研究科若しくは病院の専任の教授をもつて充てる。

3 病院長は、病院の院務を掌理する。

（略）

第13条 この規程に定めるもののほか、病院の内部組織については、病院長が定める。

（略）

2. 京都大学医学部病院協議会規程（最終改正令和5年4月1日）に次のように定めている。病院協議会は、病院運営に関する合議体である。

（略）

第2条 協議会は、次の各号に掲げる協議員で組織する。

(1) 病院長

(2) 副病院長

(3) 病院長補佐

(4) 病院規程第3条に掲げる診療科の長のうち医学研究科、医学部又は病院の教授又は准教授であるもの

(5) 病院規程第6条に掲げる診療部門の長のうち医学研究科、医学部又は病院の教授又は准教授であるもの

(6) 病院規程第7条に掲げる中央施設部門の長のうち医学研究科、医学部又は病院の教授又は准教授であるもの

(7) 病院規程第8条に掲げる運営部門の長のうち医学研究科、医学部又は病院の教授又は准教授であるもの

(8) 病院規程第9条第2項に掲げる先端医療研究開発機構の各部、センター及び室の長のうち医学研究科、医学部又は病院の教授又は准教授であるもの

(9) 病院規程第10条に掲げる臨床研究・研修部門の長のうち医学研究科、医学部又は病院の教授又は准教授であるもの

(10) 看護部長

- (11) 事務部長
- (12) 病院教授の称号を付与された者
- (13) 医学研究科附属医学教育・国際化推進センター専任教授
- (14) 医学研究科人間健康科学系専攻長

2 前項のほか、病院長が必要と認めるときは、協議会の議を踏まえて、医学研究科、医学部又は病院の教授、准教授又は講師を協議員として加えることができるものとする。

第3条 協議会に議長を置き、病院長をもって充てる。

2 議長は、協議会を主宰する。

3 議長に事故があるときは、第2条第1項第2号の協議員のうちからあらかじめ議長が指名するものがその職務を代行する。

第4条 協議会は、病院長が招集する。

2 病院長は、原則として、毎月1回招集する。ただし、必要があるときは、臨時に招集することができる。

(略)

3. 京都大学医学部附属病院執行部内規（最終改正令和2年4月1日）に次のように定めている。病院執行部は、病院の業務に関し迅速な意思決定を行い、病院執行部会議において企画・実施する。

(設置)

第1条 京都大学医学部附属病院規程第13条の規定に基づき、京都大学医学部附属病院（以下「病院」という。）に、病院の業務に関し迅速な意思決定を行うため、京都大学医学部附属病院執行部（以下「病院執行部」という。）を置く。

(組織)

第2条 病院執行部は、次の各号に掲げる者で組織する。

- (1) 病院長
- (2) 副病院長
- (3) 病院長補佐
- (4) その他病院長が必要と認めた者

(業務)

第3条 病院執行部の業務は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 病院の診療、教育、研究に関する企画及び実施に関すること。
- (2) 病院の経営に関する企画及び実施に関すること。
- (3) その他重要事項に関すること。

(病院執行部会議)

第4条 前条の業務を企画・実施するため、病院執行部に病院執行部会議（以下「会議」という。）を置く。

(議長)

第5条 病院長は、会議を招集し、その議長となる。

2 議長に事故あるときは、副病院長のうち議長が指名する者がその職務を代理する。

(略)

## 人事権限

1. 京都大学医学部附属病院規程（最終改正令和6年7月1日）に次のように定めている。

第6条 病院に、診療部門として、次の部、室、センター及びユニットを置く。

デイ・ケア診療部  
臓器移植医療部  
遺伝子診療部  
心臓血管疾患集中治療部  
女性のこころとからだの相談室  
脳卒中診療部  
脳卒中療養支援センター  
がんセンター  
VHL病センター  
リウマチセンター  
もやもや病支援センター  
高度生殖医療センター  
頭蓋底腫瘍センター  
てんかん診療支援センター  
摂食嚥下診療センター  
アレルギーセンター  
総合周産期母子医療センター  
小児集中治療センター  
こども医療センター  
児童思春期こころの相談センター  
黄斑疾患治療センター  
高齢者医療ユニット  
漢方診療ユニット  
睡眠呼吸障害診療ユニット

2 前項に掲げる各組織に関し必要な事項は、病院長が定める。

各組織の長は、各組織の内規において一定の対象者から病院長が指名すると定めているか、本規定条文にて必要な事項を病院長が定めることとされている。

第7条 病院に、中央施設部門として、次の部、室及びセンターを置く。

検査部  
感染制御部  
手術部  
放射線部  
リハビリテーション部  
医療器材部  
人工腎臓部

病理部  
疾患栄養治療部  
集中治療部  
内視鏡部  
臨床心理室  
細胞療法センター  
高気圧酸素治療センター  
救命救急センター

2 前項に掲げる各組織に関し必要な事項は、病院長が定める。

各組織の長は、各組織の内規において一定の対象者から**病院長が指名するあるいは委嘱する**と定めている。

第8条 病院に、運営部門として、次の部、センター及び室を置く。

看護部  
薬剤部  
医療情報企画部  
医療安全管理部  
病院運営企画室  
診療報酬センター  
PFMセンター  
病院整備推進部  
病歴管理室  
品質管理室  
事業場安全衛生管理室  
(略)

1 2 第2項から前項までに定めるもののほか、第1項に掲げる各組織に関し必要な事項は、病院長が定める。

各組織の長は、各組織の内規において一定の対象者から**病院長が指名する**と定めているか、本規定条文にて**必要な事項を病院長が定めること**とされている。  
(ただし、病院整備推進部長は病院長をもって充てると定めており、看護部長は、候補者選考内規において、選考委員長は病院長をもって充てると定めている。)

第9条 病院に、先端医療研究開発機構を置く。

2 先端医療研究開発機構に、次の部、センター及び室を置く。

医療開発部  
データサイエンス部  
臨床研究推進部  
次世代医療・iPS細胞治療研究センター  
先端医療機器開発・臨床研究センター  
先制医療・生活習慣病研究センター

クリニカルバイオリソースセンター  
戦略・広報室  
ビジネスディベロップメント室

3 前項に定めるもののほか、先端医療研究開発機構に関し必要な事項は、病院長が定める。

各組織の長は、それぞれの内規において、一定の対象者から病院長が指名すると定めている。

(ただし、先制医療・生活習慣病研究センターは、病院長が指名する副病院長又は病院長補佐をもって充てると定めている。)

第10条 病院に、臨床研究・研修部門として、次のセンター、部及び室を置く。

総合臨床教育・研修センター  
iPS細胞臨床開発部  
看護職キャリアパス支援センター  
レセプト情報等オンサイトリサーチセンター（京都）運用部  
倫理支援部  
共同機器研究室

2 前項に掲げる各組織に関し必要な事項は、病院長が定める。

各組織の長は、それぞれの内規において、一定の対象者から病院長が指名すると定めている。

(ただし、看護職キャリアパス支援センター長は看護部長、レセプト情報等オンサイトリサーチセンター（京都）運用部長は医療情報企画部長をもって充てると定めている。)

## 予算執行権限

1. 国立大学法人京都大学予算規則（最終改正令和6年4月1日）において病院の予算責任者は、病院長と定めている。

（略）

（予算単位と予算責任者）

第3条 会計規程第6条に定める予算単位及び予算責任者は、別表に定めるところによる。

（略）

別表（抜粋）

医学部附属病院                      病院長

2. 京都大学医学部附属病院予算委員会規程（最終改正令和2年4月1日）に次のように定めている。

第1条 京都大学医学部附属病院における予算について審議するため、京都大学医学部附属病院予算委員会（以下「委員会」という。）を置く。

第2条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 概算要求事項に関すること。
- (2) 予算配分に関すること。
- (3) 予算の執行に関すること。
- (4) その他予算に関し、委員会が必要と認めること。

第3条 委員会は、次に掲げる委員で組織する。

- (1) 病院長
- (2) 内科系教授2名
- (3) 外科系教授2名
- (4) 中央施設部門の部（室）長 3名（但し、前各号の委員を兼ねることはできない。）
- (5) 薬剤部長、看護部長及び事務部長
- (6) その他病院長が必要と認める者。

2 前項第1号及び第5号以外の委員は、病院長が委嘱する。

3 第一項第1号及び第5号以外の委員の任期は、2年とし再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第4条 委員会に委員長を置き、病院長をもってあてる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代行する。

4 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者に委員会への出席を求め、説明又は意見を聞くことができる。

（略）

※以下の内規等は、上述の規程等を補完するもの

## 病院の管理運営に係る権限

1. 京都大学医学部附属病院運営企画室内規（最終改正令和5年4月1日）に次のように定めている。

（設置）

第1条 この内規は、京都大学医学部附属病院規程（昭和41年達示第18号）第8条第12項の規定に基づき、病院運営企画室（以下「運営企画室」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

（業務）

第2条 運営企画室は、病院長の指示により病院運営及び経営に関し、情報の収集及び分析を行うとともに必要事項について企画立案し、病院長に提言する。

（略）

2. 外来医長・看護師長会議規程（最終改正平成29年9月26日）に次のように定めている。

第1条 病院に、外来医長・看護師長会議（以下「会議」という。）を置く。

第2条 会議は、各診療科外来における管理・運営の円滑化をはかるため、病院長の諮問に依りて、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 各診療科外来における診療及び診療事務に関すること。
- (2) 各診療科外来間の連絡及び調整に関すること。
- (3) その他各診療科外来に関すること。

（略）

3. 病棟医長・看護師長会議規程（最終改正平成29年9月26日）に次のように定めている。

第1条 病院に、病棟医長・看護師長会議（以下「会議」という。）を置く。

第2条 会議は、病棟における管理・運営の円滑化をはかるため、病院長の諮問に依りて、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 病棟における診療及び診療事務に関すること。
- (2) 病棟間の連絡及び調整に関すること。
- (3) その他病棟に関すること。

（略）

4. 京都大学医学部附属病院危機管理会議内規（最終改正平成29年2月2日）に次のように定めている。構成員は、病院執行部である。

（目的）

第1条 京都大学医学部附属病院（以下「病院」という。）において発生した緊急かつ重大な事案に迅速に対応するため、京都大学医学部附属病院危機管理会議（以下「危機管理会議」という。）を置く。

（業務等）

第2条 危機管理会議は、病院において発生した緊急かつ重大な医療事故、研究活動における不適合事案、院内感染、集団食中毒、天災、人災等に迅速な対応を行う。ただし、医療法に定める特定臨床研究活動及び再生医療等技術を用いる臨床研究活動における不適合事案については、この限りでない。

2 前項における対応のうち、診療行為及び研究活動の継続又は中止の判断については、危機管理会議の議を踏まえて、病院長が行う。

(組織)

第3条 危機管理会議は、次の各号に掲げる者で組織する。

(1) 病院長

(2) 副病院長

(3) 病院長補佐

(4) その他病院長が必要と認める者

(議長)

第4条 病院長は、会議を招集しその議長となる。

(略)

## 人事権限

1. 外来医長・副医長職務内規（最終改正平成19年4月1日）に次のように定めている。

第二条 病院各診療科外来に、外来副医長一名を置くことができる。

2 外来副医長は、当該診療科の講師または助教から、当該診療科長の推せんにより病院長が任命する。

2. 病棟医長・副医長職務内規（最終改正平成19年4月1日）に次のように定めている。

第二条 病院各病棟に、病棟副医長一名を置くことができる。

2 病棟副医長は、当該部局の講師または助教から、当該部局長の推せんにより病院長が任命する。

3. 京都大学医学部附属病院医員等取扱要項（最終改正令和6年1月1日）に次のように定めている。

1. 医員

第2 医員の採用は、関係診療科又は部等の長（以下「診療科長等」という。）の意見を参考に、病院長が選考のうえ、決定する。

(略)

2. 医員（研修医）

第7 医員（研修医）の採用は、別に定める要件を満たした者の中から病院長が決定する。